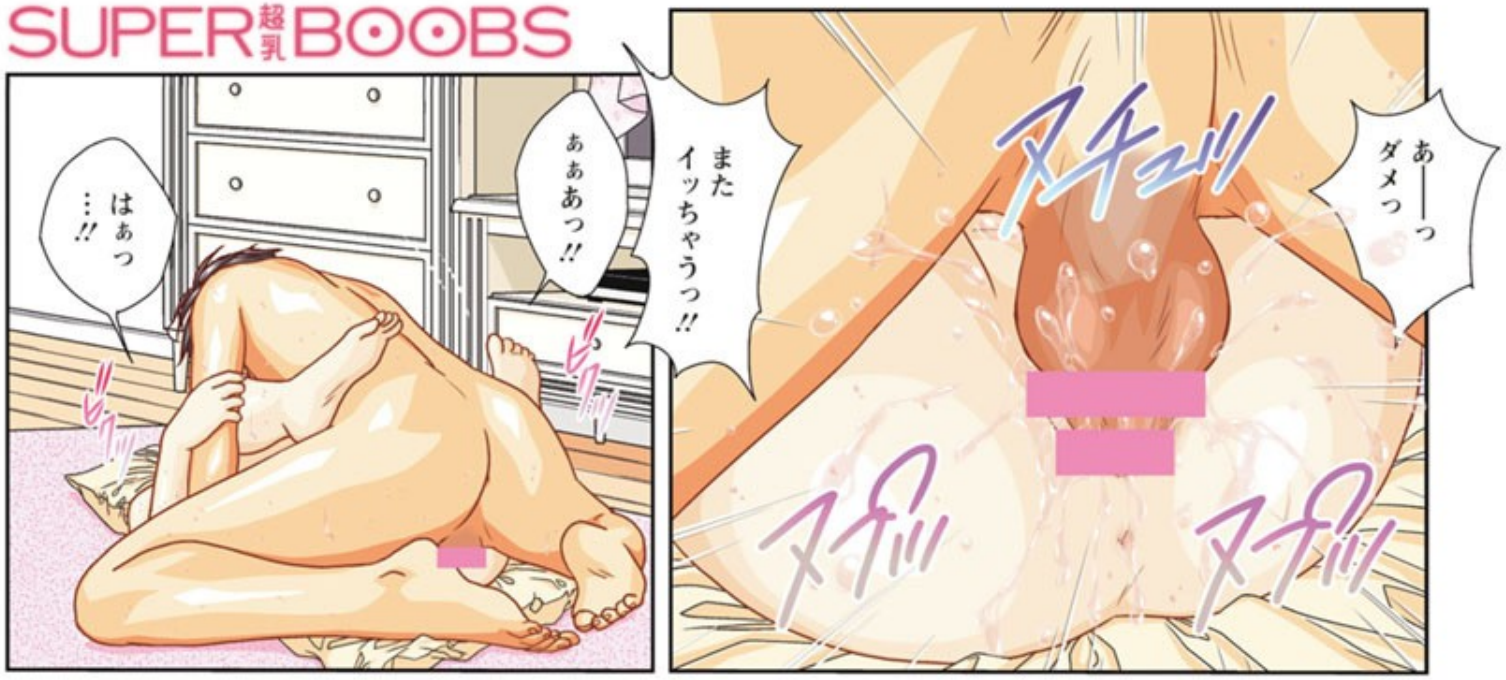
SUPER 超乳 BOOBS

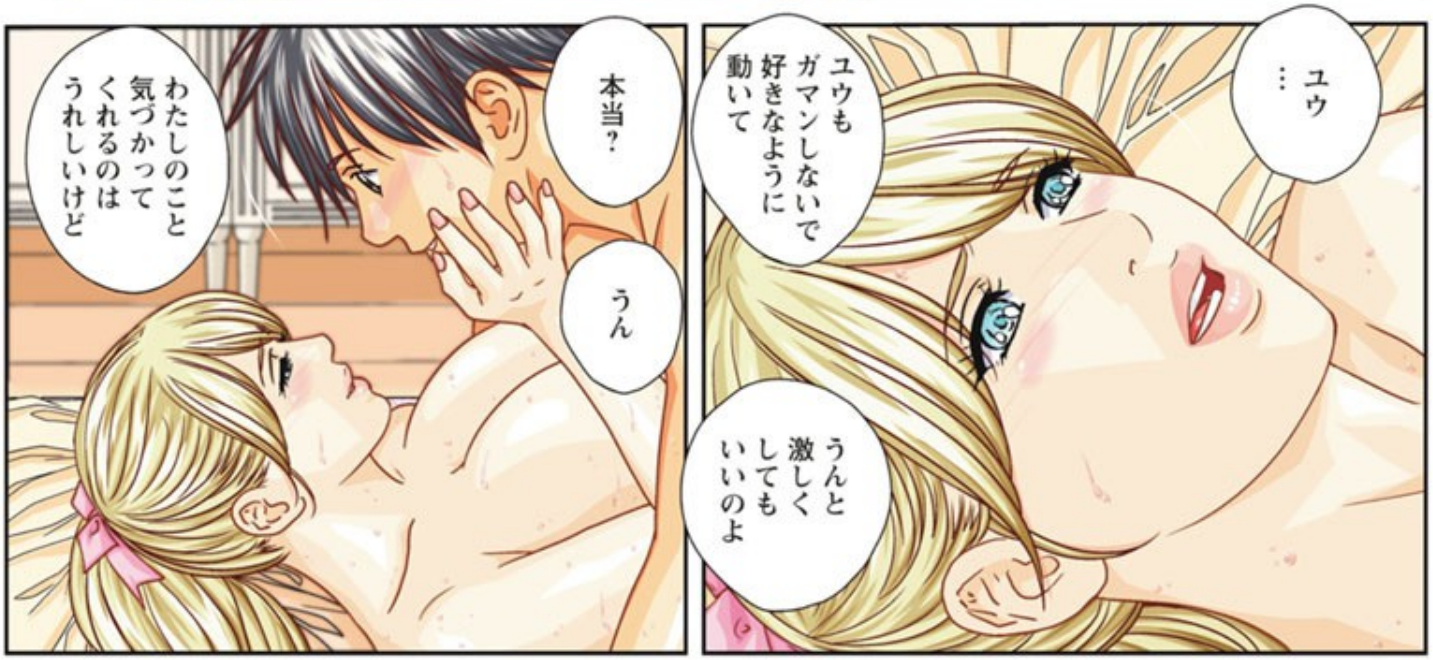
にしまきとおる

成年コミック

ANGEL COMICS
PIZAZZ BRAND


あ――っ
ダメっ
アチュ!!
アチュ!!
アチュ!!
またイッちゃうっ!!
ぁぁあっ!!
はぁっ…!!

すごい……
もうおかしくなっちゃう
ズルいぞユリカばっかりイッて
んんっゴメンなさい……
ウソユリカが感じてくれて嬉しいよ


ユウ…
ユウもガマンしないで好きなように動いて
うんと激しくしてもいいのよ
本当？
うん
わたしのこと気づかってくれるのはうれしいけど

ユウは
わたしの彼氏
なんだから
好きなように
していいんだよ
ユウが
気持ちいい
時には
わたしも
気持ちいいわ
わかった
今からは
好きなように
動くことに
するぞ
スイッ!!
チュプ!!
あぁ——っ
ヤベぇっ
超気持ち
いいっ♡
うぁっ!
あんっ!!
んぁあっ
すごい
…っ!!
ブルン!!
ブルン!!
ズイッ!!
ズイッ!!
ズイッ!!
ズイッ!!
ここまで
ガマンして
たから
少し激しく
動いただけで
即イキ
しそうだ!!
それにしても
突くたびに
おっぱいが
プルプル揺れて
エロいし
あえぎ声も
かわいいし
ユリカは
最高だな♡
キュッ!!
キュッ!!
くうぅっ
たまんねぇ♡
マ○コが
キュンキュン
締め付けて
くる…!!
そろそろ
イクぞ!!
はぁっ…
あんっ!!
ズイッ!!
ズイッ!!
ズイッ!!
ズイッ!!

くうっ
うぅっ!!
んぁっ
あんっ
すごいっ!!
ユウの
オチ○チン
中でまた
大きく
なってる
くぅっ
…!!
うあぁっ
出るっ!!
んっ…!!
あぁぁあっ
イッちゃうぅ
――っ!!

TO BE CONTINUED

SUPER 超乳 BOOBS

にしまきとおる

神戸ガールズキャットウォークは毎年3月と9月に開催されている日本最大級のリアルクローズファッションショーだ

present day,
In the world of the Far East,
In Kobe, Japan

キャアアア!!

会場は約一万三千人の若い女性客の熱気と悲鳴にも似た歓声で包まれている

テレビや雑誌で活躍する八〇人の人気モデルたちが舞台に登場し

キャー!!

約三〇ブランドの最新作を多彩なコーディネートで披露する

キャア

まばゆい照明を浴びながら華やかにランウェイを歩いている彼女の姿はまるで女神のようだ

人気モデルになったユリカがあのツンと澄ました顔を快楽と羞恥で火照らせながらこのオレにセックスをおねだりしているとは誰も思うまい

one week before…

一週間前——

わぁ
なつかしー

このオープニング
今観ても
カッコいいよね

うん

なんか
わかる
気がする

ZOOOOOOM!!

マジで？

だって
男の子の夢でしょ
世界最強の軍隊の
エリートパイロット
って

デッキで
クルーが
準備して

うん
空母から
F14が
発進する

おっきな
船の上から
ヒコーキが
飛び立つ
じゃない

これに
よく似た
女の子の夢は

ヘアメイクや
フィッターに
着飾らせて
もらった
トップモデルが
パリコレの
ランウェイを
歩くっていう
ことなのよ

なるほどー

さすが
モデル
ならではの
視点だね

面白いなー
男女逆転
させても
成り立つんだ

そうだ☆

こういう
ストーリーは
どう？

トップモデルに
なってパリコレの
ランウェイを
目指すヒロインが
ファッション業界を
舞台に活躍する話

仲間との友情
ライバルとの争い
そしてアパレル会社の
御曹司や若き天才
デザイナーとの恋愛

さらに
ヒロインの
出生の秘密が
絡んでくる展開

わぁっ
少女マンガ
みたいで
おもしろそう

まぁベタ
というか
王道だけど

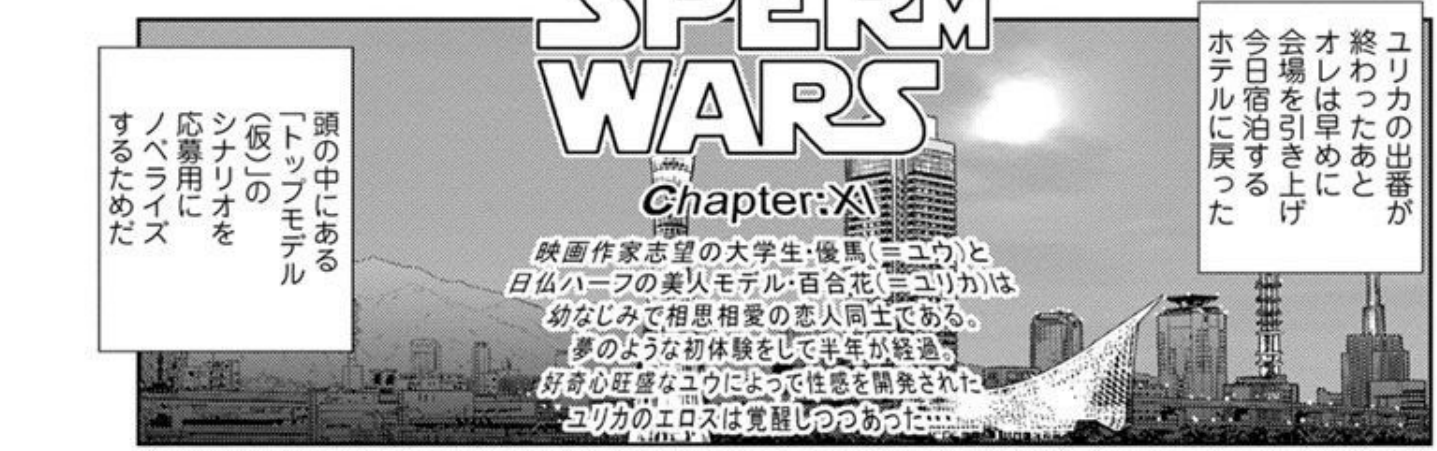
でも新しい
切り口で
書けばいけ
るかも…

早く
書いて♪
読んで
みたいわ

SPERM WARS

Chapter:XI

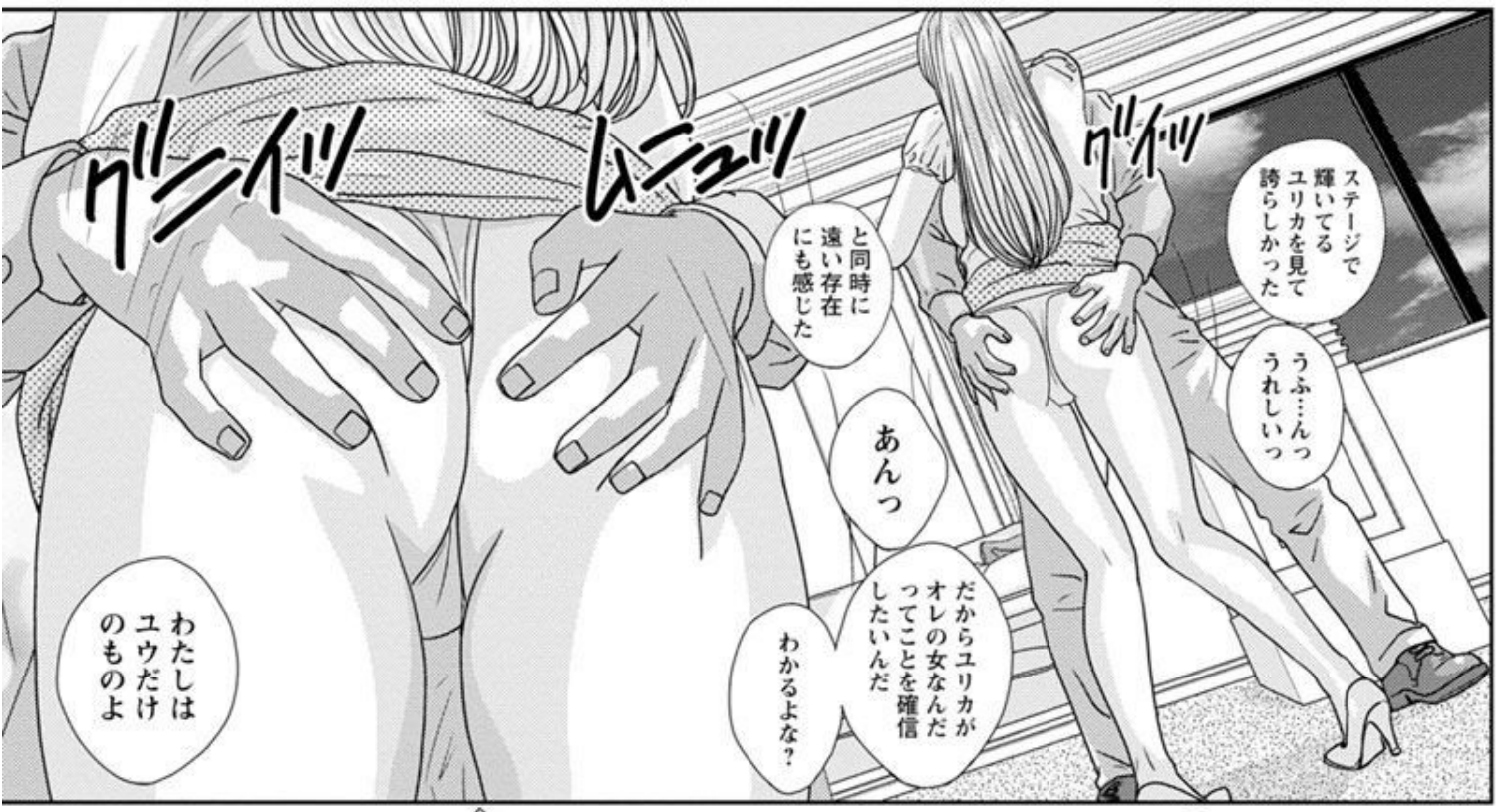
映画作家志望の大学生・優馬(＝ユウ)と
日仏ハーフの美人モデル・百合花(＝ユリカ)は
幼なじみで相思相愛の恋人同士である。
夢のような初体験をして半年が経過。
好奇心旺盛なユウによって性感を開発された
ユリカのエロスは覚醒しつつあった…



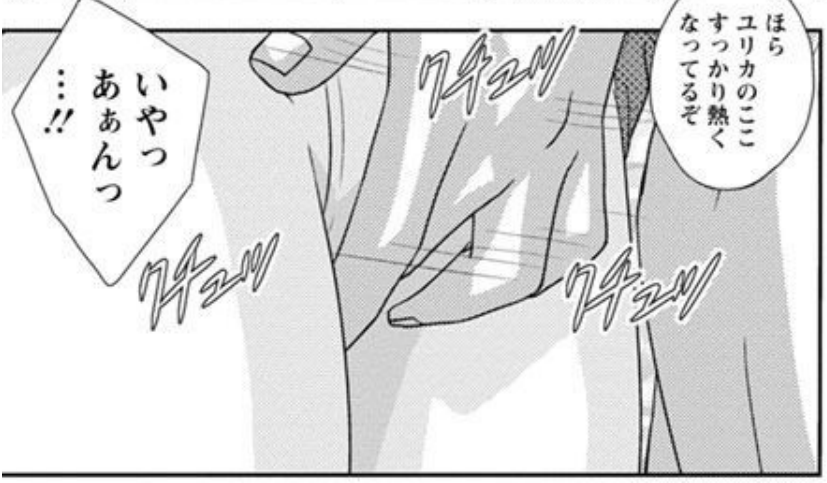
もっともユリカは頭身が高くてスタイルも抜群だから
いくら変装しても只者じゃないオーラが出まくってるけどね
DO NOT DISTURB
わぁすごくいい部屋
オーシャンビューがステキ♡
高かったでしょ？
まぁねせっかくの旅行だから

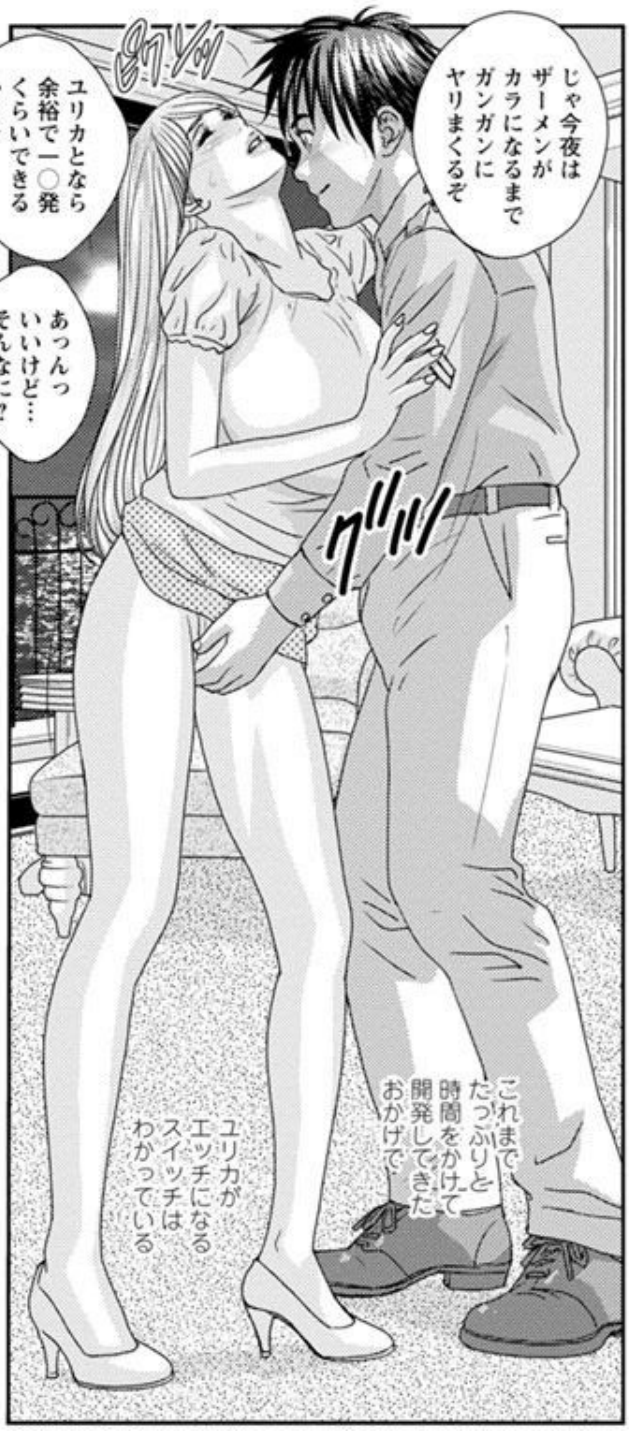
それより大丈夫？長丁場のショーで疲れたろ
へいきよこう見えてもタフなの
それにユウと一緒にいたいから…

打ち上げパーティーの途中で抜けてきちゃった
スポンサーへのあいさつもそこそこにね
きっとマネージャーカンカンだわ
そんなにオレに抱かれたかった？
んっ…
そんなこと…
欲しかったんだろ？素直になれよ
もうっ…
ユウってエッチの時にイジワルになるんだから
オレは今すぐユリカを抱きたい
あんっ


ステージで輝いてるユリカを見て誇らしかった
うふ…んっうれしいっ
と同時に遠い存在にも感じた
あんっ
だからユリカがオレの女なんだってことを確信したいんだ
わかるよな？
わたしはユウだけのものよ

はぁ…っあんっ!!
ユリカがエロい身体してるせいで勃起が全然おさまらないんだ仕方ないだろ
今もユリカとのセックスを考えただけでチ○ポがビンビンだよ
ユウったら性欲が強すぎて困っちゃう
ユリカだってヤッてほしいくせに


ほらユリカのここすっかり熟くなってるぞ
いやっあぁんっ…!!


じゃ今夜はザーメンがカラになるまでガンガンにヤリまくるぞ
ユリカとなら余裕で一〇発くらいできるからな
あっんっいいけど…そんなに？
これまでたっぷりと時間をかけて開発してきたおかげで
ユリカがエッチになるスイッチはわかっている

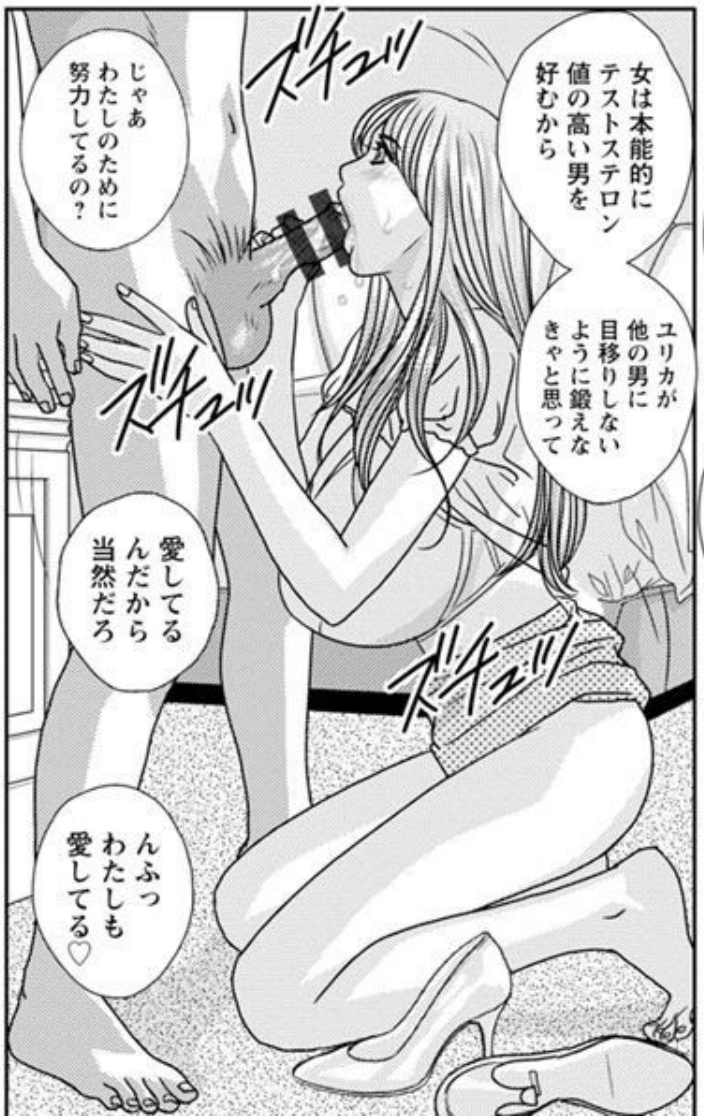
いっぱい抜いてあげてるのに精子ってすぐたまっちゃうのね…
これを入れて欲しければしっかりとしゃぶるんだ
チュッ
生殖能力が高い証だ嬉しいだろ？
うふ…んっ男らしくてステキよ
ユウのおチ○ポ大好き♡

ほらユリカもオレのチ○ポ触ってみて
うん…

あっ…！
ギュッ
それにタマタマもずっしり重いわ
すごく熱い…

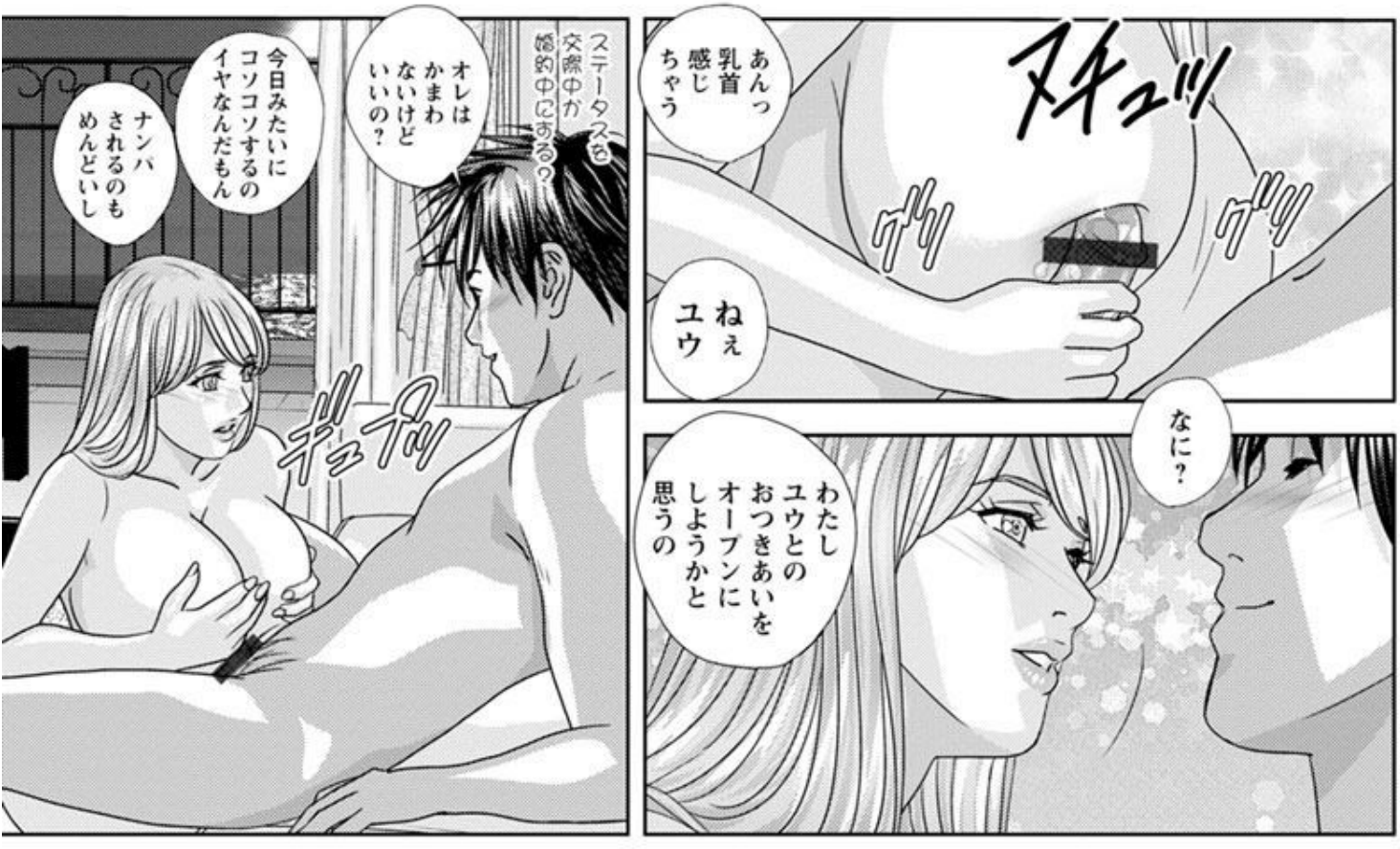
筋トレのおかげでテストステロン出まくりだから精子の生産能力がハンパない
精子は量が多いほど性欲も上がり快感も上がり勃起も硬く持続するんだ

それで最近カラダきたえてたんだ
アクロバティックな体位には筋力が必要だからね
ズイッ
ズボッ

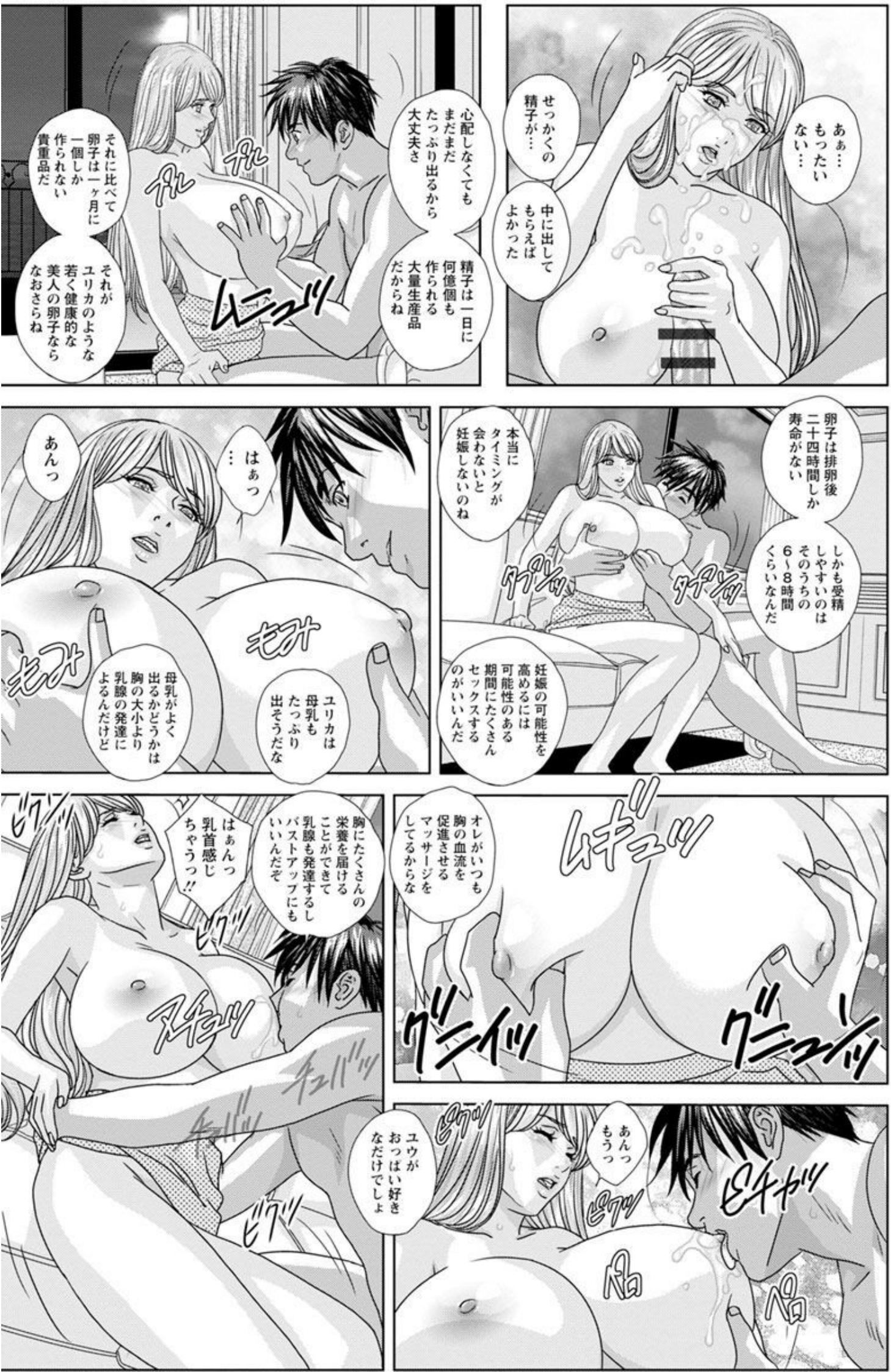

女は本能的にテストステロン値の高い男を好むから
ユリカが他の男に目移りしないように鍛えなきゃと思って
じゃあわたしのために努力してるの？
愛してるんだから当然だろ
んふっわたしも愛してる♡
ズイッ

あーマジ気持ちいい♡
この半年間しっかりとエロテクを仕込んでやった甲斐があるな
肉棒にたっぷりと唾液をまぶし唇をすぼめて吸いながら舌を当てたり手でしごいたり
教えたことを自分なりに組み合わせて刺激を与えようとしてくる
最高だよユリカのフェラ
ユリカは勉強熱心だしセックスの才能があるぞ
ホメられて伸びるタイプなの
本当に素直でいい子だ

ユリカ…
まさに以心伝心阿吽の呼吸でオレの欲求を理解してそれに応える
んっ…パイズリでイキたい？
うん♡
うふふっだと思った
こっちはもっと得意よ♡
アメとムチならぬ甘い言葉とチ○ポによる躾けで
ユリカはすっかりオレ好みの女になった


ステータスは交際中か婚約中にする？
オレはかまわないけどいいの？
今日みたいにコソコソするのイヤなんだもん
ナンパされるのもめんどいし
あんっ乳首感じちゃう
ねぇユウ
なに？
わたしユウとのおつきあいをオープンにしようかと思うの

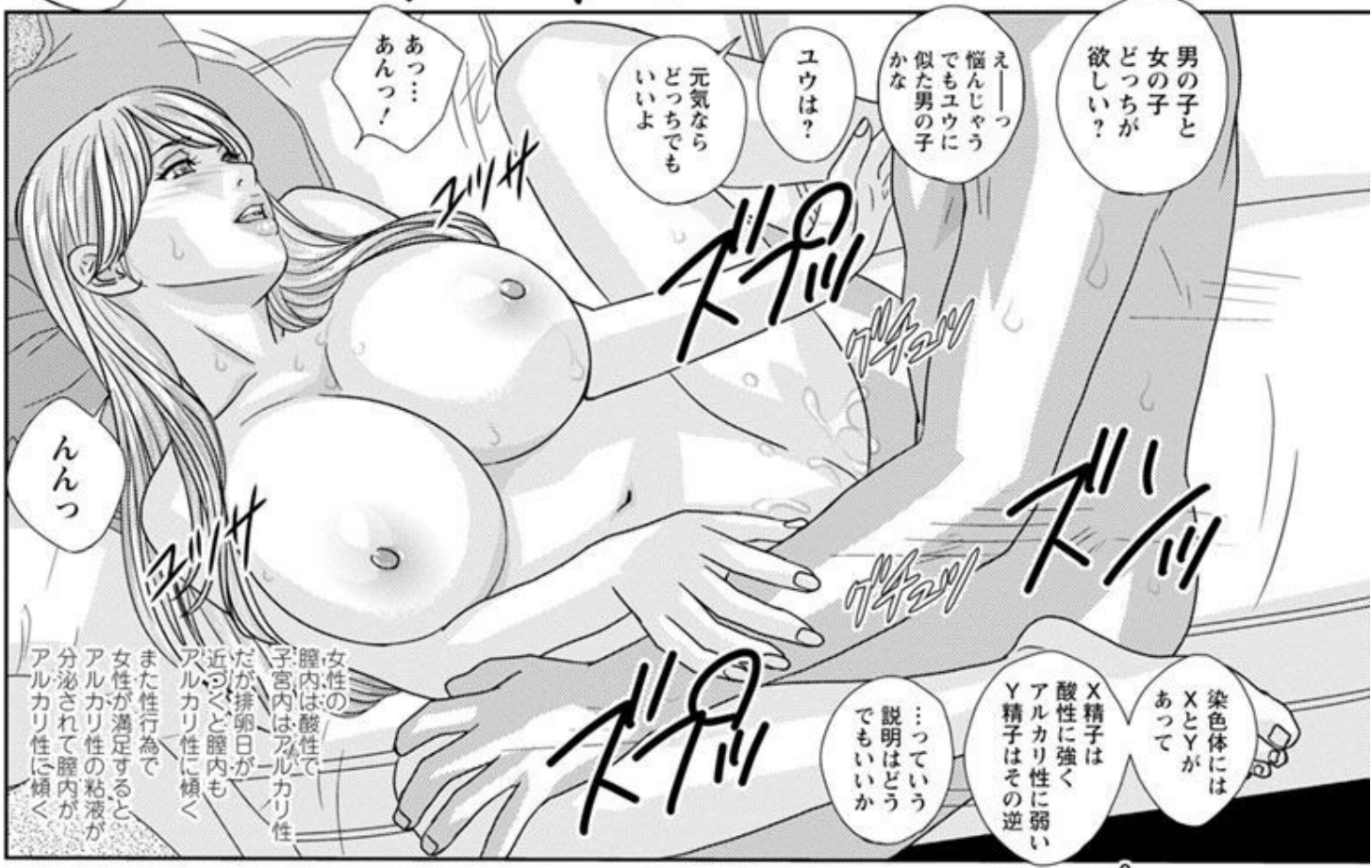
十六でデキ婚したセンパイもいるし
うちの事務所恋愛禁止じゃないから
そういうのもいいかなって思い始めたの
ギュッ
アチュッ
アチュッ
オレは大賛成だよ
ギュプッ
じゃこれからは心置きなく子作りに励めるな
幸い…というか母の遺産を相続したから出産費用には困らないしね
ズリュッ
ズリュッ
人気モデル・ユリカが一般人男性との交際を公表…か
オレも早く世に出たいな
いつまでもただの一般人のままでいるわけにはいかない
えっもう出そう？
タプンッ
タプッ
アチュッ
えっ？うぅん
ズリュッ
ズリュ
フフッもっと気持ちよくしてあげる♡
アチャッ
んふっ…んっ
ギュポッ
ギュポッ
ドピュッ
あんっ♡すごい勢いっ!!
うあぁっやっぱ出るっ!!
ビュルッ
ドクッ
ドクッ


あぁ…
もったい
ない…
せっかくの
精子が…
中に出して
もらえば
よかった
心配しなくても
まだまだ
たっぷり出るから
大丈夫さ
精子は一日に
何億個も
作られる
大量生産品
だからね
それに比べて
卵子は一ヶ月に
一個しか
作られない
貴重品だ
それが
ユリカのような
若く健康的な
美人の卵子なら
なおさらね
卵子は排卵後
二十四時間しか
寿命がない
しかも受精
しやすいのは
そのうちの
6〜8時間
くらいなんだ
本当に
タイミングが
会わないと
妊娠しないのね
妊娠の可能性を
高めるには
可能性のある
期間にたくさん
セックスする
のがいいんだ
はぁっ
…
あんっ
もみ
もみ
ユリカは
母乳も
たっぷり
出そうだな
母乳がよく
出るかどうかは
胸の大小より
乳腺の発達に
よるんだけど
オレがいつも
胸の血流を
促進させる
マッサージを
してるからな
グニュッ
グニュッ
胸にたくさんの
栄養を届ける
ことができて
乳腺も発達するし
バストアップにも
いいんだぞ
はぁんっ
乳首感じ
ちゃうっ!!
ビクッ
ビクッ
チュパッ
チュパッ
ビクッ
あんっ
もうっ
ユウが
おっぱい好き
なだけでしょ
ビクッ
ビクッ
ペロ
ペロ

直接見せて
ユリカの
美マン
あんっ
何度見ても
感動的だな
真っ白な
ふくらみに
ワレメだけが
うっすらと
ピンク色で
まるで
瑞々しい
水蜜桃の
ようだ
しかも
感度抜群
ちょっと
刺激した
だけで愛液が
あふれてくる
いやっん
んんっ
いじっちゃ
ダメぇっ!!
締まりも
いい
指一本でも
キュンキュン
締め付けて
くる
あぅんっ
やぁんっ
はぁっ
…
あぁんっ
気持ち
いいっ…
んあぁっ…
おいしいよ
ユリカの愛液
本当に
なにもかも
最高だな
あんっ!
ハイパンは
舐めやすいから
クンニの
持続時間が
圧倒的に長く
なるんだって
やぁんっ
イッちゃうっ!!

あぁ…っ
ねぇユウ
わたし
もう…
なんだ
欲しく
なったのか？
うん
欲しい
入れて
欲しければ
ちゃんと
おねだり
するんだ
やり方は
前に
教えたろ
あぅんっ
…
ユウの
大きくて
かたくなった
おチ○ポを…
ユリカの
いやらしい
オ…
オマ○コに
くぱぁ
い…
入れて
ください♡
ヒクッ
ヒクッ
いっぱい
突きまくって
欲しいの…
奥まで
入れて
かき回して

フフッもうぐちゅぐちゅじゃん
あんっじらさないで早く入れてねぇっ
仕方ないなそれじゃあお望み通り入れてやるか
くうっ…！
あっ…はぁっあぁ――っ!!
うあぁっ超気持ちいい…!!
嬉しそうに絡みついてきてるぞユリカの肉襞


男の子と女の子どっちが欲しい？
え――っ悩んじゃうでもユウに似た男の子かな
ユウは？
元気ならどっちでもいいよ
あっ…あんっ！
んんっ
染色体にはXとYがあって
X精子は酸性に強くアルカリ性に弱いY精子はその逆
…っていう説明はどうでもいいか
女性の膣内は酸性で子宮内はアルカリ性だが排卵日が近づくと膣内もアルカリ性に傾く
また性行為で女性が満足するとアルカリ性の粘液が分泌されて膣内がアルカリ性に傾く

結論だけ言うと
排卵日にセックスをすれば男児が産まれる可能性が高く
排卵日の数日前にすれば女児が産まれる可能性が高い
あぁっんっ
アッ…アンッ
んんっぜんぜん頭に入ってこない
もう自然にまかせるわ
産み分けは二人目から

参考文献：「精子戦争」「正しい保健体育」

ああ
ヤベえ
超気持ち
いいっ！
もう
イキそうだ!!
ちなみに
最も受精
しやすいのは
射精と
ほぼ同じ
タイミングで
女性が
オーガズムを
感じた場合
女性が
オーガズムを
感じて一分以上
経つと膣内が
酸性になって
受精が難しくなる
じゃあ
一緒に
イッて
わたし
ユウと
一緒に
イキたい!!

わかった
じゃあ
背面駅弁
ファックで
イクぞ
なに
それ？
こういう
アクロバ
ティック
な体位♪
キャッ！
いやぁんっ!!
どう？
筋トレの
成果
そ――ら
ズッポリ
ハマってるのが
丸見えだ
やぁっん
恥ずかしい
よぉっ!!
ユリカが
イクところを
世間に見せ
つけてやる
いやぁっ
あぁんっ!!
アッ…
アンッ
ダメえっ!!

ドビュッ
イクぞ ユリカ!! うぅっ
ビクンッ
うあぁっ ああぁ――っ!!
んあぁ すご…いっ 熱いのが 出てるぅ ――ッ!!
ブルンッ
ブルンッ
ドクッ
ドクッ
うおぉっ すげぇっ!! ハンパなく 締めつけて くるっ!!
ビュクンッ
ビュルッ
ビュルッ

今ユウの精子がわたしの卵子にむかってるのね
バーゲン目当ての客みたいに殺到してるんじゃない
それめっちゃ大変そう
今思ったんだけど
エピソード4で反乱軍の戦闘機隊が敵の宇宙要塞を爆撃しに行くじゃん
最後に主人公一機だけ残って反応炉にミサイルを命中させる
あれって受精のメタファーっぽくない？

わぁ そう言われると受精に見えてきちゃう
だから本能的に盛り上がるのかも
ねぇオレの分身が乗ったXウイングがまた出撃したがってるんだけど
うふふっいいわよミサイルいっぱい発射して♡

お風呂にお湯ためておいたから一緒に入ろう
この部屋はバスルームも眺めが最高なんだ
わぁ用意がいいのね♡

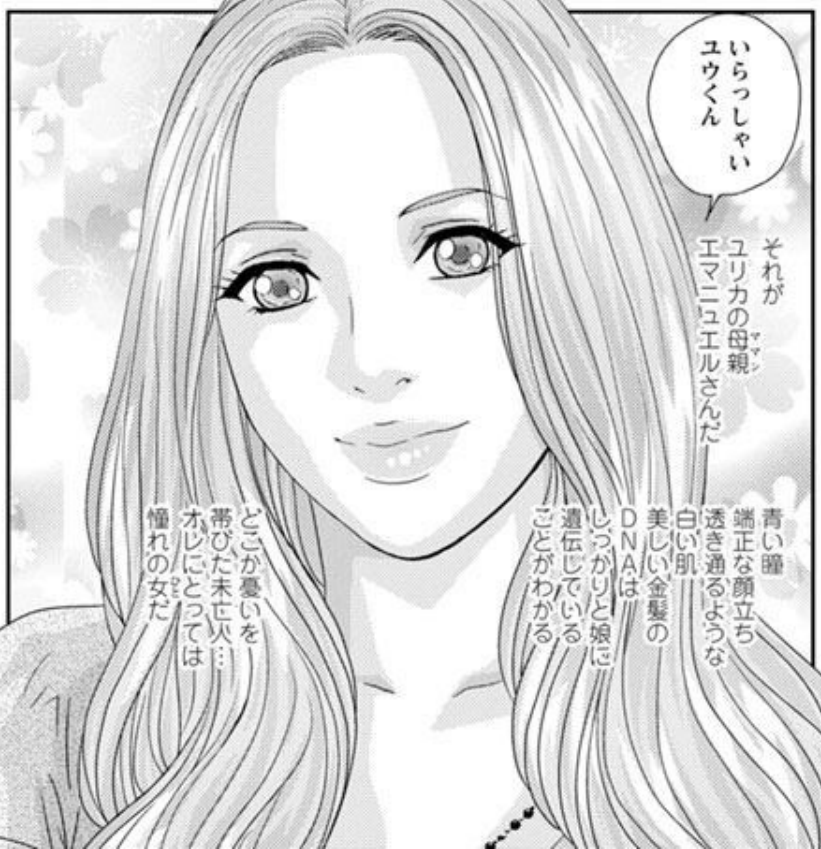
そうだこういうストーリーはどう？
ウディ・アレン監督作品へのオマージュでセックスしてる最中の男女の脳と身体の機能をメタファー的に表現したSF大冒険活劇
なにそれウケる――
そんなこんなでXウイングはその夜一〇回ほど出撃しプロトン魚雷を落としまくったのだった
翌朝ユリカは次のショーがある福岡へ向かいオレは東京への帰途に着いた
TO BE CONTINUED...

〈参考文献「人はなぜSEXをするのか　進化のための遺伝子の最新研究」、「フランス人は年をとるほど美しい」〉

というわけでオレは東京に戻ると美咲家を訪ねることにした
美咲邸はオレの家と同じ住宅街の一画約三〇〇坪の敷地に建つ
屋内プールやトレーニングルームをはじめオレが憧れるホームシアターまでも完備した近代洋風建築の豪邸だ
chapter.012
the Madame next door
マダム ネクスト・ドア

ピンポーン
MISAKI
「美咲」というのはユリカの本当の苗字だ
見た目同様に名前もハーフっぽくしたいという事務所社長の意向で母親の旧姓を芸名にしている
は―い
あオレ優馬です
ARMY AIR BASE
元々美咲家は地元の大地主でユリカの祖父にあたる人物は西洋画家としても有名だそうだ

ユリカの父もまた画家を目指しパリに留学
そこで知り合ったフランス人女性と結婚し彼女を伴って帰国した
どうぞ
ボンジュールママン♡

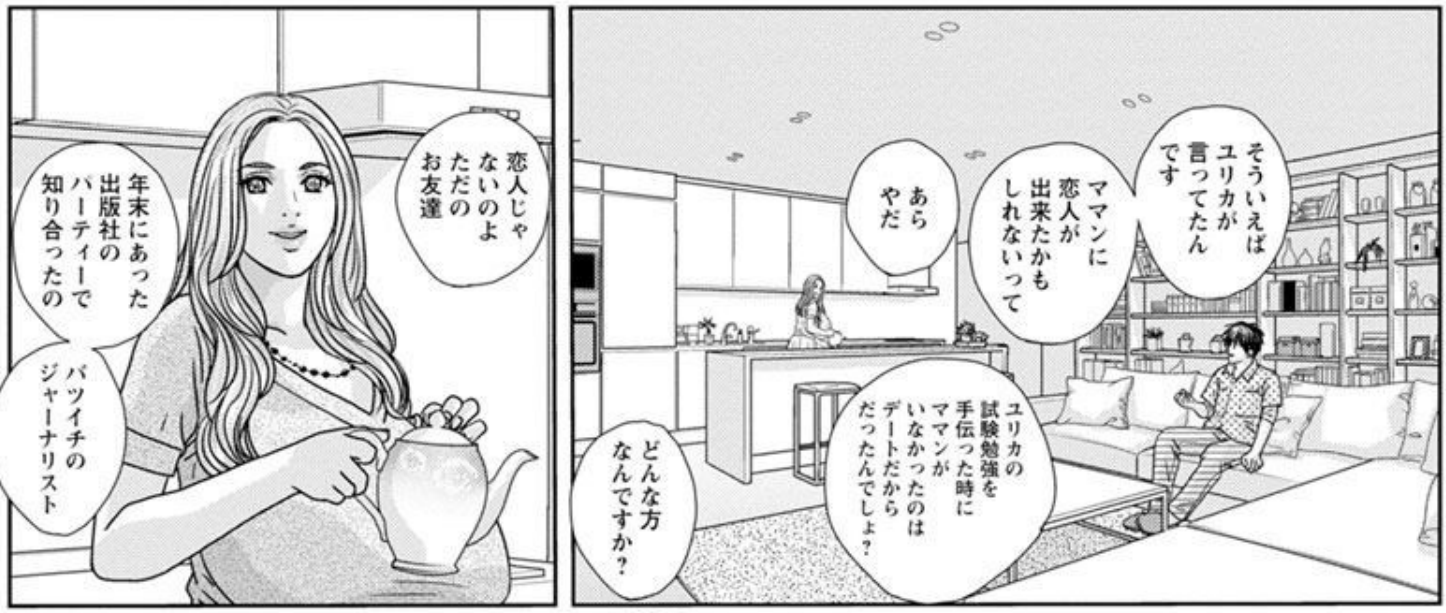

いらっしゃいユウくん
それがユリカの母親(ママン)エマニュエルさんだ
青い瞳
端正な顔立ち
透き通るような白い肌
美しい金髪の
DNAはしっかりと娘に遺伝じている
ことがわかる
どこか憂いを帯びた未亡人…
オレにとっては憧れの女だ

悪いわね
ユウくんに
お使いさせ
ちゃって
十八歳でユリカを
産んでいるので
今 三十六歳に
なるのだが
十歳は若く見える
とても女子大生の
娘がいるようには
見えないので
ユリカの姉と
いって
も
通じるだろう

merci♪
いえ
生ものだから
すぐに食べて
下さいって
あまりに大きな
乳房に集中する
他人の目を嫌って
ママンはめったに
外出しない
紫外線を
受けないせいか
元々白い肌は
驚くほどに
透明感がある

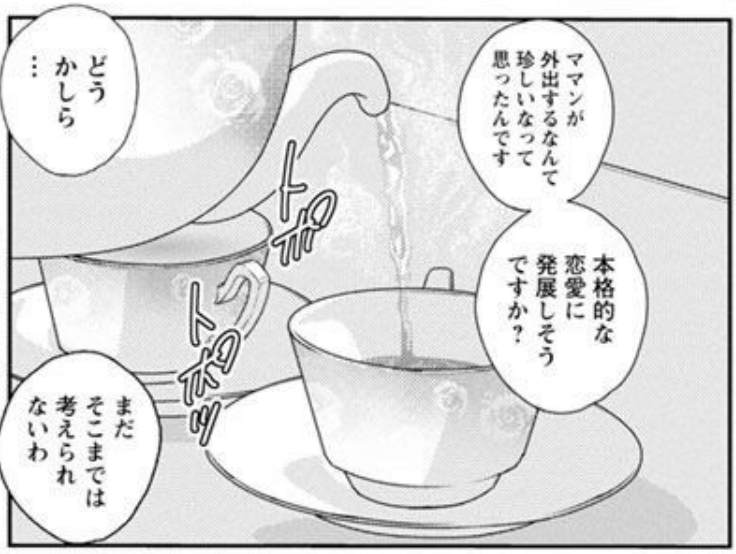
まぁ
こんなに?
ひとりじゃ
食べきれ
ないわ
ほっそりとした
身体つきなのにも
関わらず肉感的な
感じがするのは
やはりこの
巨乳も爆乳も
超えた「超乳」の
せいだろう

お茶でも
いれるから
一緒に
食べましょう
はい
喜んで♪
あの超乳を
見ると
オレはいつも
軽く勃起して
しまうが…
ママン自身は
自分の胸を
奇形が病気の
ように捉えて
恥じているので
オレは自分を
必死で抑えている

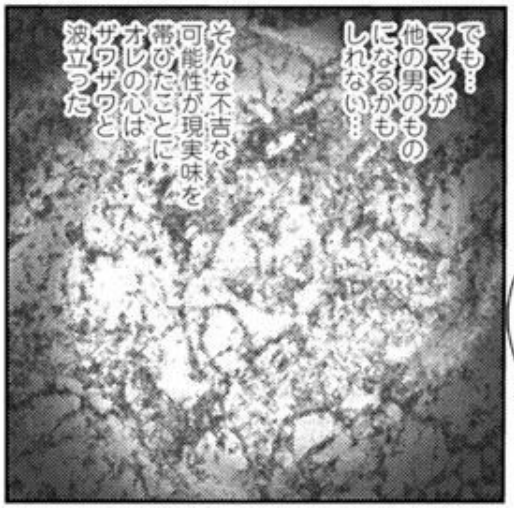

そういえば
ユリカが
言ってたんです
ママンに
恋人が
出来たかも
しれないって
あら
やだ
ユリカの
試験勉強を
手伝った時に
ママンが
いなかったのは
デートだから
だったんでしょ？
どんな方
なんですか？
恋人じゃ
ないのよ
ただの
お友達
年末にあった
出版社の
パーティーで
知り合ったの
バツイチの
ジャーナリスト

落ち着いた
大人の男性
って感じね
へぇ――っ
きっと紳士的で
包容力があるん
でしょうね
アートや
文学の趣味が
合うから
話してて
楽しいわ

でも
…
これまでは
ずっと
夫のことを
想って
いたけど
亡くなって
十年経つし
ユリカも
大人に
なった
でしょ
だから
わたし…
そろそろ
新しい一歩を
踏み出しても
いいのかな…
とは思ってるの
亡き御主人に操を
立てているからこそ
これまでは
ユリカと親しい
オレだけが唯一
彼女の住む世界に
近づくことができて
いたに過ぎない


ママンが
外出するなんて
珍しいなって
思ったんです
どう
かしら
…
本格的な
恋愛に
発展しそう
ですか？
まだ
そこまでは
考えられ
ないわ
トクトク

オレも
ママンが
このままで
いるのは
あまりにも
もったいないと
思っていた
愛情深い
ママンには
幸せでいて
ほしいし
その権利が
ある…
確かに…
変化する時期が
来たのかも
しれませんね

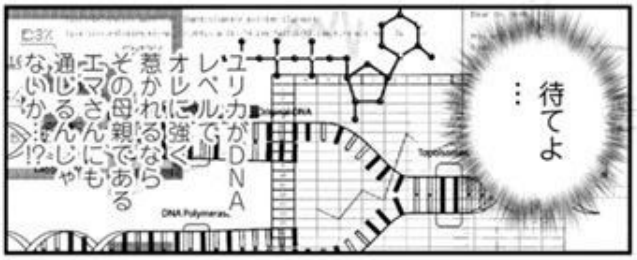

でも…
ママンが
他の男のもの
になるかも
しれない…
そんな不吉な
可能性が現実味を
帯びたことに
オレの心は
ザワザワと
波立った

はい
お茶の用意が
できたわよ
アッ!!
あちゃ
——っ!!
Oups.!!
あつっ
熱いっ!!
大変っ
どうしましょ
早く
冷やさないと
そうだわ
浴室に!
ごめん
なさい
えっ!?
ほら
早く
脱いで
ちゃんと
冷やさなきゃ
でも服が
濡れて
硬くなって
…
わたしが
脱がせるわ
わたしのせいで
大事なところに
ヤケドなんか
させたら
ユウくんの
お母様や
ユリカに
申し訳ないわ
うわぁっ
ママに
パンツを
脱がされてる
それにしても
乳房の谷間が
すごく深い…
なんか
興奮して
きたな
Oh.!!

大きい…
ああっ…

子供だとばかり思っていたのに…

オレのペニスを見てママンの瞳孔が開いている…
人は興味関心のあるものや好きなものを見ると瞳孔が開く性質がある


待てよ…
ユリカがDNAレベルでオレに強く惹かれるならその母親であるエマさんにも通じるんじゃないか…!?

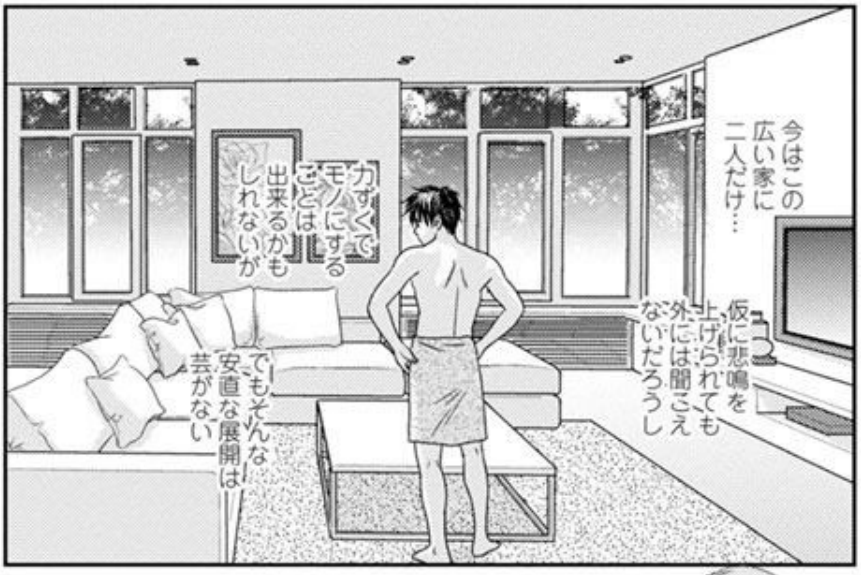
そしてユリカとのセックスで経験を積んだ今なら
憧れの美熟女をメロメロにすることができるかもしれない

千載一遇のチャンスだ!!
だとしたらこれは…
どっぴーん

ママン
えっ!?
あっごめんなさい
どこか痛む?

いえ水で冷やしたらよくなりました
そ
そう

濡れた服を洗って乾かさなきゃね
全部脱いでそこに置いておいて
はい
バスタオルを巻いてリビングに行ってて
今なにか着替えを持って行くわ


今はこの広い家に二人だけ…
仮に悲鳴を上げられても外には聞こえないだろうし
力ずくでモノにするぐらいは出来るかもしれないが
でもそんな安直な展開は芸がない

エマさんが自分に悪感情を持っていないことはわかる
さてオレはここでどんなシナリオを書けばいい？
しかしそれがそのまま好意に結びつくとも限らない

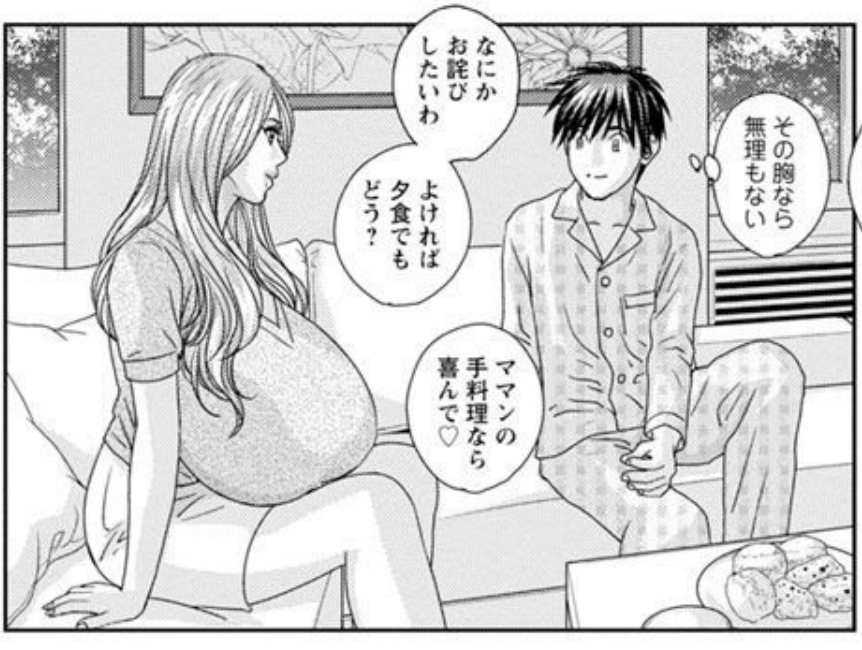
いいんですか？
ええ
そんな貞淑な女性だからこそ自分に惚れさせ心から尽くさせることが出来れば悦びも増すというものだ

夫のパジャマで悪いけど家には男物がこれしかなくて
不倫を楽しむ貞操観念のない人妻でもない

ユウくんとりあえずこれ着てて
なによりオレは彼女の心を自分だけに向けさせたい
エマさんは孤独と絶望を抱えたミセス・ロビンソンのような面倒なタイプではない

目的を達成するために狼が羊の皮を着る
美しい未亡人に心を寄せる純情な青年
ってのもありがちだけど…それが一番自然で無理がない
その上でオレとママンとの間にあるつながりを活かすのがオリジナリティがあってよさそうだ

本当にごめんなさい
わたし足元が見えなくてよくつまずくの


その胸なら無理もない
なにかお詫びしたいわ
よければ夕食でもどう？
ママンの手料理なら喜んで♡

でも
罪滅ぼしと
いうことなら
ひとつ
お願いが
あるんです
けど…
あら
なに？
そのー
なんて
いうか

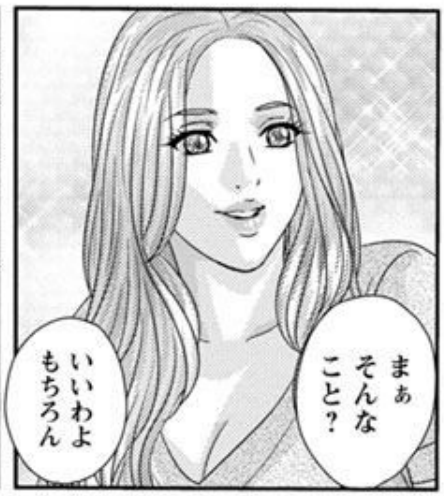
ママンに
ハグして
ほしいんです
覚えて
ますか？
母の葬式
でのこと
ええ
…

ユウくんの
お母さんは
お星さまに
なったのよ
きっと
空から
見守ってて
くださるわ
やめてよ
そんな
子供だまし
なぐさめ…
どんな理屈
つけたって
…

ユリカの
前では
遠慮してた
んですが
今日は
二人きりだし
出来れば甘え
させて欲しいな
…って

うわぁぁんっ
あの時
「これからは
わたしの
ことを
頼ってね」
「なんでも
力になるわ」
って言って
くれたでしょ

ホント
ですか？


まぁ
そんな
こと？
いいわよ
もちろん

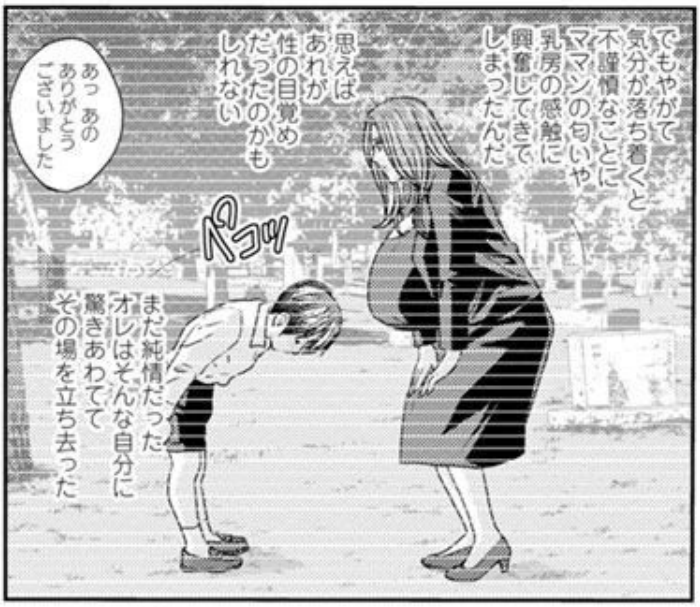
じゃあ
…
あらたまると
なんだか
ヘンな感じも
するけど

ママン♡
あっ
…
ギュッ

なんだか
不思議な
気分に
なるわ
ユウくんが
そのハジャマを
着てるせい
かしら

ああ…
この感触
久しぶりだ
ママン
すごく
いい匂いが
する…
ユウくんも
さびしかった
のね

でも今の
オレは
逃げたり
しない


でもやがて
気分が落ち着くと
不謹慎なことに
ママンの匂いや
乳房の感触に
興奮してきて
しまったんだ
思えば
あれが
性の目覚め
だったのかも
しれない
あっ あの
ありがとう
ございました
また純情だった
オレはそんな自分に
驚きあわてて
その場を立ち去った

あの時
オレは
ママンの胸で
ひとしきり
泣いた

えっ
…
オレ
エマさんが
好きです
いや
愛して
ます
ウソじゃ
ありません
初めて見た
時から
子供心に
ずっと
憧れて
ました

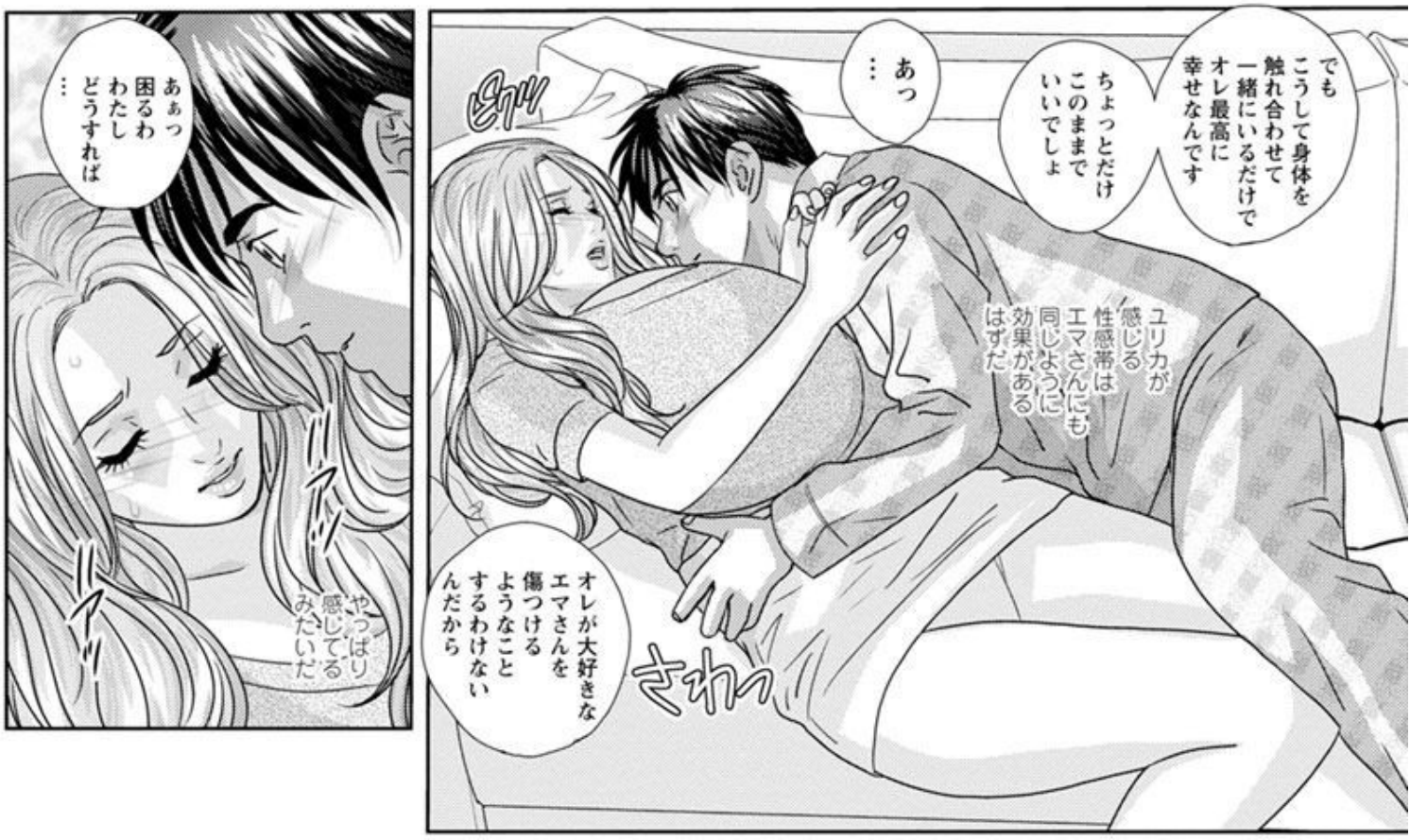
ママン
うぅん
エマさん
なぁに？

やだ からかわ ないで
信じられ ないわ
ユウくんは 娘と同じ歳 なのよ
エマさんは 十八で ユリカを 産んでるし 若いですよ
「女は ボルドー ワインと 同じ」
フランスの 褒め言葉に あるじゃ ないですか
歳月をかけて 熟成し複雑になり まろやかに その味わいと 色を変えて その価値を 高める…って
困るわ そんなこと 言われても
でも この気持ちは 誰にも とめられないし
エマさんを 困らせる つもりは ありません
ただ心の中で 好きだって 思うのは かまわない でしょう
我ながら 現実離れした クサいセリフ だとは思うが フランス生まれの エマさんには 過剰な位に ロマンチックな 方がより効果的 なはずだ
それは …
でも あなたには ユリカが いるでしょう?
こんなこと 娘が知ったら 悲しむわ
そんな …
まんざらでも なさそうな 反応だ
ユリカの ことも もちろん 好きです
でもそれは ユリカの中に エマさんの面影を 見てるからかも しれません
キスさせて ください
えっ!?

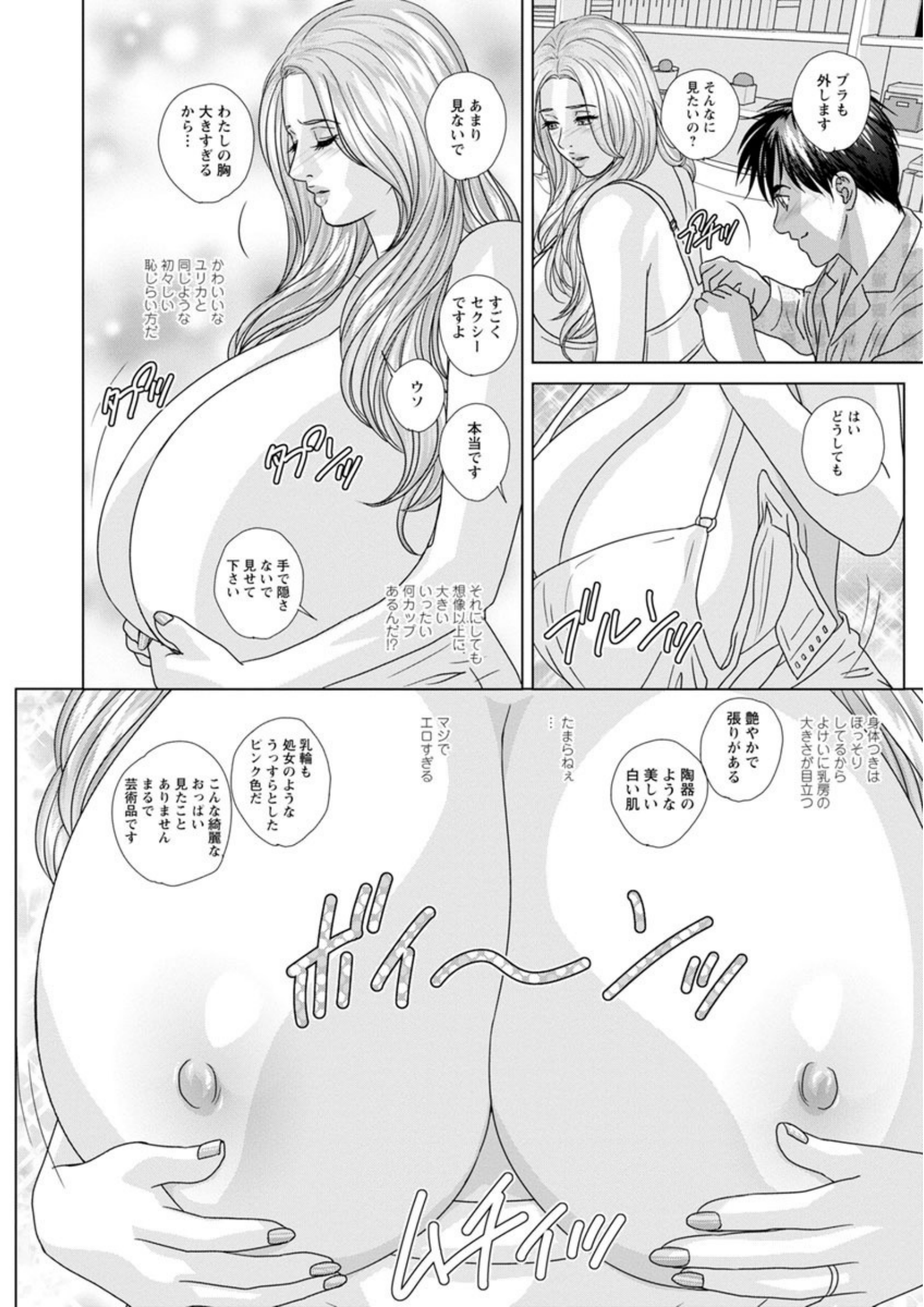
本当に一度だけでいいんです
それを思い出にエマさんのことはきっぱり忘れられるかもしれません
でもそんなこと…
いいでしょう？さっきのおわびにキスくらいなら
わ…わかったわ
さっきのおわびに
キス…させてあげる
でも本当に約束よ
一度だけですからね
ありがとうエマさん
感激だなすごく嬉しい
やっと念願がかなう
じゃあいいですね？
ええ…ええ
キスをすることで人は複雑な情報を交換する
いわば遺伝子の相性診断だ
進化で得た無意識のメカニズムで相手がどの程度遺伝子的に適合するかを判断するのだ
ユウくん…
キュッ
また男性の唾液にはテストステロンが含まれていてキスをすることで女性の身体に入り性欲を刺激する
んんっ…

エマさん…
たまんないな柔らがい唇と潤んだ舌…
んんっ…
あっ…んんっ
ノンッ!! 一度だけって…あっ
オレは角度を変え重なりを密にしてエマさんの唇を思う存分味わい溢れる唾液を流し込んだ
んぁっ
甘くとろける極上の感触にキスだけでもうチ○ポがギンギンだ
あふっ…んっ

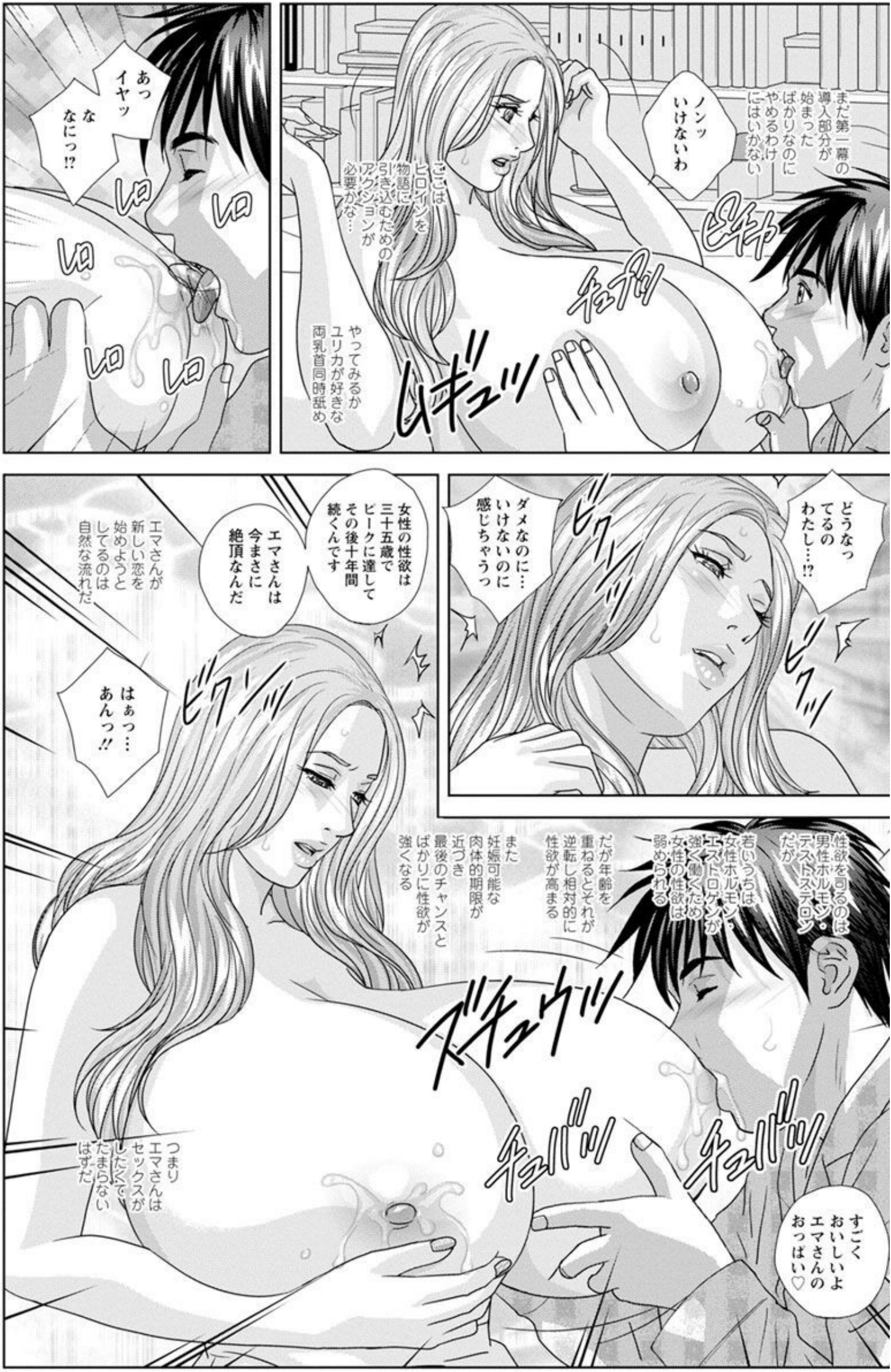
愛してる
エマさんが好きなんだ
お願いユウくんもうやめて
約束が違うわ
エマさんもユリカ同様感度がいい
ダメよこれ以上は…
ごめんなさいエマさんが魅力的すぎるからつい夢中になっちゃって
はぁっ…
キスでこれだけ感じてくれるならこのあとがさらに楽しみになってきたな


あっ…
でもこうして身体を触れ合わせて一緒にいるだけでオレ最高に幸せなんです
ちょっとだけこのままでいいでしょ
ユリカが感じる性感帯はエマさんにも同じように効果があるはずだ
オレが大好きなエマさんを傷つけるようなことするわけないんだから
さわっ
あぁっ困るわわたしどうすれば…
やっぱり感じてるみたいだ

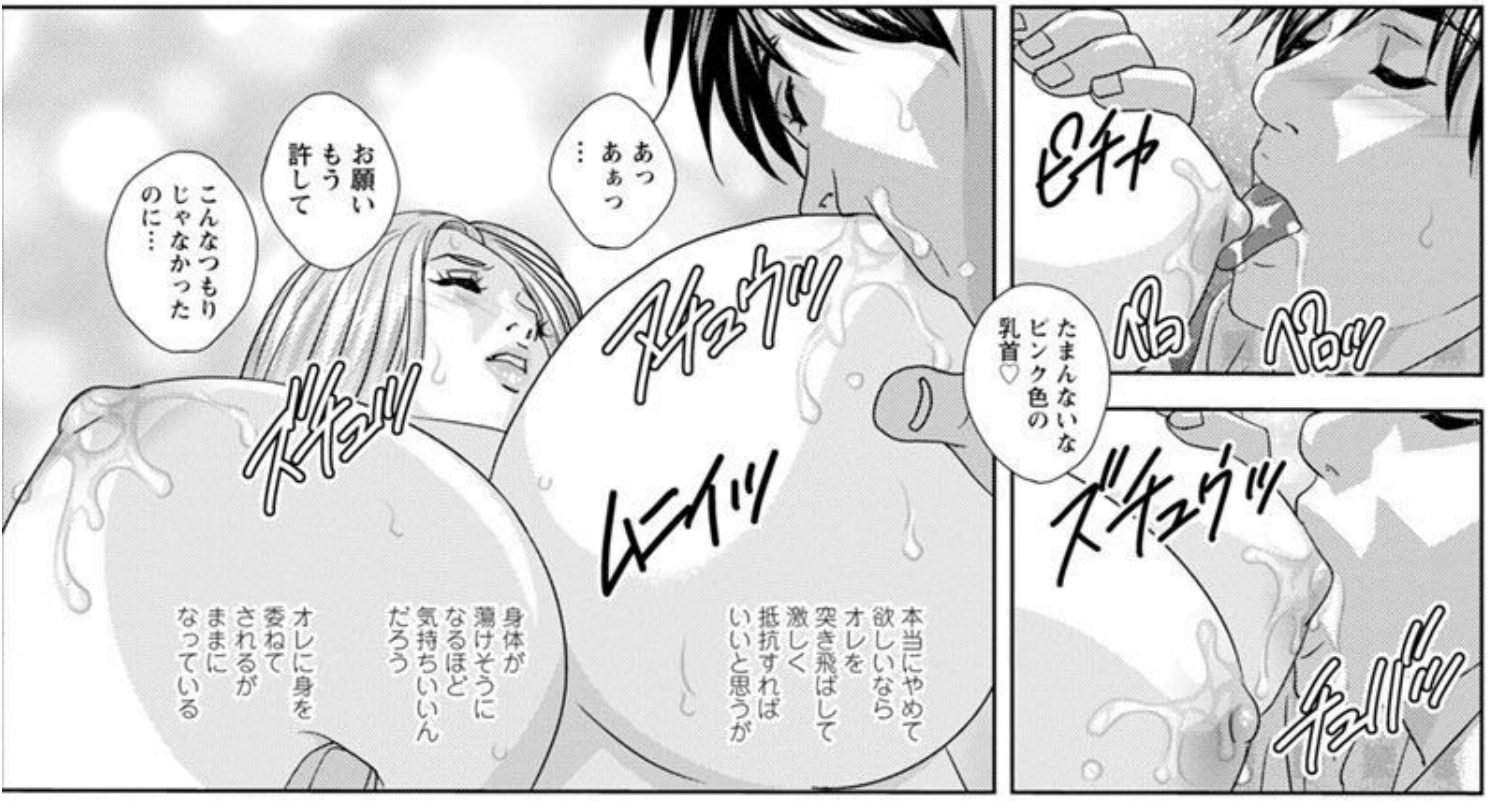
さっきパンツを下ろした時に見ましたよねオレのペニス
えっ？
お返しにエマさんの身体を見せて下さい
あっあれはしょうがなく…
オレだけが恥ずかしい思いをしたなんて不公平です
本当に見るだけです
それならおあいこだしいいでしょう？
そんなこと…
でもユウくん約束守らないから…
もちろん守る気はない
女にはあとから自分は悪くなかったと行動を正当化できる理由を与えてやればいいんだ
今度こそ本当です絶対に約束します
見てもいいですよね？
本当ね本当に約束よ
じゃあ脱がせますよ
あっ…！
わぁお!!
いやっ…
恥ずかしいわ…

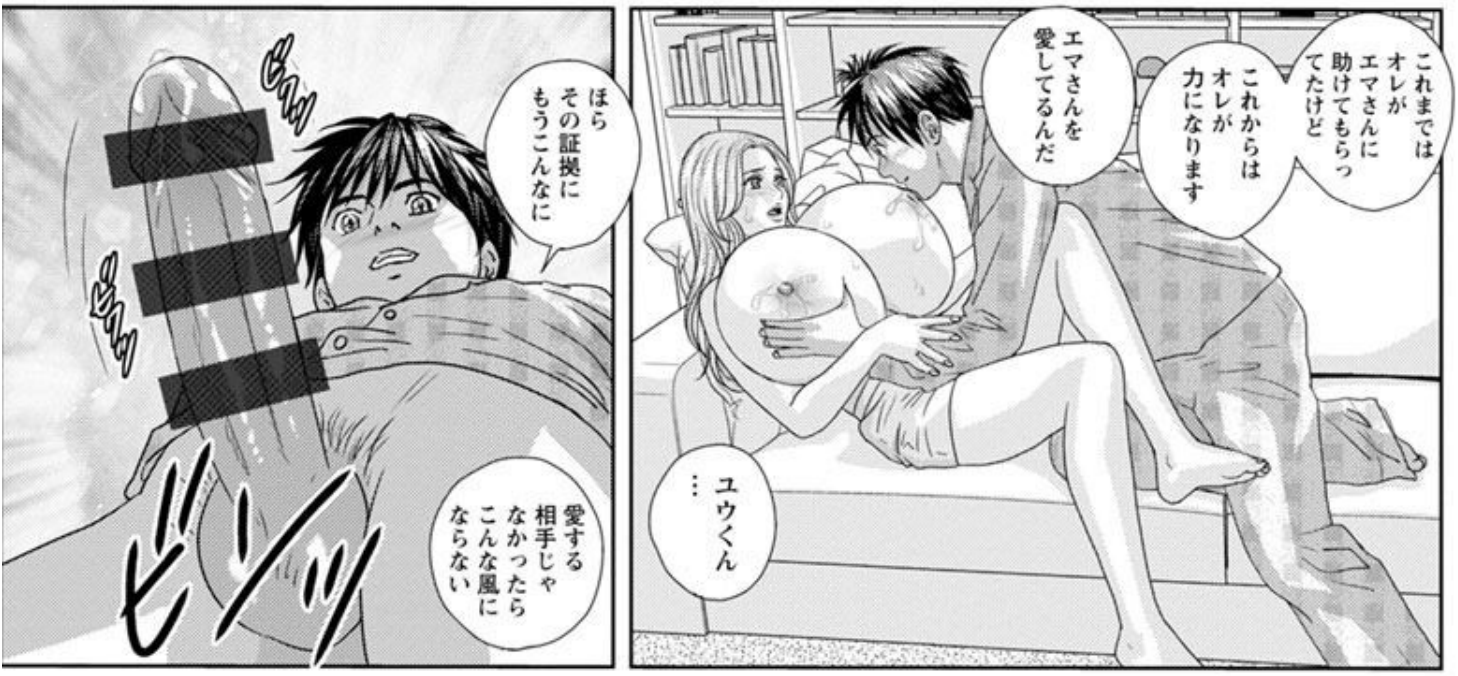

ブラも外します
そんなに見たいの？
はいどうしても
ブルン!!
あまり見ないで
わたしの胸大きすぎるから…
かわいいなユリカと同じような初々しい恥じらい方だ
すごくセクシーですよ
ウソ
本当です
手で隠さないで見せて下さい
タプン!!
タプン!!
それにしても想像以上に大きいいったい何カップあるんだ!?
身体つきはほっそりしてるからよけいに乳房の大きさが目立つ
艶やかで張りがある
陶器のような美しい白い肌
たまらねぇ…
マジでエロすぎる
乳輪も処女のようなうっすらとしたピンク色だ
こんな綺麗なおっぱい見たことありませんまるで芸術品です
ボイーン!!
はみ!!

早くこの超乳でパイズリしてぇーっ!!
でも今はエマさんをその気にさせることが優先だ
もういいでしょ
待って下さい
すごいつきたてのおモチみたいに掌に吸いついてくる…
もう半分くらいは受け入れてくれてるような感じもするが…
あっ…
んふぅっ
ちょっと待って
もうひと押ししなきゃ
ずっとこうしたいって思ってたんです
見るだけって言ったのに…
すいません…でもムリです
それにこんな素敵なおっぱいを見せられて何もしないなんてかえって失礼だ
本当に最高ですよエマさんのおっぱい♡
ダメよいけないわ
あっいやぁっ
もうやめて…



まだ第一幕の導入部分が始まったばかりなのにやめるわけにはいかない
ノンッ いけないわ
ピチャ
チュプッ
ここはヒロインを物語に引き込むためのアクションが必要かな…
やってみるかユリカが好きな両乳首同時舐め
ムギュッ
あっ イヤッ
な なにっ!?
レロ
レロ
レロ
レロ
レロ
どうなってるのわたし…!?
ダメなのに…いけないのに感じちゃうっ
ビクッ
ビクンッ
女性の性欲は三十五歳でピークに達してその後十年間続くんです
エマさんは今まさに絶頂なんだ
エマさんが新しい恋を始めようとしてるのは自然な流れだ
はぁっ…あんっ!!
ビクンッ
性欲を司るのは男性ホルモン・テストステロンだが
若いうちは女性ホルモン・エストロゲンが強く働くため女性の性欲は弱められる
だが年齢を重ねるとそれが逆転し相対的に性欲が高まる
また妊娠可能な肉体的期限が近づき最後のチャンスとばかりに性欲が強くなる
ズチュウッ
チュバッ
チュバッ
すごくおいしいよエマさんのおっぱい♡
つまりエマさんはセックスがしたくてたまらないはずだ


ピチャ
ペロッ
たまんないな
ピンク色の
乳首♡
ズキュウッ
キュパッ
あっ
あぁっ
…
お願い
もう
許して
こんなつもり
じゃなかった
のに…
ズキュン
ムニイッ
本当にやめて
欲しいなら
オレを
突き飛ばして
激しく
抵抗すれば
いいと思うが
身体が
蕩けそうに
なるほど
気持ちいいんだろう
オレに身を
委ねて
されるが
ままに
なっている


これまでは
オレが
エマさんに
助けてもらって
たけど
これからは
オレが
力になります
エマさんを
愛してるんだ
ユウくん
…
ほら
その証拠に
もうこんなに
ビクッ
ビクッ
ビンッ
愛する
相手じゃ
なかったら
こんな風に
ならない

いやっ
み…見せ
ないで！
ビンッ
ひょっとして
ご主人以外の
ペニスを
見るのは
ひさしぶり
ですか？
な…なにを
言うの!?
そんなの
当たり前
でしょっ
ほら
さわって
ねオレは
こんなに
エマさんを
愛してるんです
思った通り
エマさんは
貞淑ですね
でも
それなら
なおさら
あっ
…!!
ご主人が
亡くなってから
ずっと独り身で
さびしかった
でしょう？
オレ
エマさんの
さびしさを
埋めて
あげたいんだ

エマさんも感じてきたんじゃありませんか？
あっやめて
ほらやっぱり
すごく濡れてますよ
いやっ恥ずかしい…
オレはツイてる
エマさんの女盛りの時期に大人の男になり
そして他の男に盗られる前に間に合った

全て奇跡的な偶然の積み重ね
そしてこのパジャマを着てることも
オレがユリカと仲良くなったこと
今日オレがこの家を訪ねたこと
恋愛感情が遺伝子にインプットされた本能としての生殖行為の延長だとしても
特定の相手と奇跡的な偶然が積み重なるなら…
それはきっと運命なんだ
運命？
オレとエマさんが愛し合うこと
今またひとつオレに大いなる野望が出来た
母娘そろってオレとのセックスなしでは生きられない身体に仕立てあげてやる
to be continued…

エマさんのアソコがみたい
アソコ？
オマ○コ…
フランス語で言うとcon？chatte？
んんっいやっ
やめて脱がさないで
そうはいきません
アマさんもアソコを見せてくれなきゃおあいこにならない
でも…
それに濡れた下着をつけているのは気持ちよくないでしょう？
そう言いながらもオレの手を拒もうとしなくなってる
脱がせますよ
これならいけそうだ
スカートまで!?
あっ！
いやっ…

guess who's CUMMING?

招かれたる客

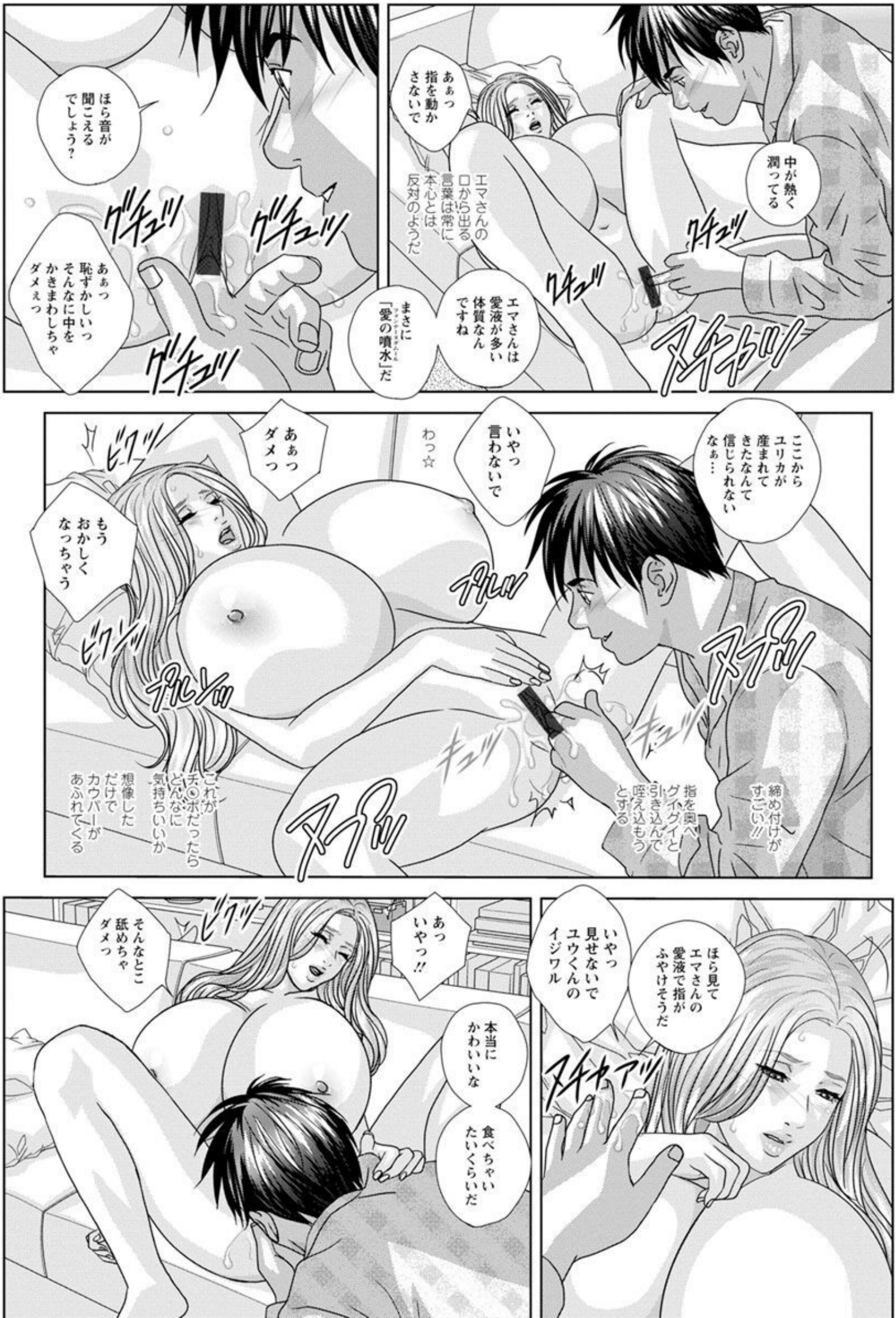
chapter:013

すごいっ
エマさんの
アソコが
丸見えだ！
こっちも
すごく
綺麗ですよ
いやぁっ
…!!
やっぱり
ユリカと同じ
天然の
パイパンだ
無毛の恥丘に
くっきりした
ワレメはまるで
無垢な少女の
ようだな…

エマさんのここ
濡れまくって
グチョグチョに
なってる
それに
すごく
エロくて
いい匂い♡
やっぱり
母娘(おやこ)だな
形が似てる
小さめで
形のいい
女性器だ
陰唇も肥大
してない
あまり
使い込んだ
ようには
見えないな
あまり
顔を
近づけ
ないで
熱い息が
かかって
…
恥ずかしいわ
ねぇもう
見たんだから
いいでしょ？

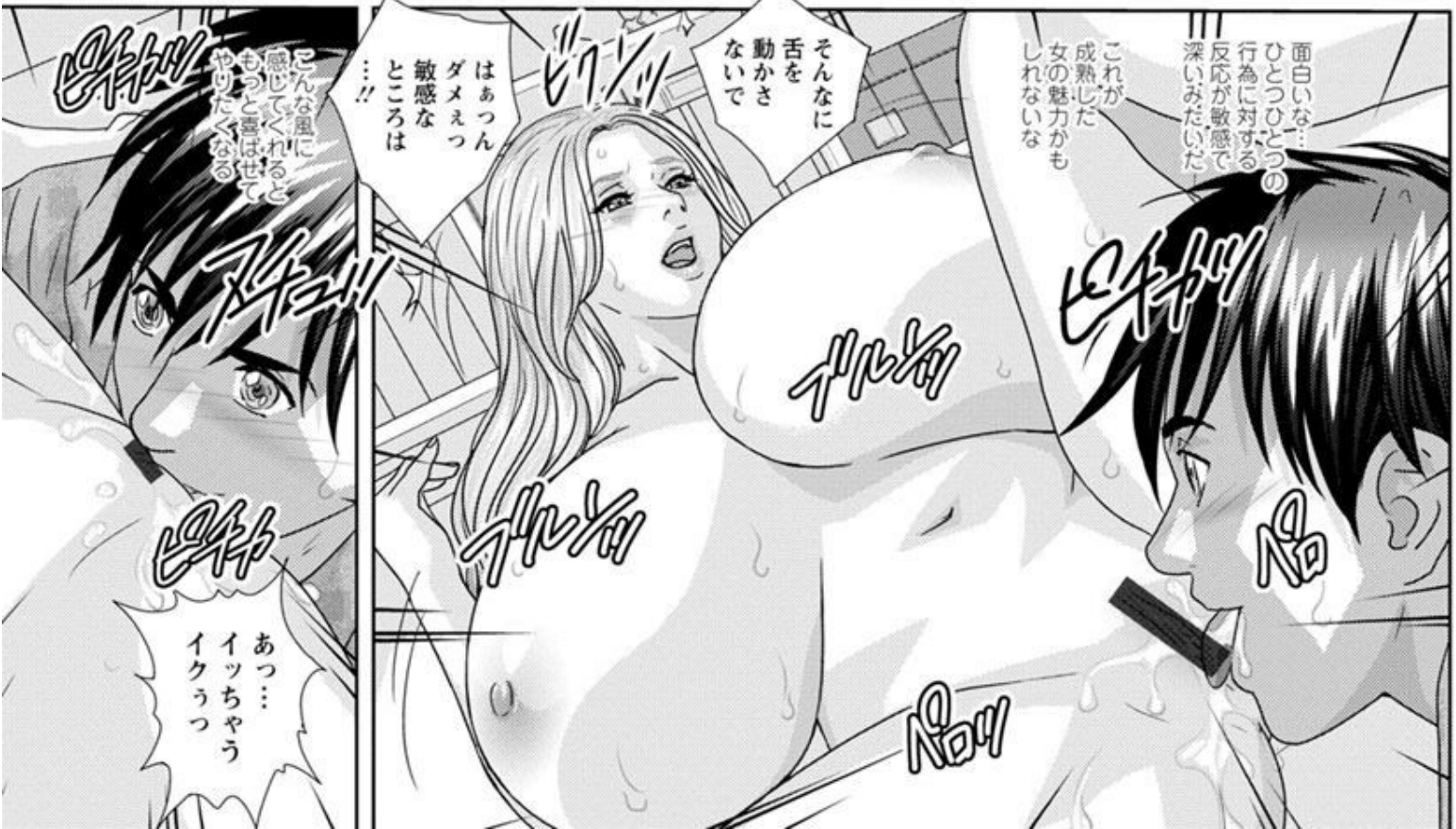
色合いはユリカと
微妙に違うけど
初々しい
ピンク色だ…
色素の薄さは
さすが白人
ならではだな

でも
エマさんの
ここ
ヒクヒクして
さわって
欲しそう
ですよ
あっ
さわっちゃ
ダメ！


中が熱く潤ってる
あぁっ指を動かさないで
エマさんの口から出る言葉は常に本心とは反対のようだ
エマさんは愛液が多い体質なんですね
まさに「愛の噴水（ファンテーヌダムール）」だ
ほら音が聞こえるでしょう？
あぁっ恥ずかしいっそんなに中をかきまわしちゃダメぇっ
ここからユリカが産まれてきたなんて信じられないなぁ…
いやっ言わないで
わっ☆
あぁっダメっ
もうおかしくなっちゃう
締め付けがすごい!!
指を奥へグイグイと引き込んで咥え込もうとする
これがチ◎ポだったらどんなに気持ちいいか想像しただけでカウパーがあふれてくる
ほら見てエマさんの愛液で指がふやけそうだ
いやっ見せないでユウくんのイジワル
あっいやっ!!
本当にかわいいな
食べちゃいたいくらいだ
そんなとこ舐めちゃダメっ

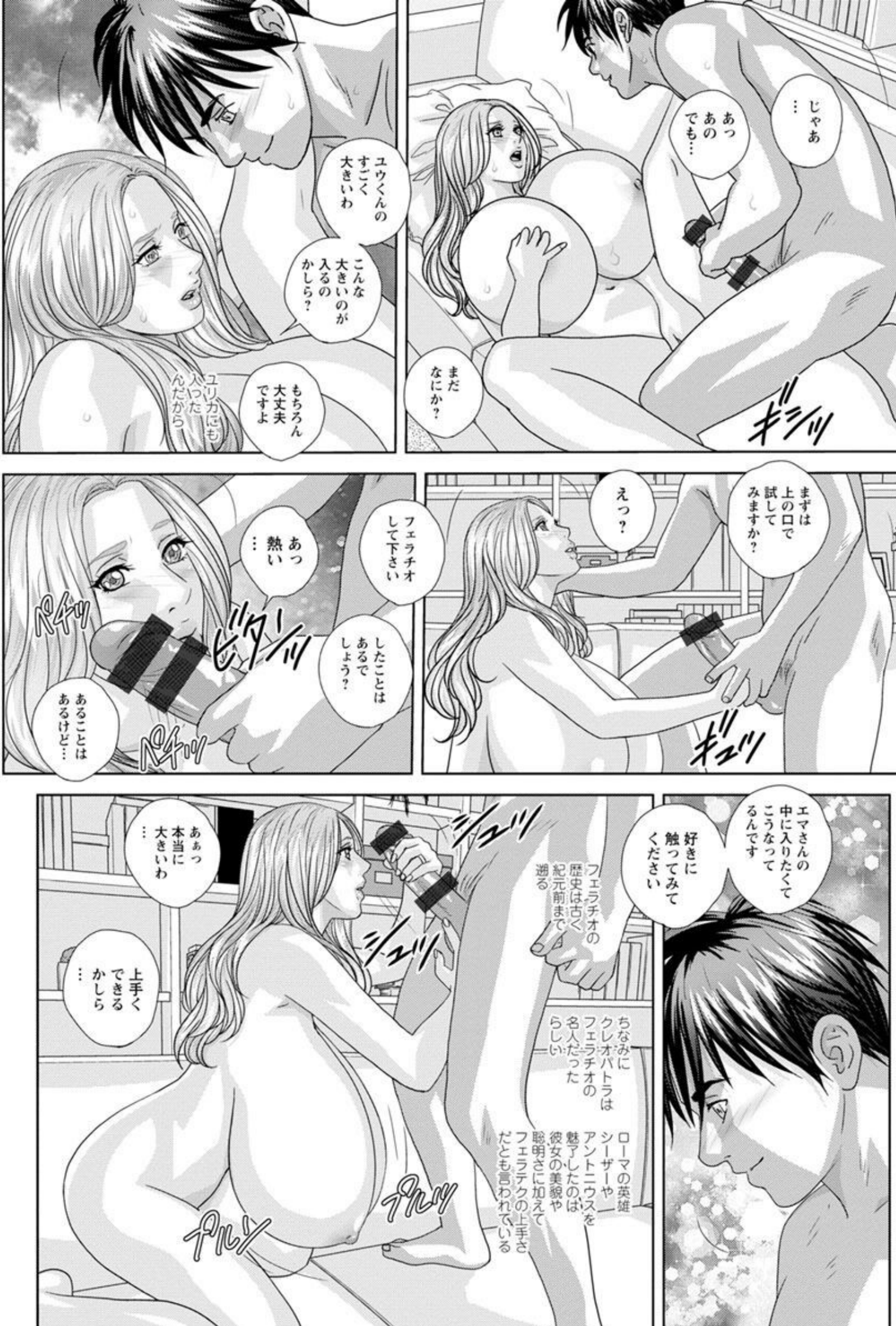
んあぁっ
おいしいよ
エマさんの
愛液
ひゃうっ!!
アッ!
アンッ!!
はぁぁっ
いやぁっ
わたし
どうなっ
ちゃて
るの!?
それにしても
感度がいい

愛液が
どんどん
あふれてくる
エマさんの
プッシーは
見かけと
違って
淫乱だな
んあぁっ…
ユウくんの
せいよ
んっ
んくうぅぅっ

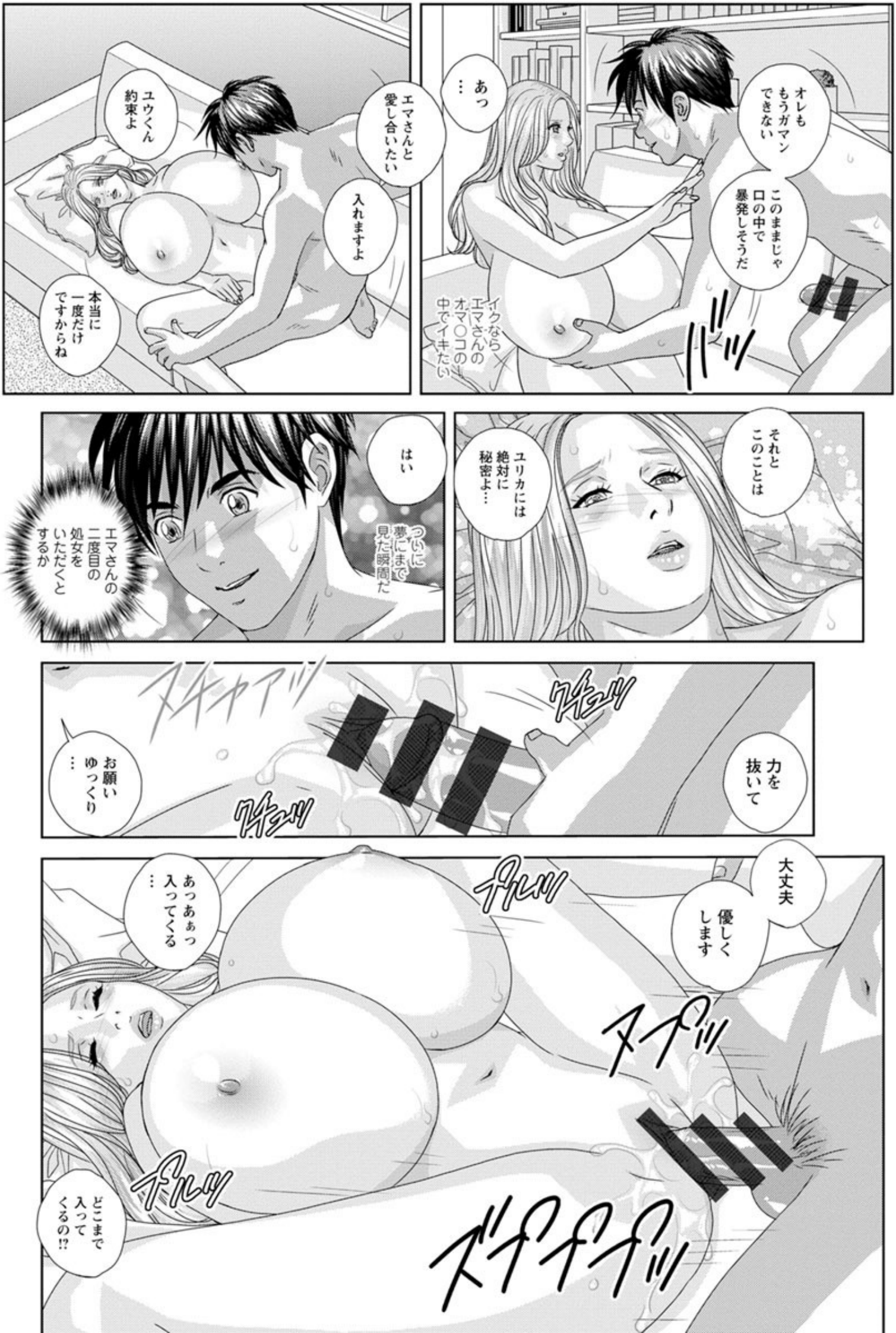

面白いな…
ひとつひとつの
行為に対する
反応が敏感で
深いみたいだ
これが
成熟した
女の魅力かも
しれないな
そんなに
舌を
動かさ
ないで
はぁっん
ダメぇっ
敏感な
ところは
…!!
こんな風に
感じてくれると
もっと喜ばせて
やりたくなる
あっ…
イッちゃう
イクぅっ

はあぁぁっ
あっ あぁんっ
ビクッ
ビクンッ
イクっ!!
んあぁぁ
――っ!!
ズチュッ
ギュルッ
ギュルッ

ノンっ
ダメよ
それだけは
いけないわ
こんなにしておいて
今さらダメもないと思うが
なにが
いけないんですか？
エマさん
だって
本当は
望んでいる
でしょう？
クイッ!!
クイッ!!
あっ…
待って
わたし…
夫にしか
身体を
許したことが
なかったの
だから
とても
こわくて…
あぁっ
イヤだわ
いい歳して
わたしなに
言ってる
のかしら…
エマさん…
恥ずか
しい…
エマさんは
長い期間
男性と性交渉が
なかったから
セックスに対して
処女のような
緊張と不安を
感じているのか
まさに
セカンド・
バージンと
いうわけだ
大丈夫
心配
しないで
今だけは
オレのことを
亡くなった
ご主人だと
思って下さい
えっ…
初めての
時よりも
優しく
します
言った
でしょう
運命なん
だって
今日オレが
ここにいる
ことも
パジャマを
オレに貸して
くれたのも
それに
たった
一度
だけです
これ一度
きり？
それなら
いいで
しょう？
ダイッ!!
もちろん
一度きりで
終わらせる
つもりは
ないが
たった一度の
あやまちなら
神様も許して
くださるかも
しれないわね


じゃあ…
あっあのでも…
まだなにか？
ギシッ
ユウくんのすごく大きいわ
こんな大きいのが入るのかしら？
ユリカにも入ったんだから
もちろん大丈夫ですよ
まずは上の口で試してみますか？
えっ？
ギュッ
フェラチオして下さい
あっ熱い…
したことはあるでしょう？
あることはあるけど…
ペチッ
ビタン
ペチッ
エマさんの中に入りたくてこうなってるんです
好きに触ってみてください
フェラチオの歴史は古く紀元前まで遡る
ちなみにクレオパトラはフェラチオの名人だったらしい
ローマの英雄シーザーやアントニウスを魅了したのは彼女の美貌や聡明さに加えてフェラテクの上手さだとも言われている
シュッ
シュッ
あぁっ本当に大きいわ…
上手くできるかしら…
クルン
クルン

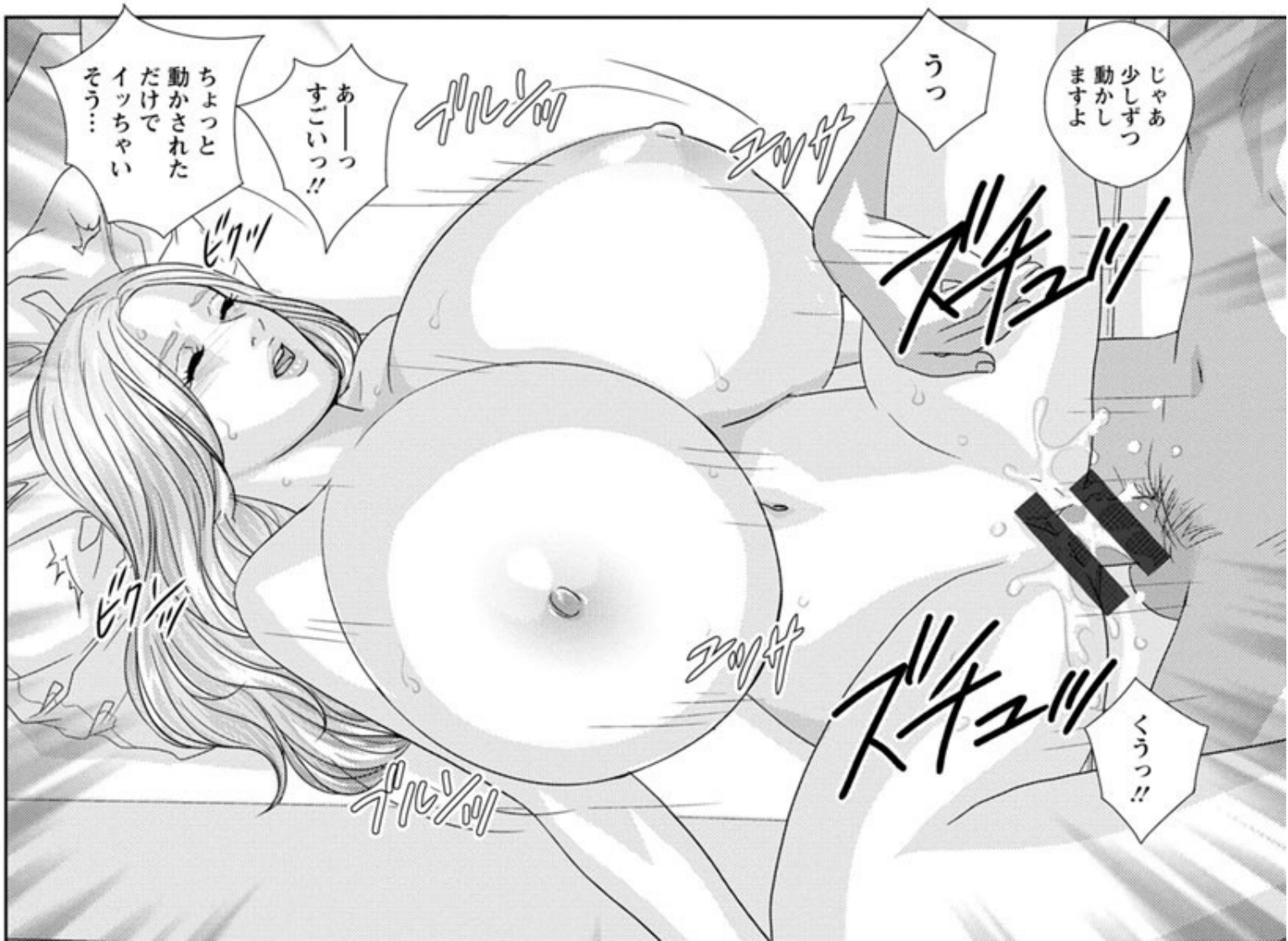
あふっ…んっ
んんっ…
ビチャ
ビチャ
あぁ…エマさんにしゃぶってもらえるなんてうれしいよ夢みたいだ
深くくわえて唇でしごいて
くわえたまま舌も動かして
ウィ
ズチュッ
ズチュッ
んんっお口の中がいっぱい…
レロ
レロ
お口に入るかしら…？
うぅっすごく気持ちいいよ！
本当に？
あぁ最高だ
口の中でねっとりと舌が絡んでたまんないよ
グポッ
グポッ
グポッ
最高の眺めだな
貞淑な未亡人…しかも金髪美女が一糸まとわぬ姿で座り込んでオレの肉棒を深々と咥えている
唇でキュウッと締めつけながら吸引されて
端整な美貌が淫らに変形することもかまわず頬をへこませ口内粘膜を肉棒にぴったりと密着させてくる
舌が裏筋からカリ首鈴口まで這い回って痺れるような快感だ
口元と肉棒が唾液で濡れヌラヌラと妖しく光ってすごく淫らだ
んふぅっ…んんっ!!
ズチュルッ
ズチュルッ
ズチュルッ
うあぁっすごいよエマさんのフェラチオ
チ○ポがとけちゃいそうだ!!
ビクッ


オレももうガマンできない
このままじゃ口の中で暴発しそうだ
あっ…
イクならエマさんのオマ○コの中でイキたい
エマさんと愛し合いたい
入れますよ
ユウくん約束よ
本当に一度だけですからね
それとこのことは
ユリカには絶対に秘密よ…
はい
ついに夢にまで見た瞬間だ
エマさんの二度目の処女をいただくとするか
力を抜いて
お願いゆっくり…
大丈夫優しくします
あっあぁっ入ってくる…
どこまで入ってくるの!?

すごい
奥まで
ささってる
グッ
おなかの
ここまで
きてるわ
…
ビクッ
ビクッ
あぁあぁぁぁ
――っ!!
OH!
MON
DIEU!!

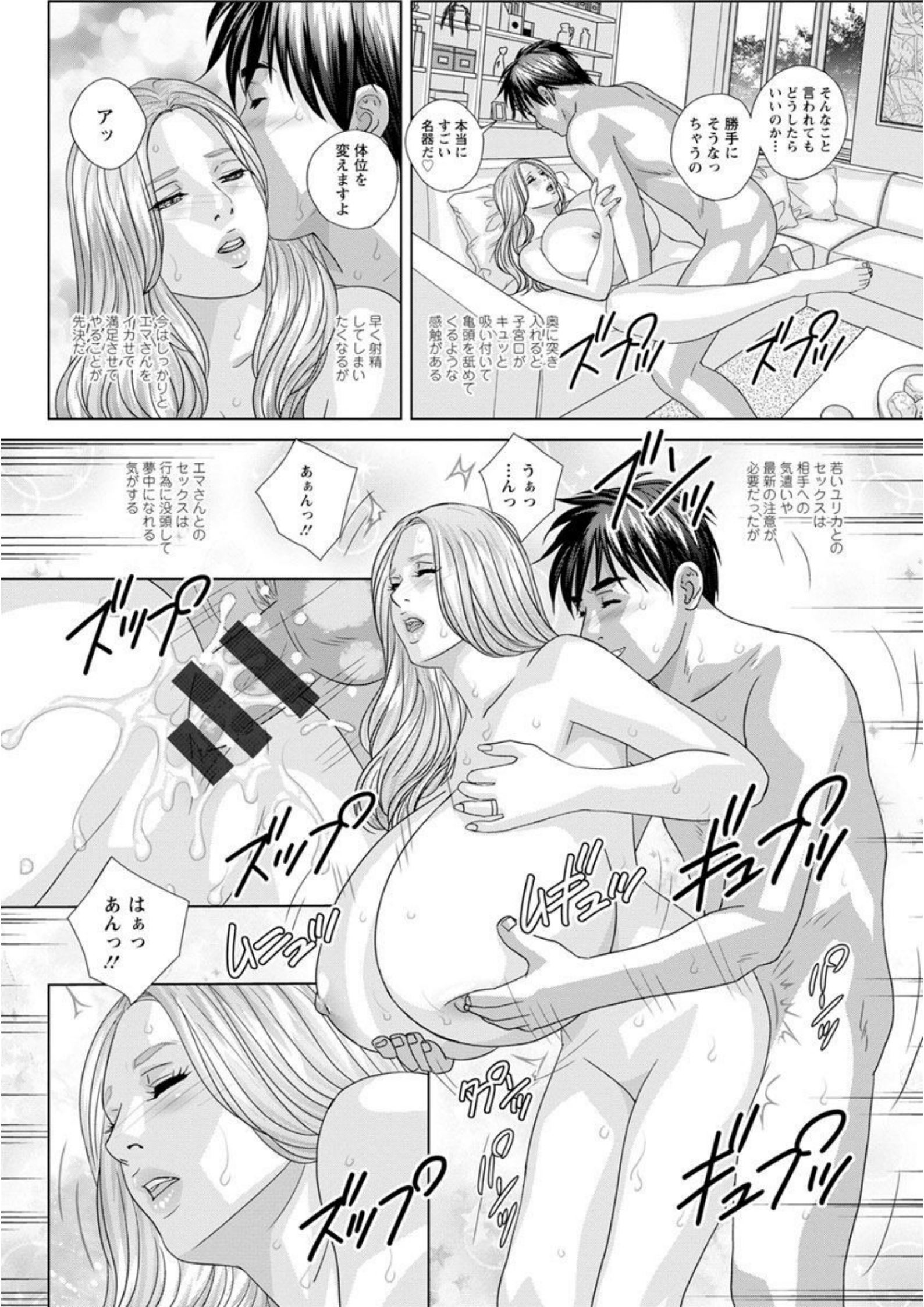
うぁぁっ
ズッポリ
根元まで
入った…
すごい
一体感だ!
とうとう
ヤッたぞ!!
はぁぁ
…っ!!
んぁぁっ
信じられない
入っちゃう
なんて…
エマさんの
オマ○コ
すごく
気持ちいいよ!!
肉襞がペニスにぴったり密着してフィットしてくる
ズチュ

どうしよう
こわれ
ちゃうっ
ズチュ
しかも
入り口と奥が
絶えず収縮を
繰り返して
すごい
締まりだ
まだ
動いても
いないのに
こんな刺激が
あるなんて…
キュッ
キュッ
ユリカとの
セックスを
経験して
なかったら
すぐにイッて
しまっていた
かもしれない
巨乳だけでなく
アソコの
締まり具合も
しっかりと
娘に遺伝した
ようだな

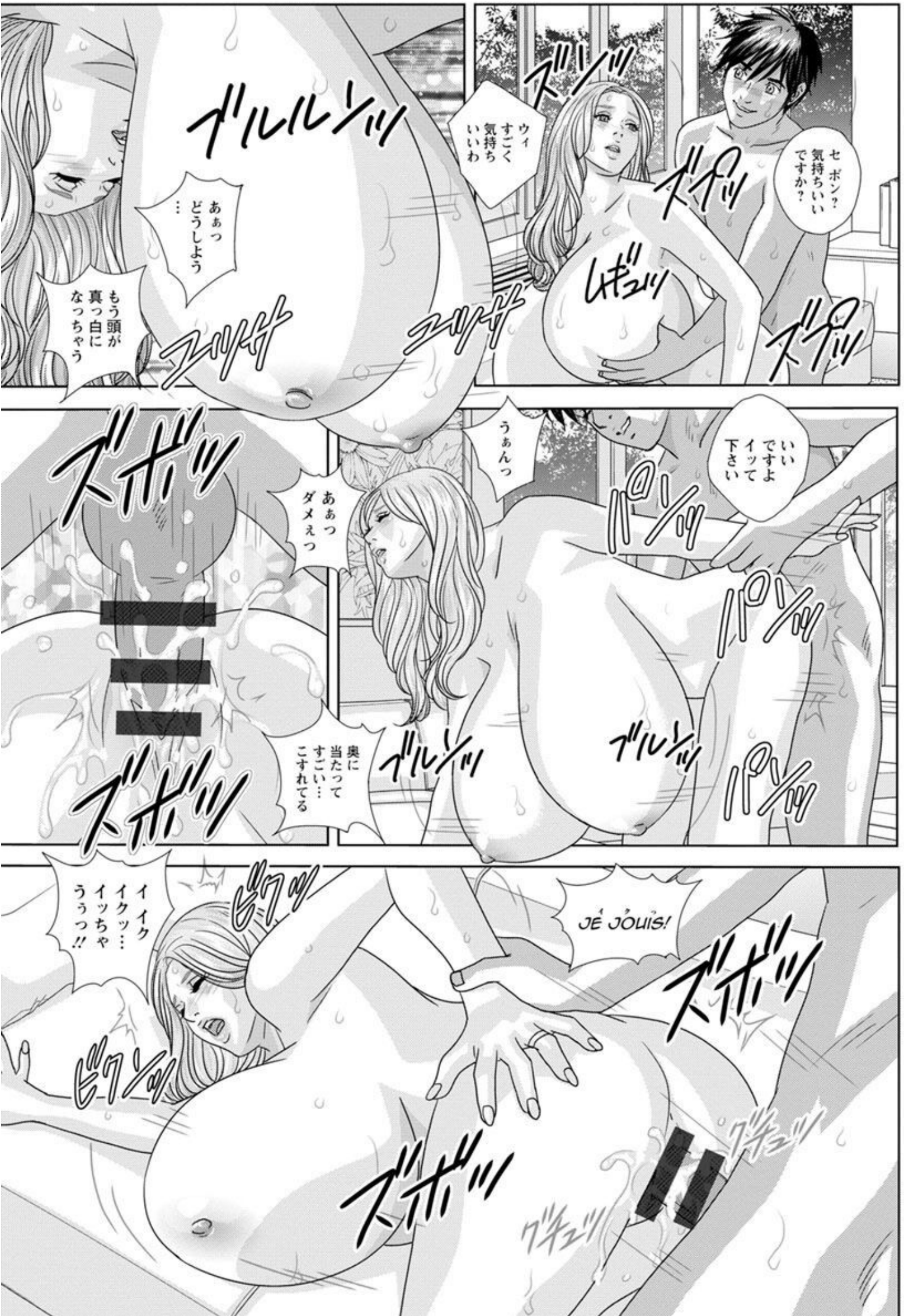


どうですか一〇年ぶりのペニスの感触は？
はぁ…んっ
わからないわ
ヌチュッ
ギシッ
夫とは違いすぎてこんな…
こんな感じ初めてよ…
どうやらお世辞というわけでもなさそうだな
オレとエマさんは身体の相性がいいみたいですね
まるでお互いのために作られたみたいだ
エマさんの膣はすっかりオレのペニスになじんだようだ
ユリカと同様にオレとのセックスなしでは生きられない女に仕立ててやる
じゃあ少しずつ動かしますよ
うっ
ズチュッ
ズルンッ
ユッサ
あーーっすごいっ!!
ちょっと動かされただけでイッちゃいそう…
ビクッ
ビクンッ
ズチュッ
ユッサ
ズルンッ
くうっ!!

はぁぁんっ
んっんっんっ
すごいわ
ユウくんっ
あっあぁっ
イクイクぅっ
イッちゃうぅっ
あっあっ
あっ
すごい…
おぉうっ!!
す すげぇっ
締まるっ!
めちゃくちゃ
気持ちいいっ!
愛液が
あふれて
いるから
抜き差しは
スムーズだが
ぴったりと
膣肉がまとわり
ついて肉襞を
まくり上げる
ような感覚がある
すごく
熱くて…
チ○ポが
溶けちゃ
いそうだ!!
最高だよ
エマさんの
オマ○コ!!
くうっ!!
オレの言葉に
反応して
膣肉の
締め付けが
いっそう
強くなった
んっ
くうっ
うぁんっ
エマさん
そんなに
締めつけ
ないで!
エマさんを
夢中に
させる
どころか
逆にこっちが
メロメロに
されてしまい
そうだ



そんなこと言われてもどうしたらいいのか…
勝手にそうなっちゃうの
本当にすごい名器だ♡
奥に突き入れると子宮口がキュッと吸い付いて亀頭を舐めてくるような感触がある
ズプッ
ズプッ
体位を変えますよ
アッ
早く射精してしまいたくなるが
今はしっかりとエマさんをイカせて満足させてやることが先決だ
若いユリカとのセックスは相手への気遣いや最新の注意が必要だったが
ズンッ
うぁっ…んっ
あぁんっ!!
エマさんとのセックスは行為に没頭して夢中になれる気がする
ズップ
ズップ
ギュプッ
ギュッ
ムニュッ
はぁっあんっ!!
パンッ
ダンッ
パンッ
ギュプッ
ズップ

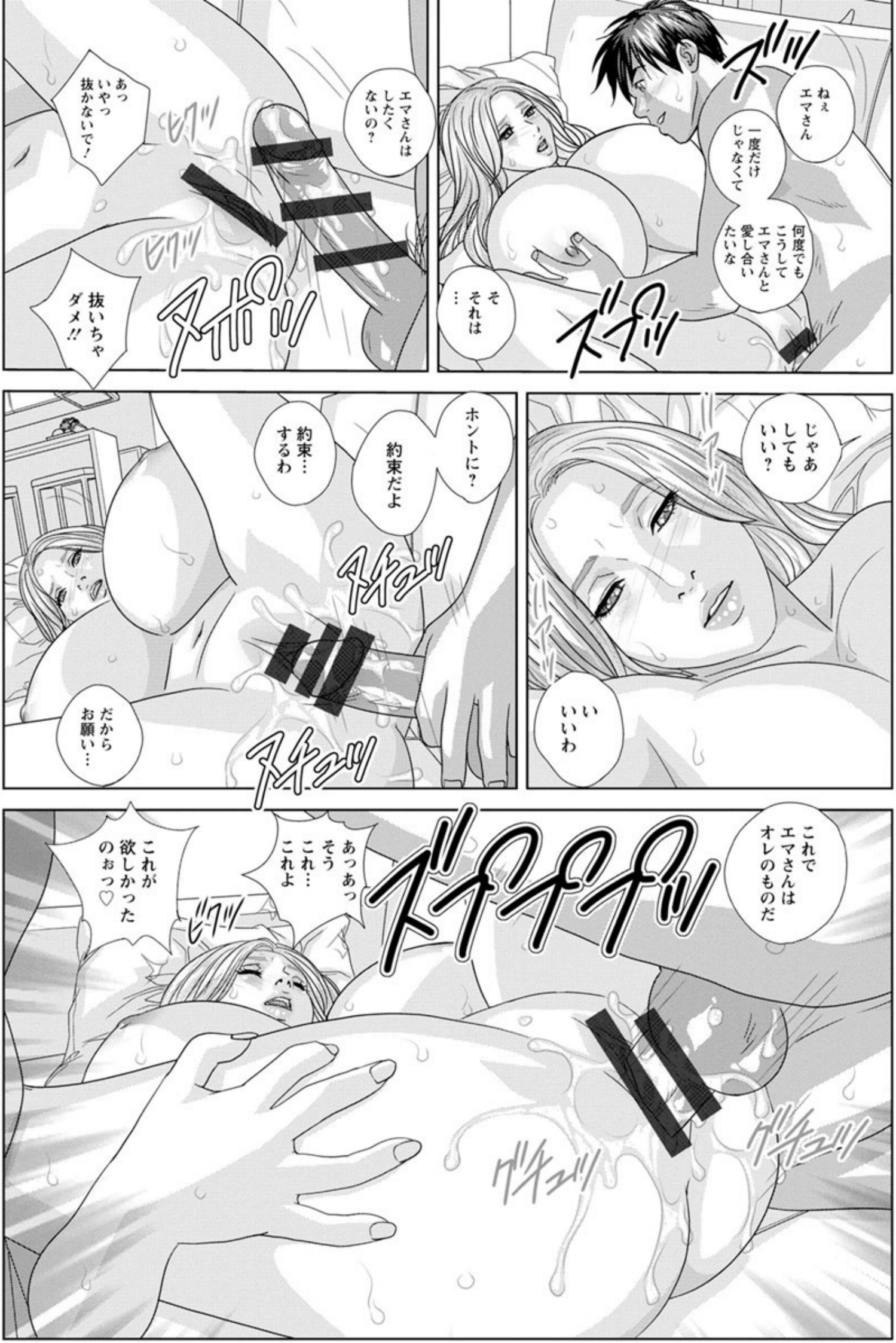


セボン？気持ちいいですか？
ズンッ
ズプッ
ウィすごく気持ちいいわ
ズプッ
ブルルンッ
あぁっどうしよう…
もう頭が真っ白になっちゃう
ユッサ
ユッサ
いいですよイッて下さい
パンッ
パンッ
パンッ
ブルンッ
ブルンッ
うぁんっ
あぁっダメぇっ
奥に当たってすごい…こすれてる
ズボッ
ズボッ
JE JOUIS!
ズボッ
ビクッ
イイクイクッ…イッちゃううっ!!
ビクンッ
グチュッ
グチュッ
ズボッ

まだまだ終わりじゃありませんよ
AH! MON DIEU! ON ME TUE…
あんっ
もう死んじゃう…
もっと気持ちよくしてあげます
どうですかこの体位は？
ペニスの裏筋がGスポットを刺激するでしょう？
あぁっいやぁんっ!!
よくわからないけどすごく感じちゃうっ!!
夫以外の男を知らないというのは本当のようだ
これだけ成熟じた肉体なのにまだまだ未開発な部分がある
ますます自分好みの女に仕立てることが楽しみになってきた
アッ!
アンッ!!

あっ
あぁっ
あんっ
それにしても…
超巨大な
おっぱいが
プルプル揺れて
すごい迫力だ
まさに
ギネス級
だな
これだけ
大きな乳房は
世界中探しても
もそうは
ないだろう
んぁっ
あぁっ
この超乳は
いくら揉んでも
飽きるって
ことがないな
ユリカには
申し訳ないが
おっぱいに
関しては
完全にエマさんの
勝ちだな
はぁっ
んっ!!
男が
なぜ
乳房に
惹かれる
のか?
――は
どうでも
いいか
この超乳の
前で理屈は
無用だな
うあぁっ
たまんねぇっ
すごく
いい匂い
がするし
めちゃ
くちゃ
興奮する♡
おっぱいに
埋もれて
窒息しそうだ

ごっちも
だんだん
余裕が
なくなって
きたな
とりあえず
このへんで
一発抜いて
おくか
そろそろ
ラスト
スパートだ
激しい
高速ピストンで
フィニッシュ
しますよ
んふぅっ
あんっ
あぁっ
あっあっ
あ――っ
ダメぇっ!!
そんなに
激しく
されたら
イッちゃう
また
イクぅっ!!
くうっ
あぁっ…
エマさん
イクよ!!
COMME JE TE SENS BIEN!
あぁ――――っ!
すご…いっ
気持ちいいっ!!


ねぇ
エマさん
一度だけ
じゃなくて
何度でも
こうして
エマさんと
愛し合い
たいな
そ
それは
…
エマさんは
したく
ないの？
あっ
いやっ
抜かないで！
抜いちゃ
ダメ!!
じゃあ
しても
いい？
いい
いいわ
ホントに？
約束だよ
約束…
するわ
だから
お願い…
これで
エマさんは
オレのものだ
あっあっ
そう
これ…
これよ
これが
欲しかった
のぉっ♡

はぁあ…っ
すごいっ
気持ちいいっ！
んっ…んんっ
ユウくんのペニス
中でまた大きく
なってる…
あぁ――っ!!
ズッ
ズッ
ズチュッ
ズチュッ

そのためにも
エマさんの
子宮に
しっかりと
オレの存在を
覚え込ませて
やる
to be continued...

エマさんの
身も心も
オレのものに
したい
あっ ダメっ
イッちゃいそう
あぁ――っ!!
ズッ
ズッ
ズルッ
ズルッ

エマさん
オレもう
イキそうっ!!
あっ
待って!
ズッ
ズッ
中は
ダメよ!!
お願い
だから
外に…!!
タプッ
オレは
マシンガンの
ような激しい
高速ピストンで
エマさんの
膣に肉棒を
出し入れして
一気に頂上へと
駆け上がって
行った
ズボッ
ズボッ
タプッ
いやだ
中に
出したい
…!!
これまで
必死に
抑えていた
射精感が
こみ上げて
きた
ユウくんの
ペニス…
わたしの中で
大きくなってる!
ビクッ
うおぉっ
出るっ!!
ズブッ
ズブッ
ズブッ

あぁっ
ダメぇっ!!
熱いのが
出てるぅっ!!
あはぁあ
あぁ…っ!!
ビクッビクッ
ドクッ
ドクッ
ビュルルル!!
ドクッ
ビュクッ!!
くうっ!
うぅっ!!

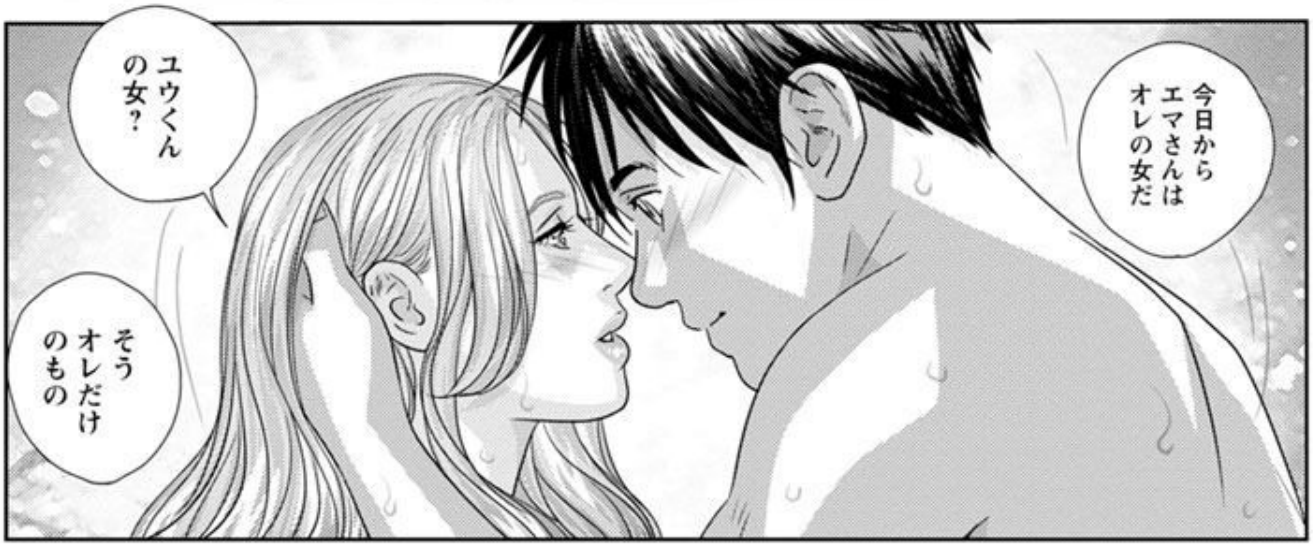
うぁっ…!!
はぁっ…
あぁっ…!!
ビュクッ
ビュクッ
ビュクッ
ビュクッ

エマさんの膣の内部が全体がキュッと激しく収縮して肉棒を締め付けてくる
まるで一滴残らず精液を吸い取ろうとするように先端から根元までまんべんなく締め付けて放さない
キュッ
キュッ
ドクッ
ズビュッ
ドクッ
くうっ…
はぁぁ…あっん
すごいよエマさんのオマ○コ…!!

気持ちよすぎて射精がとまらない
ダメって言ったのに…
妊娠したらどうするの…?
すいません
我慢できませんでした
あっ…
それにしても想像以上にすごい抱き心地だ
支配欲と征服欲が満たされて充実感がハンパない
メリッ
ブボッ
トロ〜ッ

セックスとアムールは切り離せないものでしょ

でも中に出したかったんです
愛してるから
決していいかげんな気持ちじゃありません


今日からエマさんはオレの女だ
ユウくんの女？
そうオレだけのもの

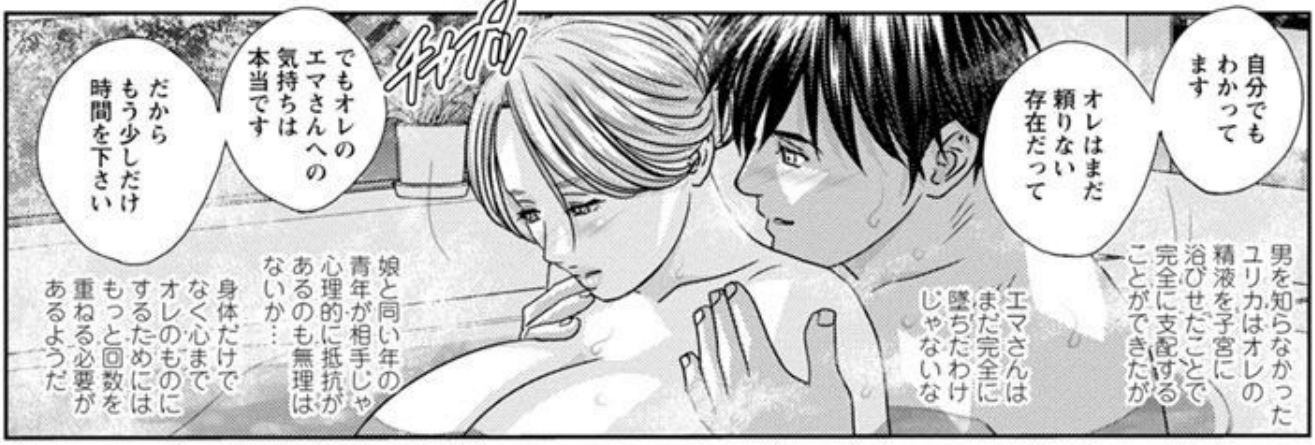
そう…
じゃしかたないわね

すごく汗かいちゃった
一緒にシャワーを浴びましょうか

すごく気持ちよかったから
許してあげる♡

CHAPTER.014
いくたびか
激しく燃え
ONCE.IS.NOT.ENOUGH
世界が
一変したわ
ドゥーン
とても
不思議…
まるで
止まっていた
時計の針が
急に動き
出したみたい
今朝
目覚めた時には
こんなことに
なるなんて
思ってもいな
かったのに…
チャプン

エマさん
ずっと離れたくない
ユウくん
少し冷静になって
今はのぼせてるだけかもしれないわ


自分でもわかってます
オレはまだ頼りない存在だって
でもオレのエマさんへの気持ちは本当です
だからもう少しだけ時間を下さい
男を知らなかったユリカはオレの精液を子宮に浴びせたことで完全に支配することができたが
エマさんはまだ完全に墜ちたわけじゃないな
娘と同い年の青年が相手じゃ心理的に抵抗があるのも無理はないか…
身体だけでなく心までオレのものにするためにはもっと回数を重ねる必要があるようだ

あなたはもう立派な大人よ
でも…

んっ…！

ズルいわキスで黙らせるなんて…
昔観た映画の真似です
今聞きたいのは愛の言葉だけだから

エマさんは母としての務めは十分果たした
これからは女として生きるんでしょう？
ムギュッ
ムニュッ
毎日!?
当然です 一〇年間の空白を取り戻すんだから
これからはオレが毎日ハメまくってやるから覚悟して
グニュッ
グニュッ
セックスすると幸せホルモンの「オキシトシン」が増加して幸福感を得られるんです
オレがエマさんを幸せにします
ビクッ
ペロッ
女は相手が好きだからセックスするのではなく
セックスするから相手のことを好きになる
スベスベして手のひらに吸い付くような感触だ
んんっ…くやしいわ
女にとってセックスはゴールではなくスタートだ
年下の男の子にこんなにドキドキさせられるなんて
どうしてこんな気持ちになるのかしら…
優秀な遺伝子を持つ男性を選んで子供を産むことが女性の本能であり
セックスすることによって妊娠や出産のリスクを伴うことを無意識で理解している
それにすごくやわらかい
ムニュッ
グニュッ
あぁっん
クチュッ
クチュッ
女にとってセックスは自分の価値そのものだ
だから身体を許したのは相手を好きだからだとあとから自己説得する
66

すごい ボリューム
片方の乳房だけでも五キロ以上ありそうだ
タプッ
タプッ
ビッ
アンッ
重たいでしょう？
ビクッ
ペロ
ペロッ
そうね… でももう慣れたわ
ズキュウッ
いつからこんなに大きく？
チュパッ
え――っと高校を卒業してからかしら…
意外と遅いんですね
わたし初潮が来るのも遅かったの
たしか十四歳だったかな
そうなんですか
エマさんのお母さんも大きい？
ええこれは遺伝よ
きっとユリカもまだまだ大きくなるわ
あの子はいやがってるけど
ムニュッ
オレにとってはいい知らせです
ユウくんは本当に大きいおっぱいが好きなのね？
スキュッ
スキュッ
そういえばあなたが小さい頃
わたしの胸を見て顔を赤くしてたわ
気付かれてたなんて恥ずかしいな
ムギュウッ
本当に最高だよエマさんのおっぱい♡

あぁ…っ
とても
気持ち
いいわ
はぁ…
っん!!
あんっ
やぁんっ!
エマさんを
オレだけに
奉仕する
性奴隷に
仕立て上げる
そのためには
逆に最初は
自分が奉仕して
エマさんに深い
オーガズムを
数多く与える
必要がある
感じてる顔が
エロかわいい
超乳な上に
感度もよくて
言うことなしだな

もっと
気持ちよく
してあげます
エマさんの
あえぎ声を
もっと
聞きたい
あっ
ユウくん
ダメぇっ!!
イ…イクイク
イッちゃう…!
イッちゃうぅっ!!
経験の
少ない
エマさんに
セックスの
楽しさや
快感を教えて
やれば
これまで
抑圧してきた
性欲が開放されて
あとはなし崩しに
オレのいいなりに
させることが
出来るはずだ

もしかしてイッちゃた？
ウィ
イッちゃったわ…
じゃ次はオレのも舐めて
ええ
あぁっすごく熱い…
ビクッ
とてもたくましいわ♡
ビクッ
こんな大きいものがさっきまでわたしの中に入っていたなんて…
ピチャッ
んっ
ペロッ
あふっ…
ペロ
ペロ
ズチュッ
んっんんっ…!!
絡みつく舌先が裏筋を這い回る
ズチュッ
うあぁっすごい!!
それたまんないよ
ウフッ
ユウくんの感じてる顔かわいい♡
グポッ
グポッ
んっ…
心のこもったフェラチオだ
んふんっ…
ギュポッ
ギュポッ
思った通りエマさんは男に尽くすタイプだな
うあぁっ!!

ヤバい
もう
ガマン
できない!!
エマさん
入れさせて!!
あっ
あぁぁ——っ!!
あんっ…!!
うぁあっ
気持ちいいっ
はぁっ…
あぁ——っ!!
あっ
あぁんっ!!
このまま
ベッドルームまで
移動しましょうか
このまま!?
そう
つながった
まま歩いて
夫婦の寝室
だった場所で
エマさんを
犯したい
ノンっ
ユウくんの
イジワルっ

あんっ
わぁ
キングサイズの
立派なベッドだ
よし
着いた
ご主人とも
このベッドで
愛し合った
んですか？
それは
…
日那と
愛し合った
ベッドの上で
人妻を抱いて
いると思うと
興奮するな
同じ場所で
オレに抱かれて
どんな気分？
いやっ
そんなこと
言わないで
エマさんは
もうオレの女
なんだから
いいだろ
それに
ご主人が
エマさんの
幸せを本当に
願ってるなら
今こうして
感じてる姿を
見て喜んで
くれますよ
そ…
そうかしら？
もちろん
ですよ

そんな…
はぁっ
あんっ!!
言って下さい
「オレに抱かれて
気持ちいい」って
あっ
あぁっ
ほら
ちゃんと
口に出して
言うんだ
あぁあ
—っ!!
ダ…
ダメぇっ!!
イク…イク
イッちゃうぅ
—っ!!
あ…あなた
ごめんなさいっ
ユリカも
ごめんなさい
わたし…
ユウくんに
抱かれて
すごく
気持ちいい
のぉっ!!

次はエマさんが上になって
好きに動いていいよ
んぁあっ自分で動いて気持ちよくなるなんて恥ずかしい…
やったことないの？
夫に頼まれて上に乗ったことはあるけどやり方がよくわからなくて…
大丈夫出来ますよ
擦り付けるように前後に腰を振ってみて
…こうかしら？
あぁっ…！その腰の動きヤバいすごくエロいよ♡
はぁあっ…気持ちいいところに当たって感じちゃう!!
やぁんまたイク！イッちゃう——っ!!
ブルンブルン波打っていい眺めだ
騎乗位で下から見上げる超乳はすごい迫力だな

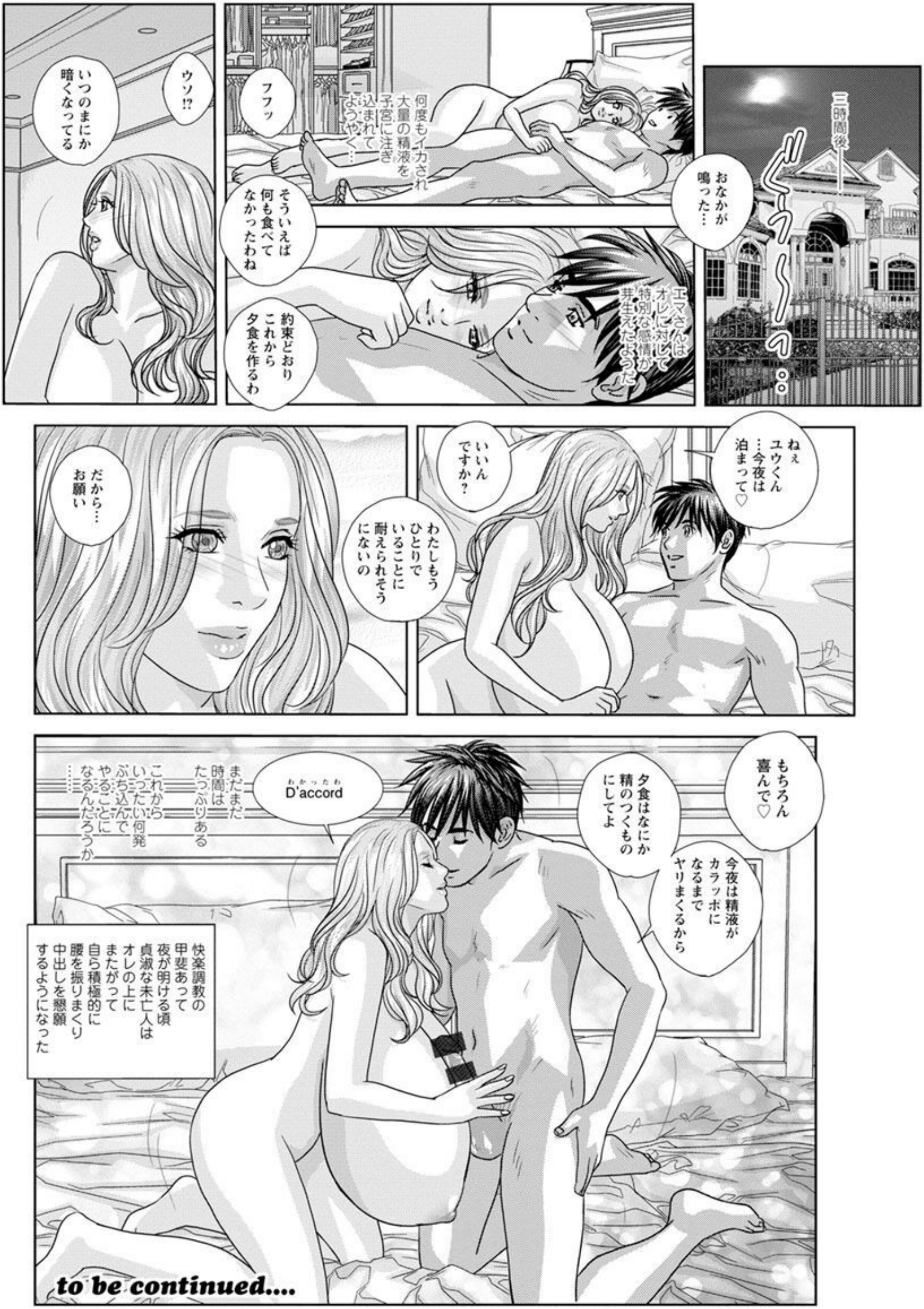
ヌチャッ
ペロッ
ヌチャッ
ペロ
んあぁっ たまんねぇ
エマさんっ！
オレも もう イキそうっ!!
はぁっ… あんっ!!
ズチュウッ
もみ
もみ
んあぁっ わたしも イッちゃう!!
ズプッ
さっき 中に出し ちゃったし
また中出し してもいい よね？
ズプッ
ズプッ
えぇっ？ んんっ でも…
アッ！
アンッ!!
やっぱり いけないわ
エマはもう オレの女に なったんだから
ズンッ
ズチュッ
ズチュッ
オレの精液を 子宮でしっかりと 受けとめるんだ いいな!?
ヌチュッ
は… はいっ！

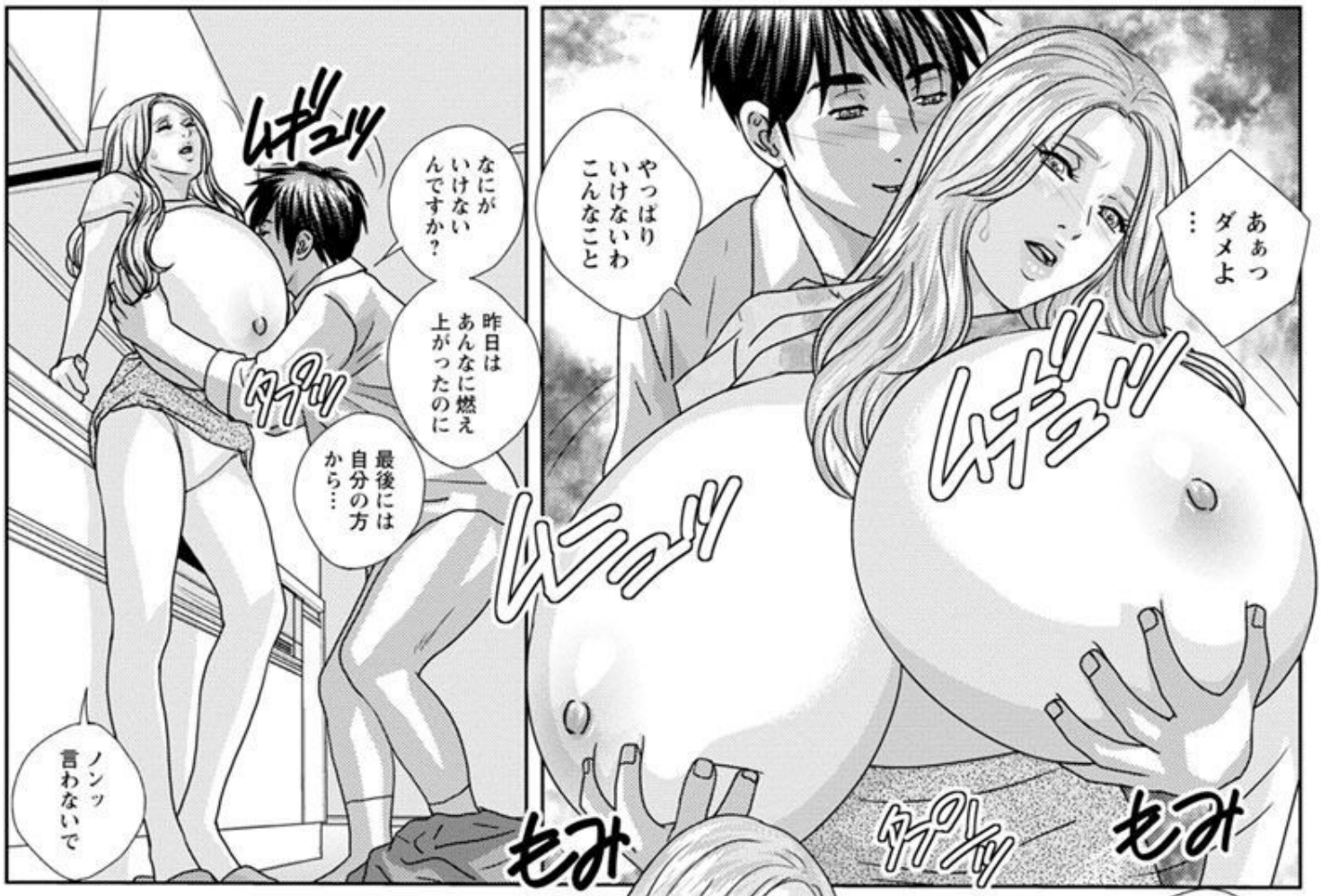
あぁぁあぁ――っ!!
イク…イクッ
イッちゃうぅっ!!
んあぁっ!!
よーしイクぞ!!
うおぉっ…出る出るっ!!

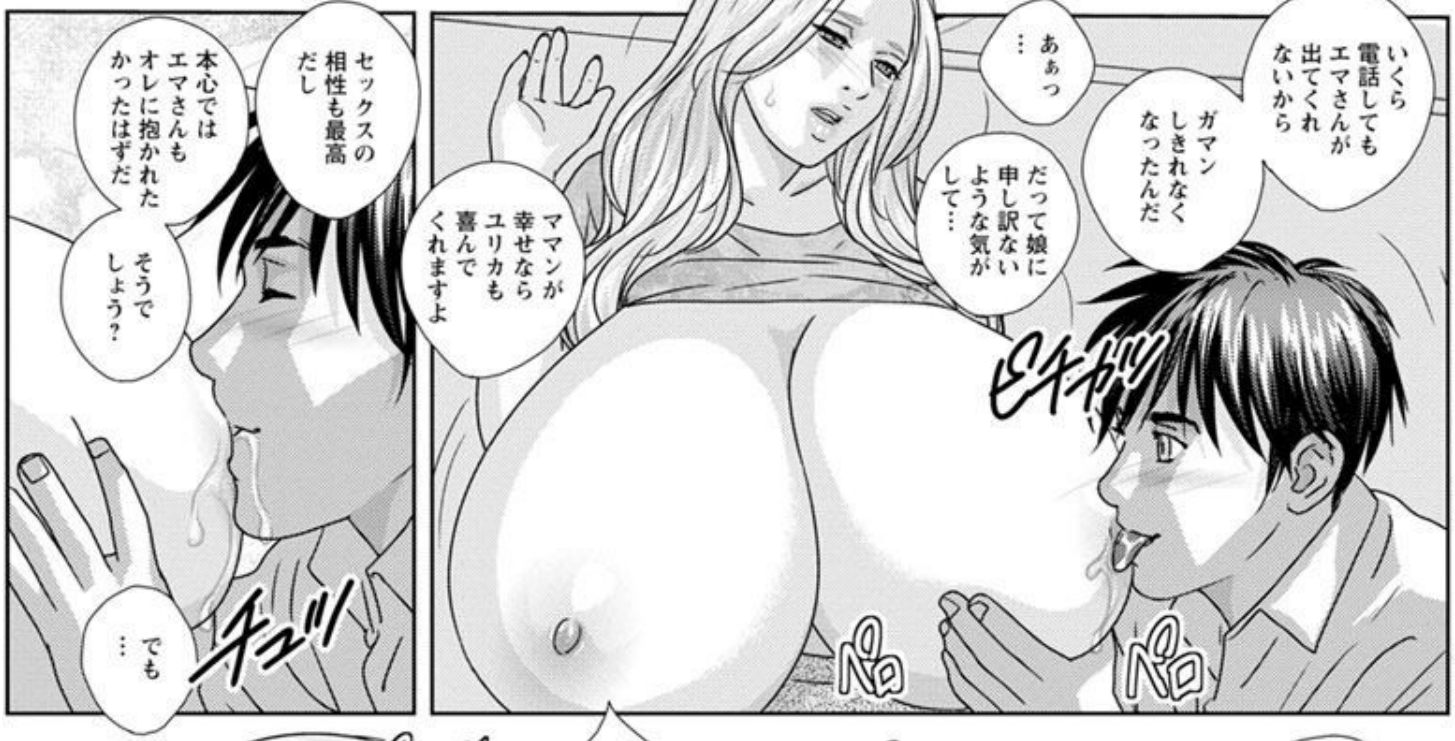
やんっ…
ヌポッ
マジ気持ちよすぎだよエマのオマ○コ♡
オーガズムを感じさせ――中出しを決めたことでオレは自信と余裕を得た
ドロ〜ッ
熱いのがあふれてきちゃう
さっきより多いみたい…
おかげで名前を呼び捨てにしても違和感がなくなったな
今日二発目だけどすごくいっぱい出た☆
ヒクッ
あぁっ…
ヒクッ
コポッ
まだまだ射精したい
ねぇエマ
パイズリしてもいい？
パイズリ？
男の要求を女に受け入れさせるのに強要する必要はない
乳房の間にペニスを挟んでしごくプレイ
よくわからないけど気持ちいいの？
やったことないの？
ええ…
女は自分を性的に満足させてくれる男には寛容だ
じゃオレがエマのおっぱいでパイズリする初めての男ってわけだ
これはいい
ウィ…わたしの初めてをあげるわ♡
ヌチュッ
すごいまだカチカチ…
ヌチャッ
あふっ…んっ
パロ
パロ
じゃオレが動くから両側から乳房を押さえて
ムギュッ
パイズリ未経験の処女超乳♡
ええわかったわ
これでいい…かしら？
ギュプッ
くうっ…
うあぁっ!!
ヌチュッ

すごいっ！
まるで
異次元の
感覚だ!!
ズリュリュ
あぁ…っ
おっぱいを
犯されてる
…
おっぱいって
赤ちゃんに
ミルクを
あげるための
ものだと
思ってたのに
ズリュリュ
エマさんの超乳で
四方八方から
包み込まれると
亀頭から根元まで
全部が気持ちいい
本当に
最高だよ
エマさんの
おっぱい♡
あっ
ズリュリュ
あんっ
大きすぎて
恥ずかしい
おっぱいなのに
こんなに喜んで
もらえるなんて
なんだか
嬉しい…
ズリュリュ
いっぱい
気持ちよく
なって♡
硬いペニスで
おっぱいを
こすられると
わたしも
感じちゃう
はぁっんっ♡
うあぁっ
乳圧が
すごいっ!!
ズリュリュ
ヤバい
もう
イキそうっ!!
ズリュリュ

きゃっ!!
ビュッ
ドピュ
ドピュッ
ビュクッ
今日三発目だっていうのに自分でも驚くくらいのすごい射精の勢いと精液の量だ
うおぉっ エマ… イクぞ!!
ビクッ
!!
ぬるっ
ビュクッ
はぁぁっ…
ドロ〜ッ
ビュッ
すご…いこんなにいっぱい
ビュクッ
ゴメンなさい顔にかかっちゃって
いえいいの
こんなに感じてくれて嬉しいわ
ホント?
まだまだし足りない
もう一回やらせて!
あんっ♡


三時間後
ピンポーン♪
おなかが鳴った…
何度もイカされ大量の精液を子宮に注ぎ込まれて…ようやく…
フフッ
そういえば何も食べてなかったわね
約束どおりこれから夕食を作るわ
エマさんはオレに対して特別な感情が芽生えたようだ
ウソ!?
いつのまにか暗くなってる
ねぇユウくん…今夜は泊まって♡
いいんですか？
わたしもうひとりでいることに耐えられそうにないの
だから…お願い
もちろん喜んで♡
今夜は精液がカラッポになるまでヤリまくるから
夕食はなにか精のつくものにしてよ
D'accord
まだまだ時間はたっぷりある
これからいったい何発ぶち込んでやることになるんだろうか……
快楽調教の甲斐あって夜が明ける頃貞淑な未亡人はオレの上にまたがって自ら積極的に腰を振りまくり中出しを懇願するようになった
to be continued....


あぁっ
ダメよ
…
やっぱり
いけないわ
こんなこと
もみ
もみ
なにが
いけない
んですか？
昨日は
あんなに燃え
上がったのに
最後には
自分の方
から…
ノンッ
言わないで


いくら
電話しても
エマさんが
出てくれ
ないから
ガマン
しきれなく
なったんだ
あぁっ
…
だって娘に
申し訳ない
ような気が
して…
ママンが
幸せなら
ユリカも
喜んで
くれますよ
セックスの
相性も最高
だし
本心では
エマさんも
オレに抱かれた
かったはずだ
そうで
しょう？
でも
…

もう
エマさんは
オレの女に
なったんだから
遠慮しないよ
はぁっ！
オレは
エマさんを
抱きたくて
たまらない
アッ！

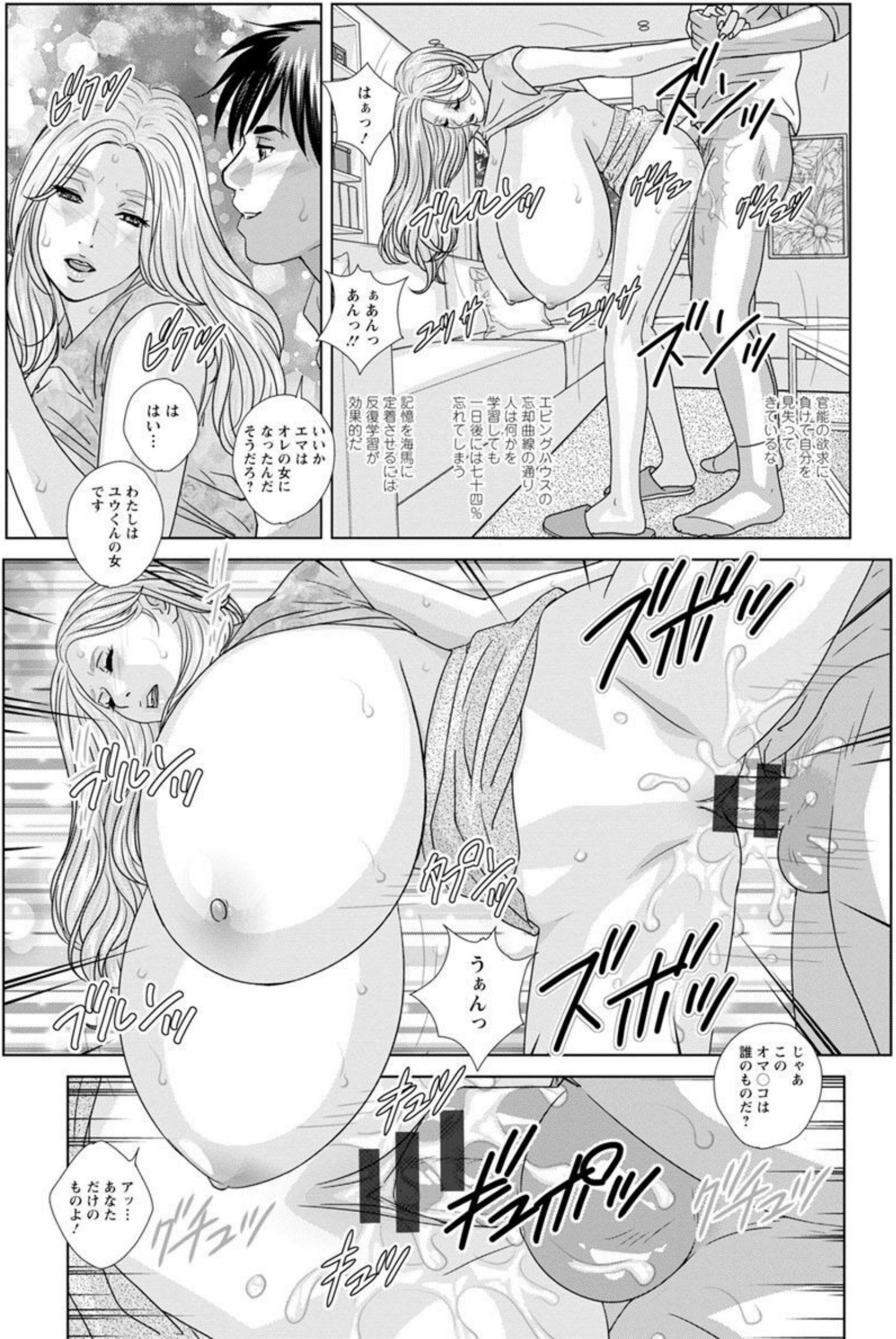
今ならまだ引き返せるわ
でもこのまま進んだら…
アッ！
わたしこわいの
アンッ!!

その証拠にチ○ポがもうビンビンだ
あっ!! いやっ…
エマさんのここも濡れてるみたいですよ
触っちゃダメ
恥ずかしいっ…

抵抗してもムダですよ
あぁっ いやぁっ
エマさんとオレは本能的に惹かれ合ってるんだから
んあぁっ… いい匂いだたまんないや
エマさんのオマ○コ舐めたい
そんなところに顔を埋めないで…

惚れ惚れするようなキレイなオマ○コだ♡
くぱぁっ
あぁっ…恥ずかしいわ拡げないで
はぁっ！あぁんっ…
いやぁっ
ダメぇっおかしくなっちゃうっ
おいしいよエマさんのオマ○コ♡
くすみのないピンク色の粘膜が愛液でキラキラ光っていっそう魅惑的だな
もうガマンできない…入れてもいいよね？
ダ…ダメよいけないわ
あぁ――っ!!
くうっ気持ちいいっ♡
あぁっ…!!奥まで来てるぅっ
あふっ…んっ
愛してる

エマさんのオマ○コキュンキュン締まって
まるで喜んでるみたいだ
どうだオマ○コ気持ちいいのか？
うぁんっあぁっ
金髪白人の超乳美女を犯している征服感と満足感がすごい
エマさんも異人種間の性交で背徳的な悦びを感じているのだろうか
本当はしたくてたまらなかったんだろう？
やぁんっ!! 恥ずかしいっ
そんなに激しくされたらイッちゃう!!
どうだエマこのペニスが欲しかったのか？
ウィ…
そうよこのペニスが欲しかったの
フフッ
普段はすました顔してるくせに意外に淫乱なんだな
いやっそんなこと言わないで


はぁっ！
ぁあんっ
あんっ!!
官能の欲求に負けて自分を見失ってきているな
エビングハウスの忘却曲線の通り人は何かを学習しても一日後には七十四％忘れてしまう
記憶を海馬に定着させるには反復学習が効果的だ
はい
はい…
いいかエマはオレの女になったんだそうだろ？
わたしはユウくんの女です
うぁんっ
じゃあこのオマ○コは誰のものだ？
アッ…あなただけのものよ！

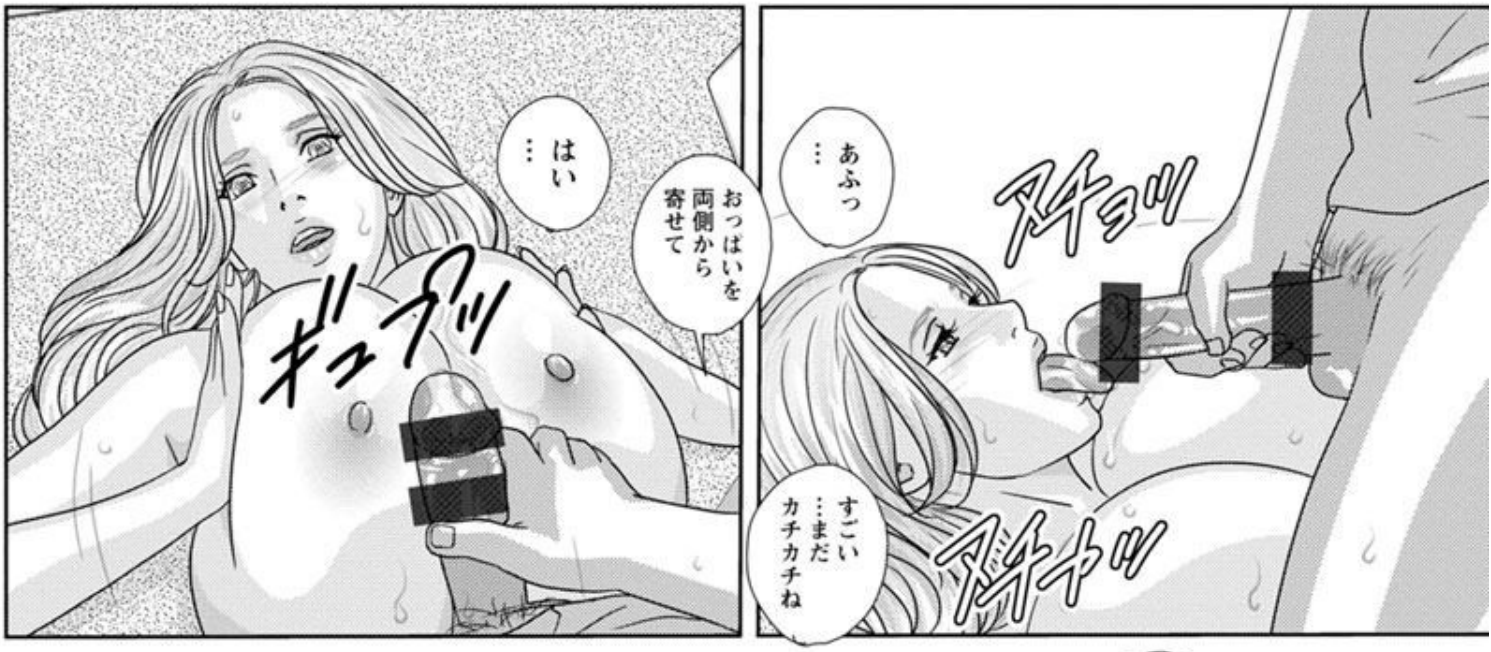
本当に極上の名器だな
どの角度で入れてもメチャクチャ気持ちいい!!
狭くて奥行きがあって全体が生き物のようにペニスの先端から根元までまんべんなく締め付けてまといついてくる
あぁっいいっもっと…
もっといっぱい突いて!!
いっぱい気持ちよくして!!

ようやく素直になってきたな
このいやらしいおっぱいは誰のものだ?

あなたのものよ…ユウくんだけの

よーしその言葉を忘れるなよ
はぁっ…あんっ!
あぁっイク…イッちゃう——っ!!

ビュクンッ
くうっ…出るっ!!
ドピュッ
ドクッ
ドクッ
ドピュッ
はぁっ!!
あっ…いいっ!
ブルッ
ブルッ
あぁ――っ!! オマ○コとけちゃうぅっ!!
ドピュッ
フフッ エマのオマ○コがオレの精液を搾り取ろうとしてキュッキュッって収縮してる
ビュクッ
ビュクッ
キュッ
キュッ
ああっ…
ふうっ…一発抜いたおかげでようやく余裕ができた
次はパイズリで楽しませてもらおうか


あふっ…
すごい…まだカチカチね
おっぱいを両側から寄せて
はい…

うあぁっすげぇっ気持ちよすぎ…!!
圧倒的な重量感ですごい乳圧だ
超乳にチ○ポがすっぽり包み込まれて全く見えない
あっ…あんっ
わたしのおっぱいそんなに気持ちいい？
あぁ最高だよエマのおっぱい♡

うわぁっヤバいっ!!
もうイキそうっ!!

うふふっ
そんな風に喜ばれると嬉しいわ♡

違う角度でもう一発
えぇっまだできちゃうの？
うおぉっ出るっ!!
あぁっん!!
あぁっすごい熱い…
胸の中でビクビクしてるわ
うぅっ!!出るうっ!!
はぁ…っん♡
くうっまたイキそうっ!!
いいわイッて♡

ふうっ…
あんっ もうっ
ズルいわ ユウくん ばっかり 気持ちよく なって…
わたしも 気持ちよく なりたい…
プルン
プルンッ
オレとの セックス なしでは 生きられない 身体になり つつある
じゃ 遠慮なく
ギシッ
だがエマさんを 完全にオレの女に するためには セックスに のめり込ませる だけじゃなく 精神的にも 惚れさせなく てはならない
グチュッ
グチュッ
アンッ!!
ゴリサ
ゴリサ
AH! COMME JE TE SENS BIEN!
(あぁっ! いいわステキ!)
ドクッ
「爆乳と超乳の 金髪美女三人を 完全攻略して オレだけの夢の ハーレムを作る」
その大いなる 野望のために 今日も徹底的に 犯しまくって やるか
ドクッ
キュッ
キュッ
ズビュッ

お願い一緒にイッて!!
ドピュッ
ビュクンッ
OUIIIIIIII ! JE VAIS VENIR !!
ビクッ
ビクンッ
うおぉっ!!
ビュクッ
ドピュッ
あぁ――っ ねぇイクわ イッちゃうっ!!
くうっ…!
ドピュッ
ビュッ
ビュルッ
あぁ…っ
トロ〜ッ
はぁっ…
大量の精液を膣内に注ぎ込まれさらに顔や胸に撒き散らされたエマさんが性の悦びに浸って身体を投げ出している
そのしどけない姿を見てオレは勝利を確信した
一緒にシャワー浴びようか
ゴメンねベトベトにしちゃって
女は自分をしっかりとイカせてくれる男の要求を拒んだりはしないものだ
きっとオレとユリカの付き合いにもあれこれ口出しはしないだろう
えぇ…でも少し休ませて
はぁっ

chapter.015

半同棲時代

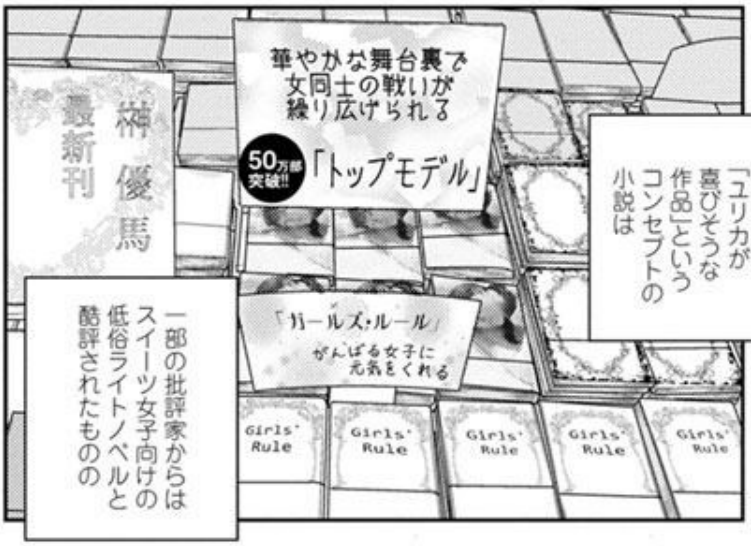
百合花と優馬

数ヵ月後――

ユリカか
エマさんか
あるいは
そのどちらもが
「あげまん」
なのか…

オレが書いた小説
「トップモデル」は
葉双社主催の
ポップコーンノベル
大賞を見事受賞した

やった
――っ!!


神優馬
最新刊
華やかな舞台裏で
女同士の戦いが
繰り広げられる
50万部突破!!
「トップモデル」
「ガールズ・ルール」
がんばる女子に元気をくれる
Girls' Rule
Girls' Rule
Girls' Rule
Girls' Rule
Girls' Rule
「ユリカが喜びそうな作品」というコンセプトの小説は
一部の批評家からはスイーツ女子向けの低俗ライトノベルと酷評されたものの

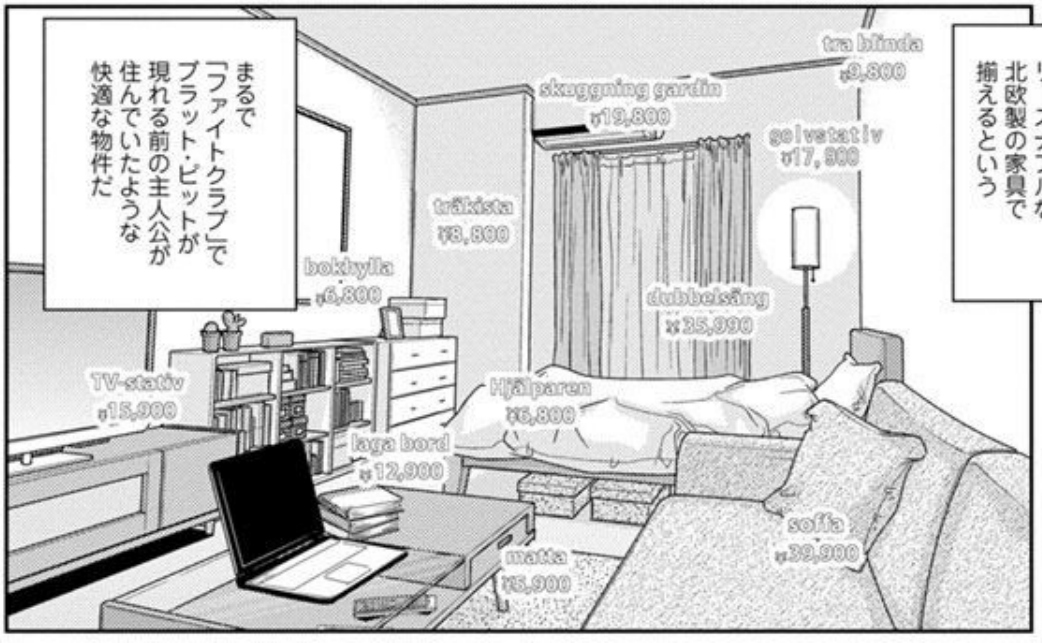
神優馬の作品は「読んでいるとまるで映像が頭に浮かぶようだ」ともっぱらの評判だ
当然だな元は映画の脚本だったわけだし

小説家とはなろうとしてなるものではなく結果的になっているもの…か
世の中とは案外そんなものなのかもしれない

あっ新刊出てる!
その後発表した続編とさらにスピンオフ作品はターゲットである若い女性の心を捉えて次々とヒットし
オレは売れっ子作家の仲間入りをすることになった

そんなこんなで
もらった賞金と原稿料・印税で懐が暖かくなったオレは実家を離れ独り暮らしを始めた

TATSUYA-BOOK
映画作家を目指すオレとしては小説家というのは方向性が違うが…
いつか来るチャンスのために常に準備は怠るまい


まるで「ファイトクラブ」でブラット・ピットが現れる前の主人公が住んでいたような快適な物件だ
tra blinda
¥2,800
skuggning gardin
¥12,800
golvstativ
¥17,800
träkista
¥3,800
bokhylla
¥6,800
dubbelsäng
¥35,990
TV-stativ
¥15,900
Hjälparen
¥6,800
laga bord
¥12,900
soffa
¥29,900
matta
¥5,900

都内駅近1LDKの賃貸マンションにインテリアはリーズナブルな北欧製の家具で揃えるという

あっ
おかえりー
ユリカには
合鍵を
渡している
彼女は
たまに訪れて
掃除や料理の
作り置きを
してくれるのだ

オレは
資本主義の
奴隷なのか…
いや俗世間を
俗に生きて
悪いという
ことはないか

ただいまー
ギィ

見てー
来月号の
ゲラ刷り
もらって
きたの
二人で
対談した
やつ？
そう

そうだ☆

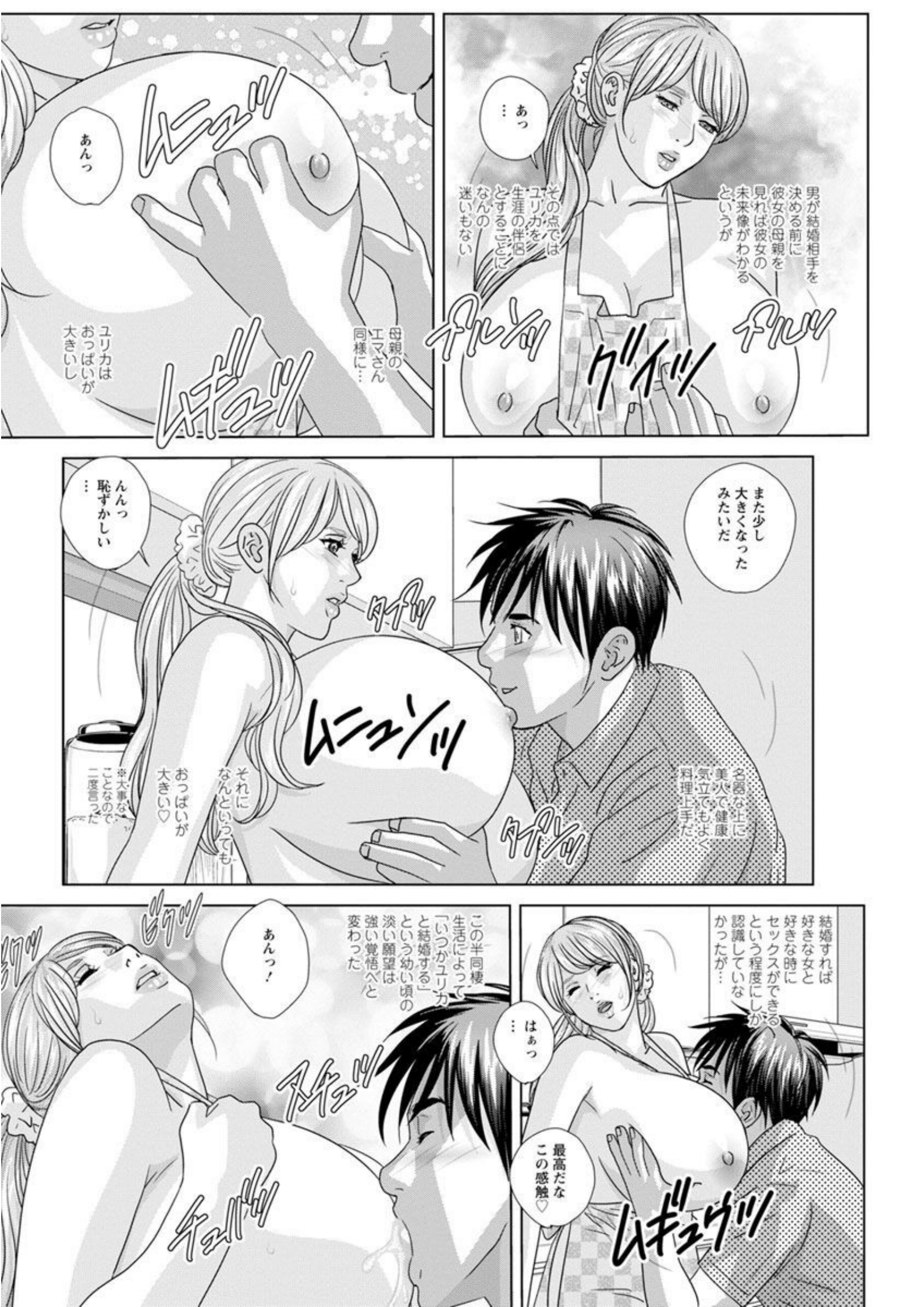
メルシー
頼まれてた
豆乳とニンジン
買ってきたよ
夕飯
もうすぐよ

「本誌専属
モデルの
ユリカが
話題の
新人作家・
榊優馬と
胸キュン
☆対談」
「実は十年来の
親交があった
二人のこれまで
とこれから」
SALON de
YURIKA
二人揃って
雑誌に載る
なんて感動
しちゃう♡
小説家／榊 優馬

うわ
オレの
写真映り
イマイチ…
っていうか
ひどくない？
えーっ？
いつも通り
だよ
ていうか
むしろ
良い感じ？
それに顔の
デカさの
違いが
ボギーと
オードリー
並みだな…
ネットには
わたしが長年
つきあってた
一般人男性を
捨てて新人作家に
乗り換えたって
記事が出てたけど
これで
ふっしょく
することが
できるわ
「実は
同一人物
でした」
ってね
社長も
許して
くれたし
本当に
よかった♡
そう思うなら
感謝の気持ちを
念願の
裸エプロンで♡
え――っ
本当に
やるの!?
恥ずかしいよ
もうっ…
ちょっと
あんまり
見ないで
ムチムチして
おいしそうな
ヒップだ♡
キャッ!!
ユウの
エッチ！
うん
やっぱ
いい感じ☆

イタズラしちゃダメっ！
これ一度見てみたかったんだ
まさに男の夢だな
男から精液を搾り取るために存在するようなすごい身体だ
こんな奥さんなら毎日飛んで帰ってくるな
そう？
ああ
一刻も早く帰って愛し合いたいからね

実を言うと今日もそのことばかり考えてた
もうユウったらそればっかり
好きなんだから当然だろ
あんっ
あふっ…んっ
夜まで待つつもりだったけど
もうガマンできない
いいよね？
もう…しかたないなー


男が結婚相手を決める前に彼女の母親を見れば彼女の未来像がわかるというが
その点ではユリカを生涯の伴侶とすることになんの迷いもない
あっ…
母親のエマさん同様に…
ユリカはおっぱいが大きいし
あんっ
また少し大きくなったみたいだ
んんっ恥ずかしい…
名器な上に美人で健康気立てもよく料理上手だ
それになんといってもおっぱいが大きい♡
※大事なことなので二度言った
結婚すれば好きな女と好きな時にセックスができるという程度にしか認識していなかったが…
はぁっ…
最高だなこの感触♡
この半同棲生活によって「いつかユリカと結婚する」という幼い頃の淡い願望は強い覚悟へと変わった
あんっ！

もっと
よく見せて
ユリカの身体
あんっ
恥ずかしい
…
男は獲物を
追いかけて
手に入れることに
満足感を覚える
その点ユリカは
男の狩猟本能を
掻き立てて
どうしても
手に入れたく
なる存在だ
「この女を自分だけの
ものにしたい」という
強い独占欲は
価値のある女性を
追いかけて手に入れ
自分の能力を証明
したいという欲求
からくる
こんな
格好して
今更恥ずかし
がってもしようが
ないだろ
だってぇ
…
それに頭の
てっぺんから
つま先まで
ユリカは
なにもかも
最高さ
肌はまるで
赤ちゃん
みたいな
キメ細やかさ
で綺麗だし…

だんだん
エッチな
気分に
なっちゃう…
はぁっん
ダメえっ
白い肌に
ピンク色の
オマ○コが
美味しそうだ
天然の
パイパン
だから
こっちも
赤ちゃん
みたいだな
to be continued...

あふっ…んっ
こうして肌の温もりを感じるのってステキね
とっても幸せな気持ちになるわ♡
オレも幸せです
うふふっ

ユウくんに抱かれてから何かが変わってしまったの
独りでいるのがとてもつらくなって…
おおっ
これまでシングルマザーとして気を張っていたのかしら
自分にこんな淫らな一面があったことも
んふぅっ…んっ
まだ少女のように恋する気持ちがあったなんて
自分でも知らなかったわ
それに…
あぁっ！すごいよエマさん
チ○ポが溶けちゃいそうだ!!
ユウくんのペニスおいしいわ
唾液があふれてきちゃう

エマさんのおっぱいでイキたい！
うふふっいいわよガマンしないでイッて♡
うぁあっ出るっ!!
キャッ!!
今のエマは女じゃなく牝って感じですごく興奮する
わたしをこんなにしたのユウくんよ
エマをもっとメロメロにしたい
だからいっぱいイカせてやる
あんっあぁっすごいっ
ダメッそんなにしちゃまた…あぁっイ…イクッ!!

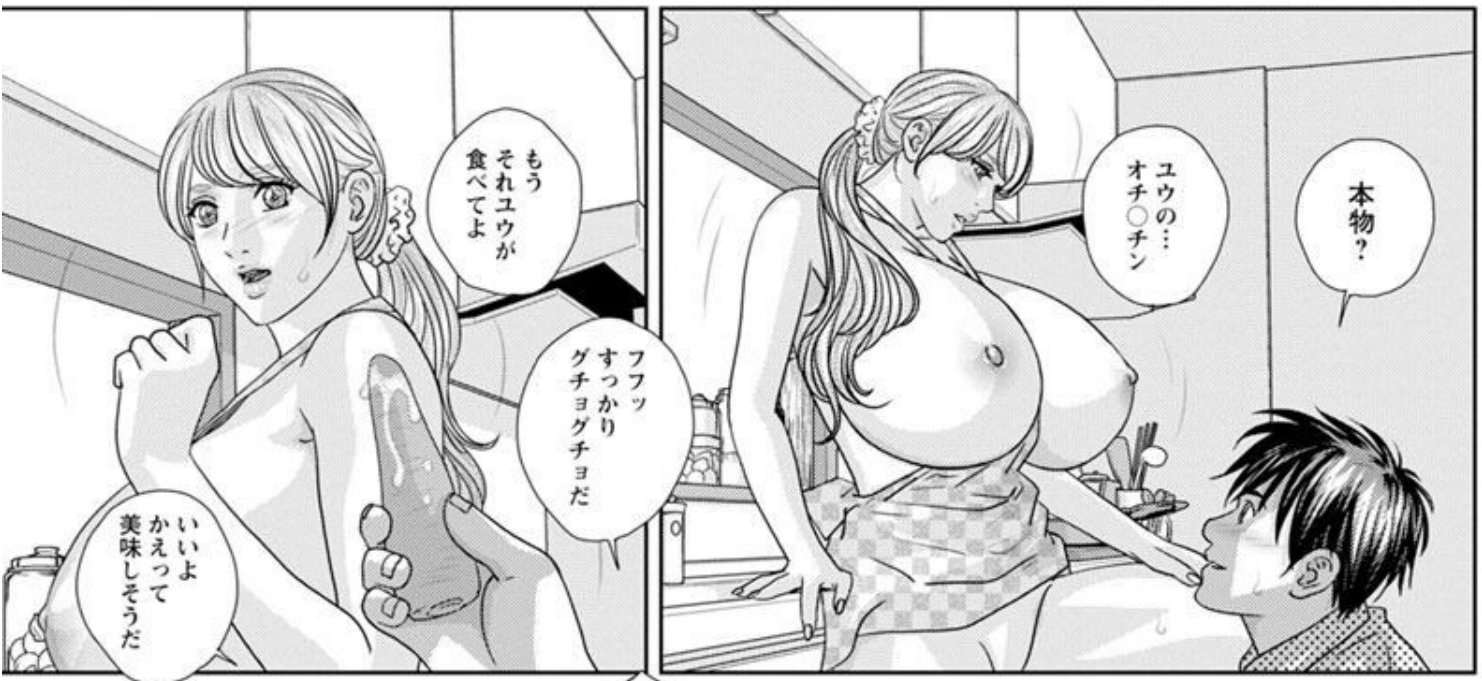
うぁんっ！
ズボッ
グチュッ
ブルンッ
グチュッ
ズボッ
うあぁっ エマの オマ○コ 最高だよ♡
ヒダが うねって 絡みついて くるっ
このいやらしい オマ○コから ユリカが産まれた なんて信じられ ないな
いやっ 娘のことは いわないで
ブルンッ
ズチュッ
そういう わりに オマ○コは 締めつけて くるよ
ユリカのこと 言われると 恥ずかしくて 感じちゃう みたい…
ズチュッ
わたし いけない 母親ね
ズッ
ジュテーム エマ♡
いいわ ユウくん もっと突いてっ 突きまくってぇっ
JE L'AIME AUSSI.
（わたしも愛してる）
グチュッ
グチュッ
グチュッ
ズンッ
あぁっ 奥がこすれて たまらないっ
はぁあんっ ダメぇっ 気持ち よすぎて おかしく なっちゃうっ!!
イッちゃうっ またイッちゃう わっ…!!
ズプッ
ズプッ

うあぁっ
出るっ!!
はぁんっ!
あぁっ…
イクっ!!
イッちゃう
――っ!!
んあぁっ…
ユウくんの
熱いのが
いっぱい
出てるぅっ!!

あ――
メチャクチャ
気持ち
よかった☆
エマとなら
一日中でも
ヤリまくって
いたいよ
ウフフッ
わたしも
最高に
よかったわ♡
子宮に直接
スペルマを浴びると
ユウくんに
征服された感じと
同時に女として
満たされた感じ
がするわ…
そんなに
喜ばれるなら
もっと中出し
してやりたいな
でもこの
ベースだと
精子の生産が
追いつかなく
なりそうだ
ノンッ
もっと
いっぱい
出して
一滴残らず
搾り取って
あげる♡
おおっ
…!!

ホントだ
すっかり
濡れ濡れ
だね♪
クイッ
ヌチャアッ
やぁん
恥ずかしい
…っ
あ――
すごく
綺麗だ
あっ
ひろげ
ないで
くぱあっ
たまんないな
こんな
美マンなら
一日中でも
舐めて
いられるな
ビクッ
はぁっ…
やぁんっ
ビクッ
ヌチュッ
ヌチュウッ
超おいしいよ
ユリカの
オマ○コ♡
ピチャ
ペロ
あん
…んっ
ピチャ
ペロッ
気持ち
いいっ
…
ビクッ
ヌチュッ
ヌチャアッ

はぁっ…
なんか イタズラ したく なってきた
そうだ これで…
キャッ!!
ちょっと そのニンジン 食べるんだけど
うん 問題ない
あんっ やぁんっ!!
そんなの 入れないで
こういうのも たまには いいじゃん
ニンジン なんかより 本物が 欲しいよぉっ


本物？
ユウの…
オチ○チン
もう
それユウが
食べてよ
フフッ
すっかり
グチョグチョだ
いいよ
かえって
美味しそうだ

あふっ
…
んぐっ
…んっ

じゃ
オレのも
舐めて
もう
しようが
ないなー

たまんねぇっ
…
ハーフの
美少女モデルが
じっとり潤った
口腔粘膜と
柔らかい唇で
オレのチ○ポを
じごきながら
裏筋に絡ませた
舌をうねらせて
熱心に奉仕してる
…
うあぁ…
ユリカの舌使い
気持ちいいよ
わたしも
フェラしてると
どんどん
いやらしい
気持ちに
なっていくわ

んふっ
…
ユウこそ
カッチカチ
じゃない

あ――
ヤバい
もう
入れたいっ
早く
ユリカと
ひとつに
なりたい
あんっ
華やかな美貌
グラマーな肉体
フェロモン…
なにもかもが
オレの性欲を
刺激してくる
バックで
入れるから
後ろ向いて
この女が
自分のもの
なんだと
確認したい
入れるぞ
はぁっ
…!!
あ――っ!!
くうっ
気持ち
いいっ♡
あぁっ…
すごい
奥まで
来てるぅっ!!
ユリカの
オマ○コ
キツキツで
最高だよ♡
あぁっ
やぁんっ!!
そんなに
奥を
グリグリ
しちゃ
ダメぇっ!!

最近一段と良くなってきたなユリカのオマ○コ
んんっ本当？
ああペニスにしっくりとなじんで
本当にオレ専用って感じだ
あんっうれしいっ
ユリカのオマ○コでいっぱい気持ちよくなって
オレ達世間公認のカップルになるわけだし
これで心置きなく中出しできるな
うんっ
社長には結婚するまで避妊するように言われてるけど
好きなだけ出していいよ
気持ちよすぎてヘンになっちゃうっ
アッ…あぁっん子宮が揺さぶられる

はぁっ
あっ…
あんっ!!
ズブッ
ズチュッ
グチュッ
出すよ
ユリカ…
あぁっ
出るっ!!
ユウの
オチ○チン
中で大きく
なってる…
ギュポッ

うぁんっ
あぁっ
イクッ!
うぁあっ
…!!
ビクンッ
ドピュッ

まだ出るっ!!
ビュッ
ビュルル
あぁっ…んっ♡

はいサラダ
まずは食物繊維から食べてね
わぁさすが彩がいいね
うん美味しい♪
もぐもぐ

このラベに使われたニンジンがさっきまでユリカのアソコに入っていたと思うと一段と味わい深いね
そういうこと言わないでっ!!
いつもは感想求めるくせに
そうだ!
ユリカの料理本のための新しいレシピ思いついた☆
ユリカの母乳入りシチューとか
愛液入りの…
やめてヘンタイッ!!

CHAPTER.016

セックスと嘘とビデオムービー

ユリカが通い妻の真似事をするようになって数ヶ月――

男に狩猟本能があるように女には巣作りの本能がある

いつのまにか洗面所はユリカのコスメやメイク道具に占領された

そして今やクローゼットの三分の二も実効支配されユリカ軍の統治下にある

…とはいえ元からユリカとの同棲を意識した独り暮らしだったので彼女が巣作りすることに不満はない

二一三〇現在敵司令官は高熱兵器で電力を大量に消費する作戦を実行中だ

風呂上りにあの亜麻色の長い髪を乾かすのに小一時間はかかる

そういえば初めての時もずいぶん待たされたっけ…

オレは愛情とセックスによってユリカを支配し服従させていると思っていたが実際はオレの方が彼女の魅力の前に膝を屈しているのかもしれない…

こちらはそれを観賞して愛でるだけでいいが

当の本人はその美しさの維持に手間と金をかけているのだ

ユリカが健康と美容に人一倍気を使っていることは以前から知っていたがこれほどとは

ツヤツヤの髪
ツルツルの肌
スベスベの踵

美しさを売りにする職業だけあって

ユリカは頭のてっぺんから爪先まで手入れが行き届いて一分の隙もなく完璧に美しい

ビュルル

というわけでセットに時間のかかるヘアに勢いで精液を飛ばしたりするとけっこうな確率でキレられる

キャッ！

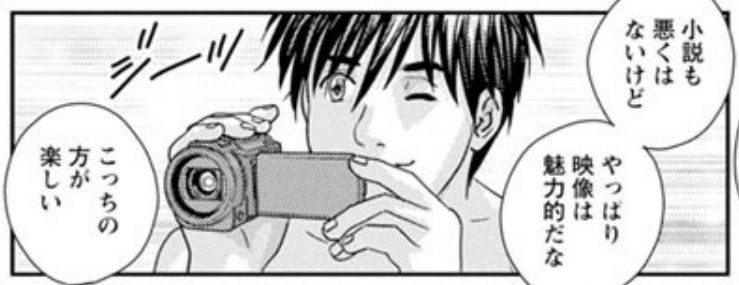
も――っ顔はいいけど髪にはかけないでっ!!

顔はいいのか…

いかん…
久々の逢瀬だっていうのに…
眠くなってきた
このところ二人とも学校と仕事が忙しくお互いにすれ違いがちだ
こうして会える時にはベッドの上で濃密な時間を楽しみたいわけだが…
ぐーっ
ん…
あれ
あっ起きた？
ユウのオチ○チンピョコピュコ動いてかわいかったから
ユリカは年柄年中スマホを手放さない
わぁっ!!
いつのまに下半身丸出しに!?
脱がせて写真撮っちゃった☆
見たもの聞いたもの食べたもの
まるでそれが義務であるかのように手当たり次第記録している
生殖機能を維持するためのプログラムらしいよ
レム睡眠中は自律神経の働きが活発になって勃起するんだ
ふ――ん
今何時？
もうすぐ一〇時
三〇分くらいウトウトしてたのか…
もちろん仕事でSNSを更新する必要があるのだろうが
そうだ考えてみれば
ユリカばっかり撮るのは不公平だ
っていうかクラウドがハッキングされて画像が流出しても知らないぞ
やだくすぐったい
そんなことにならないもん
オレも撮りたい
えっ!?
今日はハメ撮りをしよう！

そんなの見たらトラウマになるわ
これならネットに流出することもないから安心だ
ユウ…
オレ達の愛の記録を将来生まれる子供に見せてやろうかな
なんか生き生きしてるわね

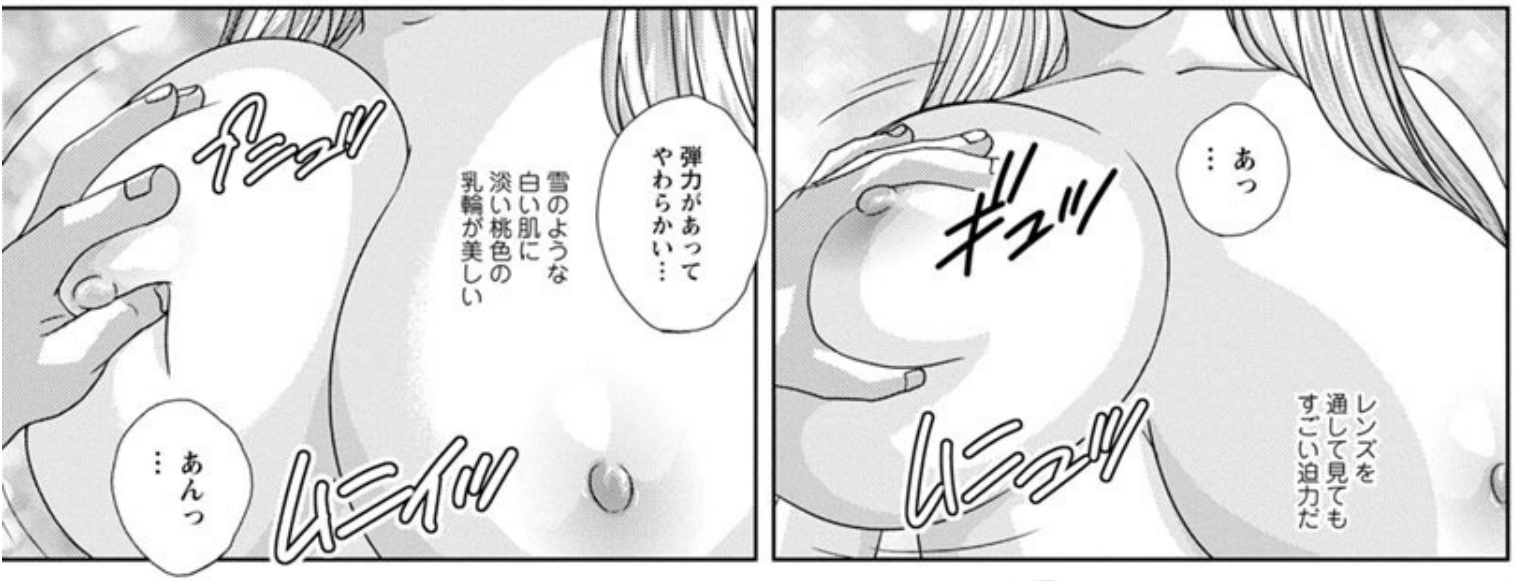
もう撮ってるの？
うん
高校時代に自主映画を撮ったビデオカメラがまた役に立つとはね


小説も悪くはないけど
やっぱり映像は魅力的だな
こっちの方が楽しい

じゃ始めるよ
んっ…

なんか動画って写真と違ってキンチョーしちゃう
シャッター音がないからどうすればいいのかわからないわ
ユリカは被写体として完璧だから自然な感じで大丈夫だよ
そうだな…男を誘惑する女ってコンセプトはどう？

小悪魔的な？
こういう感じかな？
お――っいいねその視線ゾクゾクする


あっ…
レンズを通して見てもすごい迫力だ
弾力があってやわらかい…
雪のような白い肌に淡い桃色の乳輪が美しい
あんっ…

うくん…もどかしいな
どうかした？
ユリカの爆乳を揉むのに片手じゃ物足りない
そう？
慣れが必要なのかな
とりあえずここはフィックスで
わたしもその方が落ち着くわ

あ――たまんないやこの感触♡
あんっ…
最高だよユリカのおっぱい♡
ウフフッユウのものなんだから好きなだけ触っていいよ
それにいい匂い
フフッユウって本当におっぱいが好きね

また少し大きくなったんじゃない？
ユウがいっぱいさわるから…
柔らかいのに弾力がある
ユリカは、若いだけあって肌のハリが違うな
いかにも水を弾きそうだ

なに考えてるの？
えっ!?
一瞬気持ちが別の場所に行ったみたい

キメ細やかで艶があるのはユリカも同じだがエマさんの乳房は掌に吸い付くような柔らさだ
どちらも魅力的であることに違いはないが
あんんっ…
エマさんの超乳でするパイズリはとろける蜜のように甘美でなめらかで…

いや…早くパイズリしたいんだけど
まずは下半身への愛撫が先かなって
そういう順番って考えるものなの？
ある程度の構成はね本能に従うこともあるけど
冒頭で観客を引き付けて中盤には緩急をつけてクライマックスで最大に盛り上げる…みたいな
やだーウケる
あぶないあぶない
女の勘は鋭いから他のことを考えるとすぐにバレるな

ねぇ
ガマン
しないで
なんでも
ユウの
好きに
していい
んだよ
そう？
いいわ
今日の
コンセプトは
「誘惑する女」
だから
わたしが
積極的に
してあげる
ゲイッツ
わぁ
すごく
元気に
なってる☆
ユリカを
愛してるから
チ○ポが
大きくなって
るんだよ
最初はお口で
気持ちよく
してあげるね
ズイカアツ
あんっ…
たくましいわ
オチ○チン
なめるの
好き♡
ヒイカアツ
ペロ
ペロ
ユリカの
フェラ顔
いやらしくて
たまんないよ
んふっ
…♡
ズイィルツ
普段のツンと
すました姿
からは想像
できないな
ウフフッ
まだ
イッちゃ
ダメよ
パイズリで
イカせるん
だから
チュポツ
あ――
ヤバい
気持ちいいっ
ヂュポツ

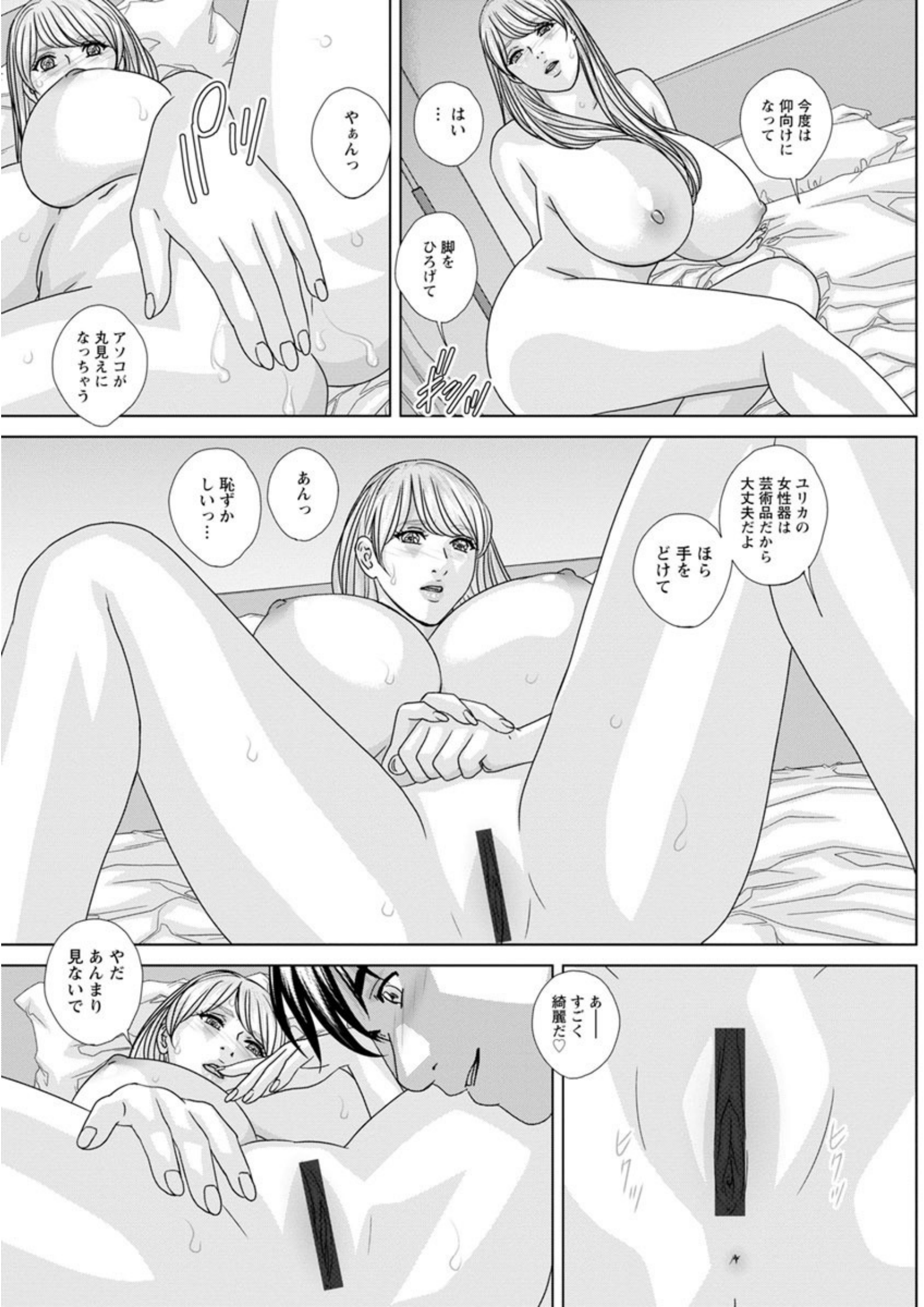
フフッ
先っぽが
ヌルヌル
してる
あんっ
乳首
感じちゃう
うあぁっ
すごいっ
乳房に
抱きしめ
られてる!!
すっぽり
包まれて
ペニス全体が
気持ちいいっ
すごく
熱いわ…
おっぱいが
ヤケドしそう
パイズリ
しながら
なめて
あげるね♡
おぉっ…
それ
ヤバいっ!!
アンッ
ビクビク
してる
もう
イキそう
なの?

キャッ!!
うおぉっ
出るっ!!
あんっ
すご…いっ
いっぱい
出てる♡

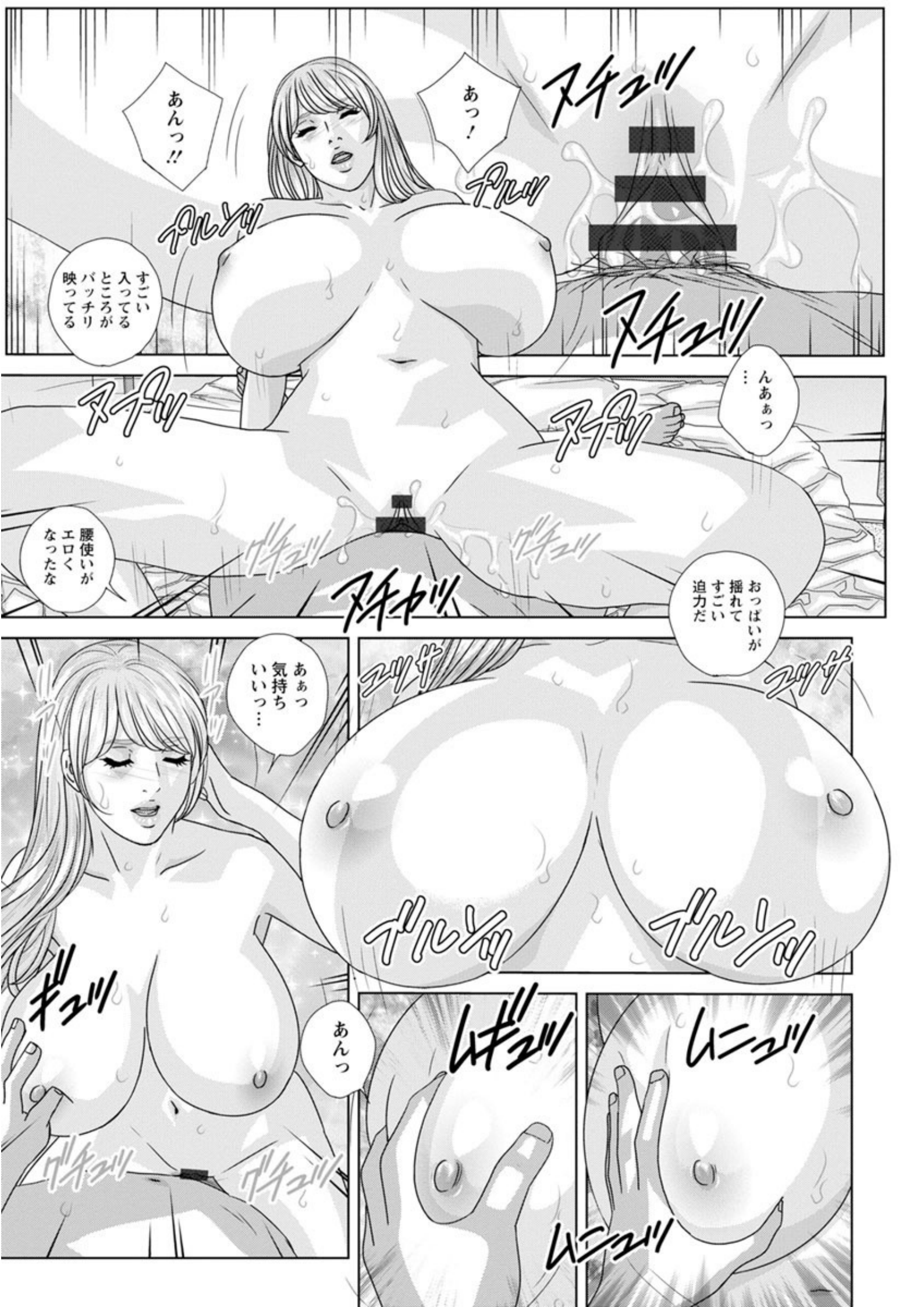
ごめん
射精が
止まらなくて
いいの
気に
しないで
ユウが喜んで
くれると
わたしも幸せな
気持ちになるの
本当?
顔や髪を
汚されるのを
イヤなのかと
思ってた
天然の
美肌パックだと
思ってるから
イヤじゃないわ
朝でかける
前とか
直す時間が
ない時は
困るけど
そっか
じゃ余裕の
ある時なら
精液まみれに
してもいいんだ
だって
その方が
興奮するん
でしょ?
ユリカの
綺麗な顔を
汚すと
興奮する
それに
達成感とか
征服感も
あるな

じゃあ
次は子宮で
オレの精子を
受け止めて
もらおうかな
その前に
オレも
ユリカのを
舐めてやる
ちょっと
四つん這いに
なってみて

処女のうちからセックス調教した甲斐あってユリカはすっかりオレの言いなりだ
こう？
うんバッチリ☆
ハーフモデルの爆乳美少女を自分だけの性奴隷に仕立て上げるのは最高の気分だな
あんっ
グリィッ
恥ずかしい…グラビアでもこんなエッチなポーズしたことないのに
あんまり見ないで
ユリカはおっぱいだけでなくお尻もエロくて最高だな♡
じゃあ見てないで触ることにするか
フフッすっかり濡れ濡れだ
パイズリでおっぱいを刺激されて感じたみたいだな
あっやぁんっ!!
to be continued....


今度は仰向けになって
はい…
脚をひろげて
やぁんっ
アソコが丸見えになっちゃう
ユリカの女性器は芸術品だから大丈夫だよ
ほら手をどけて
あんっ
恥ずかしいっ…
あ――すごく綺麗だ♡
やだあんまり見ないで

ピンクの美マン舐めたい
はぁんっ
あっやんっ！
うんすごく美味しい♡
たまんないな
んんっ…
相変わらず敏感だな
もうこんなにグチュグチュになってるぞ
だってユウがいじるから…
もう我慢できない
入れていい？
うん…いいよわたしも欲しい♡
あ待って
最初はユリカが上になって
わかった
あぁっ入ってくるう…っ!!
んあぁっ…


あっ！
あんっ!!
すごい入ってるところがバッチリ映ってる
んあぁっ…
腰使いがエロくなったな
おっぱいが揺れてすごい迫力だ
あぁっ気持ちいいっ…
あんっ

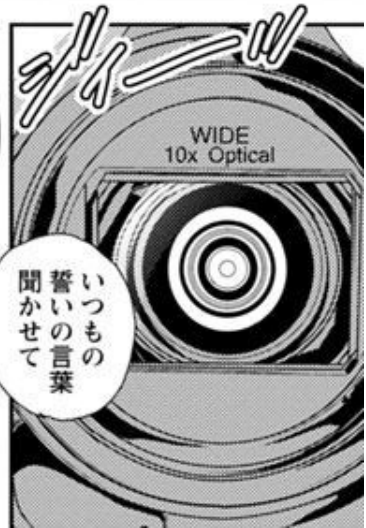
腰のくびれによって女性の生殖機能が良好に働いているかどうか
丈夫な赤ちゃんを産んでくれるかどうかを無意識に判断しているからだ

あんっ!!
キュッとくびれた腰と張り出した骨盤が男の本能を刺激してくる
はぁんっ

ユリカこっち見て
あんんっ…
すごくエロい顔してる

やぁんっそんなこと言わないで
魅力的だって褒め言葉だよ
美人な上に爆乳で名器でホントにユリカはなにもかも最高だな♡

やだ恥ずかしいよぉっ…
いいだろちゃんとカメラの前で言えよ


WIDE
10x Optical
いつもの誓いの言葉聞かせて

ほら早く言って
んんっ…もうっ
アッ!
ユリカのおっぱいもオマ○コも
アンッ!!
ユウだけのものよ♡
はぁっ…!!
だからなんでもユウの好きにしていいの…
よーしいい子だ
あ――っそろそろイキそうだ
オレの精子欲しいか?
セックスしながらタイムスリップしてるような感覚だ
あんっ!!
欲しいっ…
ユウの濃い精子ちょうだい
ユリカの中に…いっぱい出して♡
エマさんの中にユリカの成熟した姿を見て
ユリカの中に若い頃のエマさんの面影を見出している
母と娘の間を行き来して過去と未来を体験できる
なんとも贅沢な体験だ
じゃあご褒美にたっぷり中出ししてやる

あっ！
あぁっ
イク…!!
イク
イッちゃう
ぅ――っ!!
うおぉっ
出るっ!!
あ――っ
すごいっ！
熱いのが
ドクドク
出てるぅっ!!
気持ち
よすぎて
射精が
とまらないよ!!
くうっ
…！

うあぁっ
まだ出るっ!!
キャッ☆
ビュッ!!
ビュルルッ!!
やっぱり
綺麗な
顔にも
かけたいっ
あぁっんっ
大量の精液が
半開きになった
オマ○コから
トロトロと
流れ出てきてる
トロ～～ッ
すげぇ
…
最高に
エロい
映像だな
REC
00:55:06
-01h 30m
はぁっ
はぁっ
…
どう
ユリカ
気持ち
よかった?
うん…
すごく
気持ち
よかった♡
オレも
ハメ撮り
セックスが
出来て
大満足だ
ホント?
初めて
にしては
いい画が
撮れたしね
次は
カメラを
増やして
アングルも
凝ってみたいな
やだぁ

日仏ハーフの爆乳グラビアアイドル・ユリカは一部のマニアックな層に受け評判は上々

熱愛が発覚する前に男性向けの写真集や映像作品で金を回収しておこうという算段だ

ところで二人の対談記事はユリカの事務所の判断により結局当たり障りのない内容に変更された

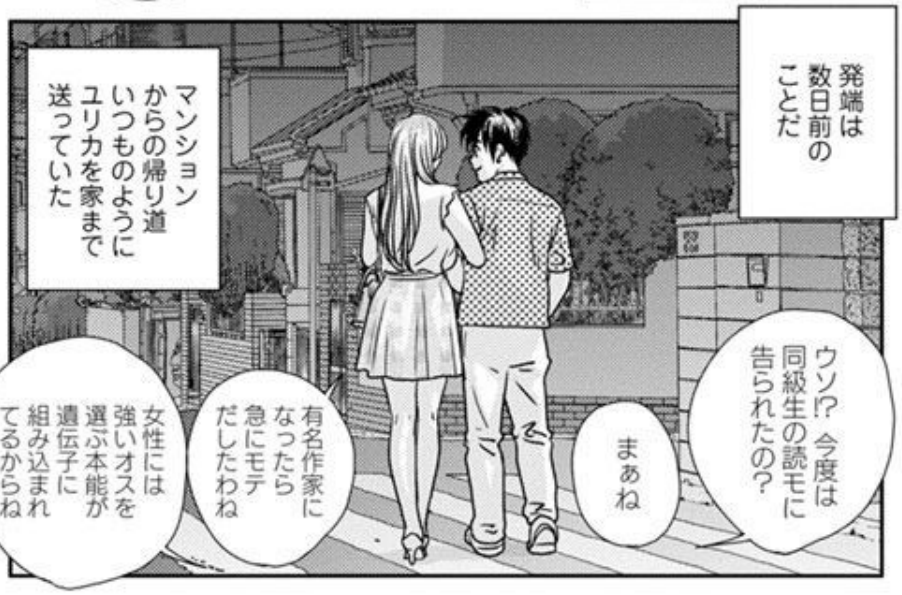
人気アイドルがオレだけのものだという状況は自尊心をくすぐられる

chapter:017

MISSION: INTERCOURSE オッパイ大作戦

ヒョコッ
ハンガー
たりる？
オレは
今日から
この美咲家に
下宿する
ことになった
あぁ
全然
大丈夫
小金持ちになって
あらゆる物欲を
満たしたら
その反動で
ミニマリストに
なったから
「フランス人は
10着しか服を
持たない」を
実践してる
え——
わたし半分
フランス人
だけど
ぜったい
ムリ

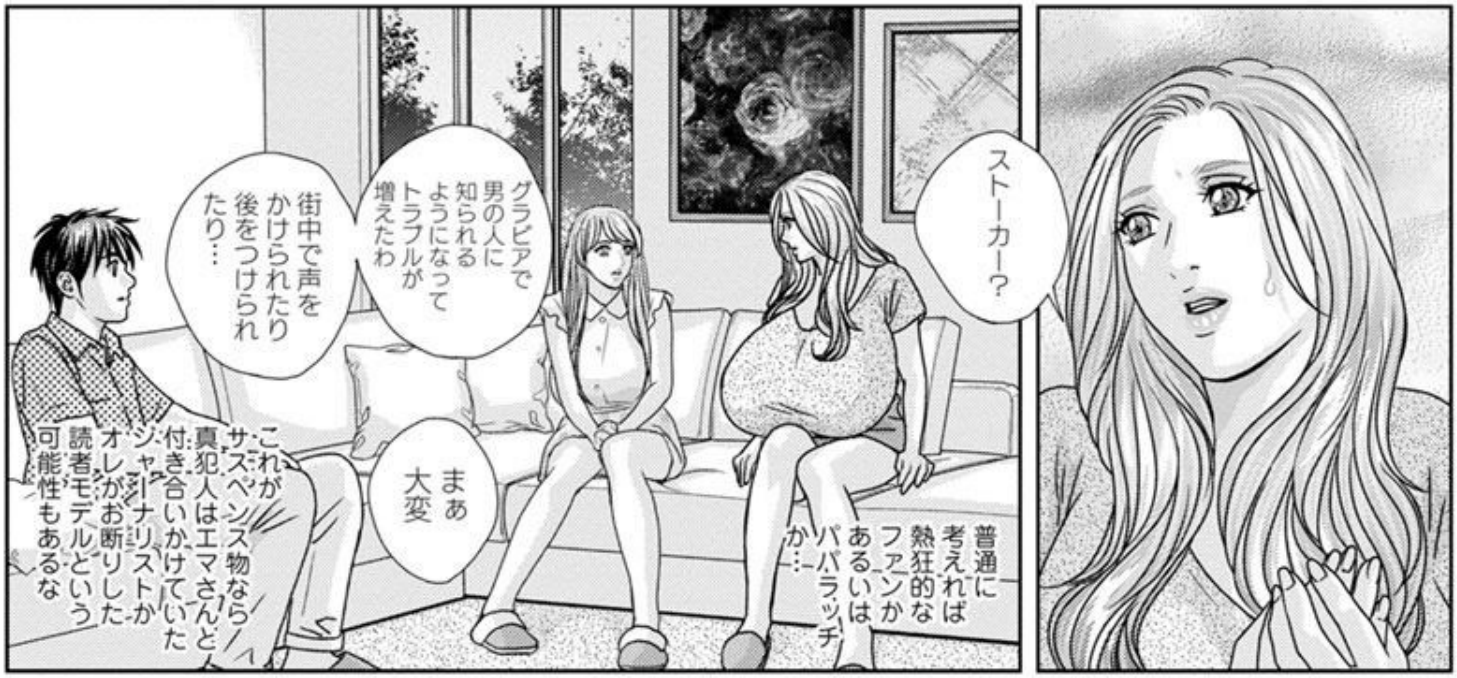
ママンが
お茶に
しましょう
って
わかった
すぐ行く


発端は
数日前の
ことだ
ウソ!? 今度は
同級生の読モに
告られたの？
まぁね
マンション
からの帰り道
いつものように
ユリカを家まで
送っていた
有名作家に
なったら
急にモテ
だしたわね
女性には
強いオスを
選ぶ本能が
遺伝子に
組み込まれ
てるからね

現代では
経済力とか
社会的地位の
高い男性が
好まれる
で
どう
したの？
もちろん
丁重に
お断り
したよ
オレには
一流モデル
兼グラビア
アイドルの
婚約者がいる
わけだし

その子が
巨乳だったら
デートくらいは
したかも
しれないが
残念ながら
貧乳だったん
だよな——

……
ん？
どうか
した？


ストーカー？
普通に考えれば熱狂的なファンかあるいはパパラッチか…
まぁ大変
グラビアで男の人に知られるようになってトラブルが増えたわ
街中で声をかけられたり後をつけられたり…
これがサスペンス物なら真犯人はエマさんと付き合いかけていたジャーナリストかオレがお断りした読者モデルという可能性もあるな

そういえば最近 近所でも不審者がいるって噂になってたわ
この家には女しかいないしこわいわね
近所に住む変質者の線もあるのか…
一見親切な宅配業者や警官はどうだろう
実体はこの母娘の歪んだ崇拝者だったとか
わたしがいない時にママンをひとりにするのも心苦しかったのよね
あるいは誰かの友人の中に逆恨みしている人物がいるのか…
そうだわ!!

ユウにこの家に住んでもらいましょうよ
えっ!?
部屋もいっぱい余ってるんだし
そうすればわたしも行ったり来たりしないですむわ

でもそんな
それは意外な展開だ
いいのかなまだ結婚前なのに

Bonne idee!
(いい考えね!)
フランスでは事実婚が一般的だし
ユウくんに住んでもらえるとわたしも嬉しいわ
男手があるとなにかと助かるもの

こうしてオレは女の園の住人となった

ストーカーよりも凶暴な野獣を自ら招き入れるとは皮肉な話だ

家中に二人の美女のフェロモンが充満していてオレはさっきからずっとムラムラしっぱなしだ

一刻も早くヤリたくて仕方ない

この爆乳母娘と二十四時間いつでもどこでもヤリまくりのハーレムを作ることがオレの目標だ

しかし現段階では互いに干渉し合って3Pに持ち込むのは困難

まずは片方にバレないようにもう片方とセックスしたい

この状況はまるで厳しい監視の目をすり抜ける脱獄物かお宝強奪物みたいだな

失敗したら全てを失いかねないが…

よしたった今からオレは命がけの任務を遂行するエージェントだ

穏やかな午後のひと時…

ユリカはリビングでエクササイズ

エマさんはキッチンで夕食の準備

どちらから攻略しようか

ここはまず年上に敬意を表するとしようか

コーヒーごちそうさまでした

あカップはそこに置いておいて

洗い物くらい自分でやりますよ

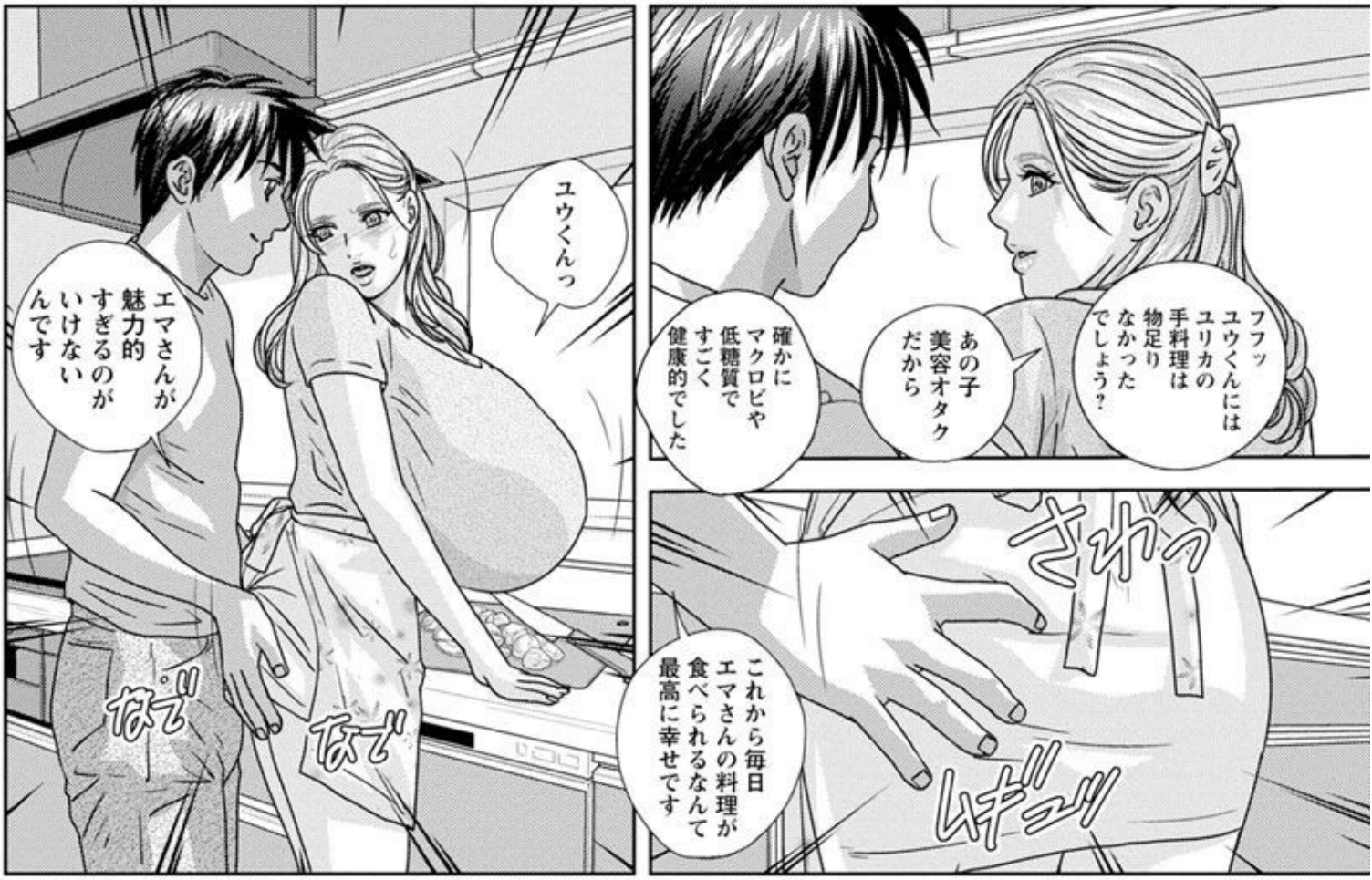
わぁ今から夕食が楽しみだ

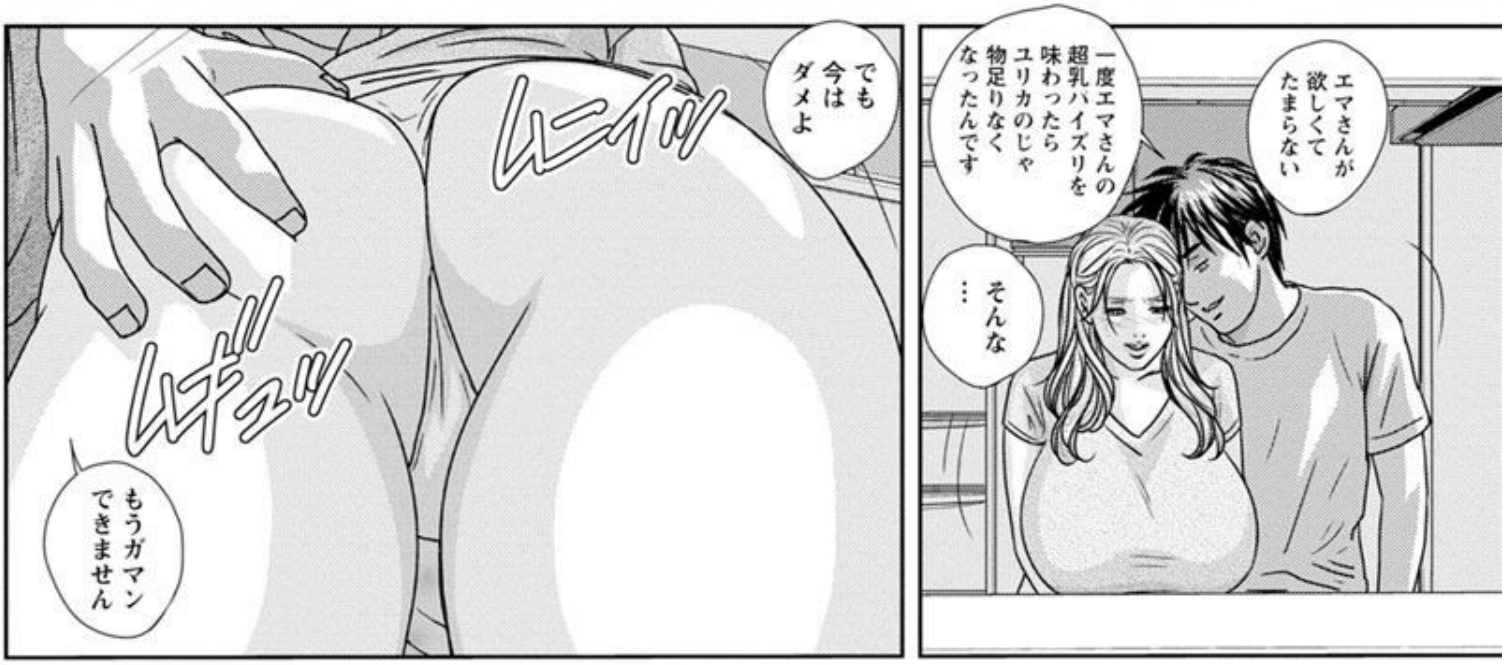
今日のディナーはハンバーグのビーフシチュー添えよ

ユウくん好きでしょ？

はい

エマさんの手料理ならなんでも好きです


フフッ
ユウくんには
ユリカの
手料理は
物足り
なかった
でしょう?
あの子
美容オタク
だから
確かに
マクロビや
低糖質で
すごく
健康的でした
さわっ
これから毎日
エマさんの料理が
食べられるなんて
最高に幸せです
いぎゅ
ユウくんっ
エマさんが
魅力的
すぎるのが
いけない
んです
なで
なで


エマさんが
欲しくて
たまらない
一度エマさんの
超乳パイズリを
味わったら
ユリカのじゃ
物足りなく
なったんです
そんな
…
でも
今は
ダメよ
いにゅ
いぎゅ
もうガマン
できません

ノンッ
ユリカに
バレちゃう
…
大丈夫ですよ
今はダンス
エクササイズの
最中だから
んんっ
…

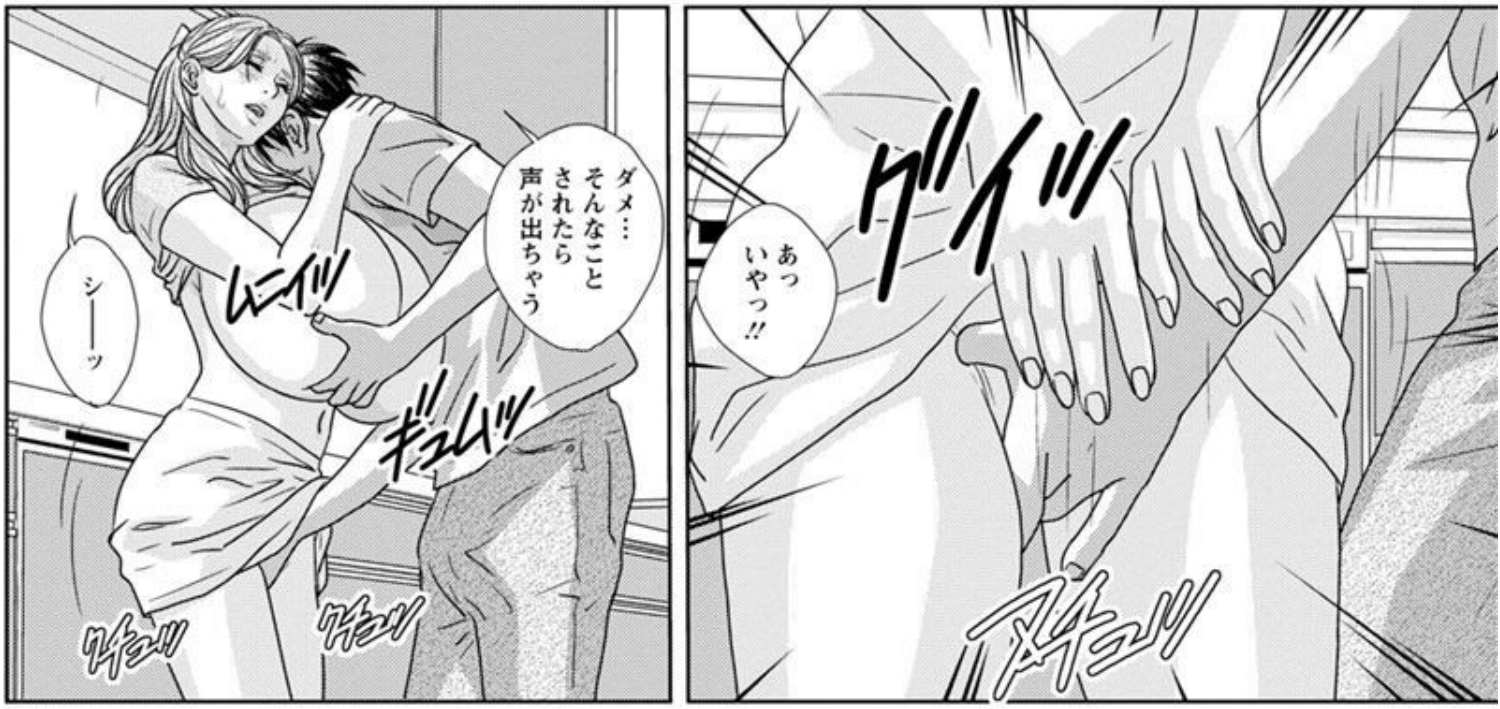
あぅんっ
ムニイッ
ムギュッ
グニュッ
んんっ…

声を出しちゃダメだよ
ダメよやめて…
ムギュッ
ムギュッ
エマさんの超乳は圧倒的なセックスアピールと溢れんばかりの母性を象徴している
タプッ
タプンッ

エマさんだって一緒に住んだらもっと頻繁に愛し合えるようになるって喜んでくれたじゃないですか
はぁっ…
今は許して…ねぇお願い
ピチャッ
ムニュッ
ペロ
ペロ

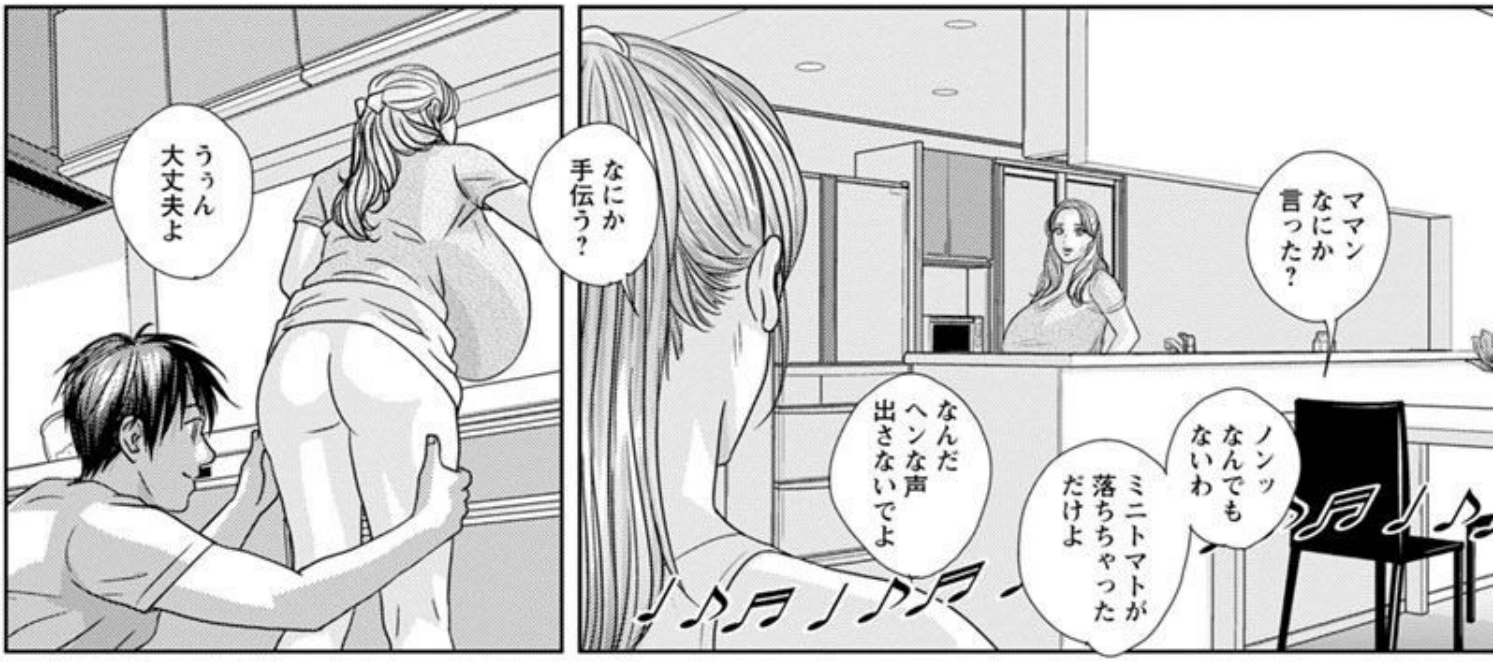
この超乳を一度味わったらなまじの爆乳じゃ満足できない
ペロ
アチャッ
アチャッ
ペロ

あんっ…!!
今日からは毎朝毎晩この超乳が恋しい時にはいつでもむしゃぶりついて吸ったり揉んだりパイズリできるかと思うと最高に幸せだ
二人きりの時ならなんでもしていいから
ズチュウッ
チュバッ
チュバッ


シーーッ
ダメ…
そんなこと
されたら
声が出ちゃう
あっ
いやっ!!

んんっ
…
本当は
ヤラれたい
くせに
ちがうわ
そんなん
じゃ…

……!!
ほら
こんなに
指が濡れて
ふやけそうだ
ノンッ
見せないで
……
んんう
っ……!
はぁっ
……
あぁっ
……
エマの
オマ○コ
舐めたい
はぁんっ!!
アッ
あん


ママ
なにか
言った？
ノンッ
なんでも
ないわ
ミニトマトが
落ちちゃった
だけよ
なんだ
ヘンな声
出さないでよ
なにか
手伝う？
うぅん
大丈夫よ

あっ
いやぁっ
…
滴る愛液は
無味無臭で
クンニしやすく
感度も清潔感も
素晴らしい…

母娘そろって
天然パイパン
薄ピンクの
美マンだ♡
陰唇も肥大
しておらず
とても
経産婦とは
思えない

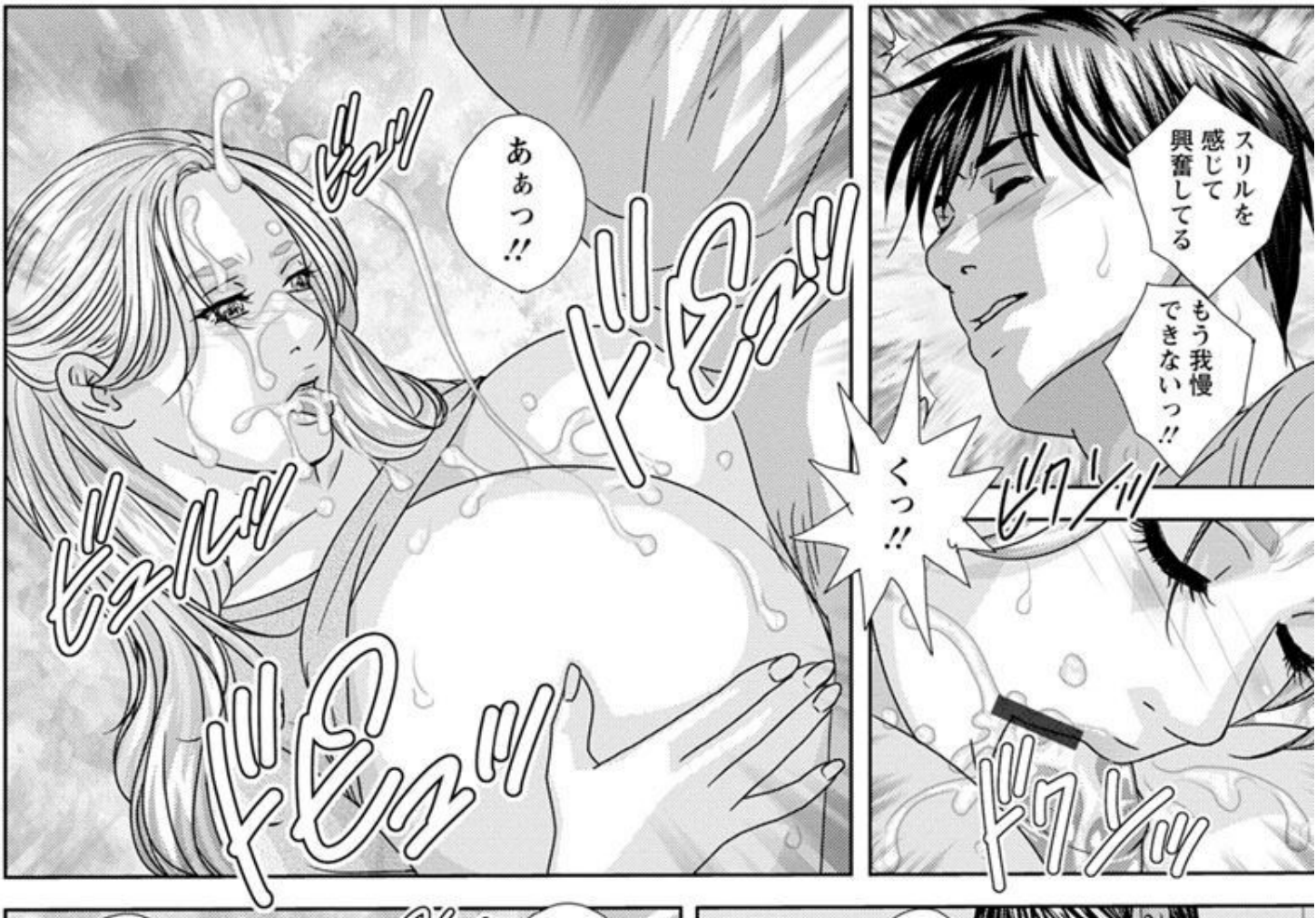
はぁっ
…
あぁっ
…
元々エマは
Mっ気が
あるようで
金髪美女の
超乳未亡人は
今やオレ専用の
性奴隷だ

んくぅっ
んあぁっ
美味しい
…
これまで
亡き夫だけが
入ることが
できた聖域…
秘密の花園に
我が物顔で入り
やりたい放題に
蹂躙できるのは
オレだけの特権だ

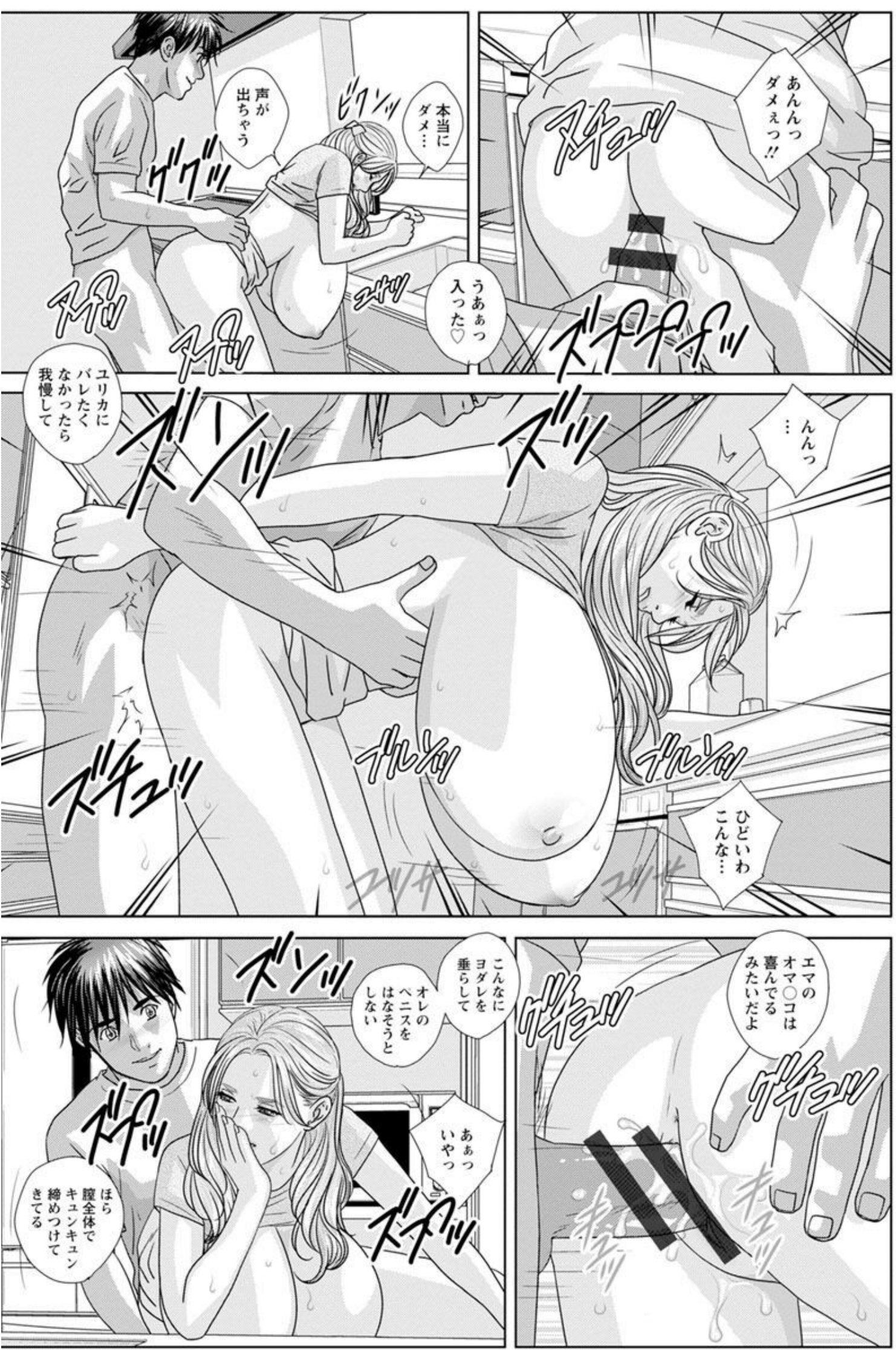
お願いユウくん
もう許して…
仕方ないな
じゃオレのも舐めて
ここで!?
グイッ
ほら早くぅ
ヌポッ
あぁっ…
んふぅっ
ほらもっと深く咥えて
グポッ
グポッ
んっ…
グポッ
あふっ…んっ
おぉっいいぞ続けて
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ
んんっ
あれっユウいたの？部屋かと思ってた
ああちょっと飲み物を取りに
ママンは？

ママンは？
ああ ちょっと口… じゃなくて 手が離せない ことがある みたいなんだ
今はオレが キッチンで 立ってる
なに それ？
ブルンッ
ブルンッ
オレに かまわず エクササイズ 続けて
うん
ズチュッ
グポッ
グポッ
ブルルンッ
…もう 生きた 心地が しないわ
ズチュウッ
チュポッ
エマさん 次は おっぱいで
えぇっ？
アチュッ
アチュッ
ギュプッ
アチュルッ
あぁっ すごく かたい…
ズッ
ズリュッ
ズリュッ
to be continued....

んあぁっ…！
ズッ
ヌチュッ
ズプッ
ズチュルッ
くうっ すごい 乳圧…
あぁっ ん…
ズリュッ
ズプッ
ズリュッ
ユウくんの ペニス… わたしの 胸の中で 大きく なってる♡
もう イキそう なの？
ピチャ
ズッ
ペロ
ペロッ
ズチュッ



スリルを感じて興奮してる
もう我慢できないっ!!
くっ!!
ドクンッ
ドクンッ
あぁっ!!
ビュッ
ドビュッ
ビュルッ
ドビュッ
うあぁっ…
はぁっ…すごい
ドクッ
ドクッ
胸の谷間が熱いわ…
ねぇもうスッキリしたでしょ?
これ以上は許して
ビチャ
ビチャ
ギュルッ
まだダメ
次はエマのオマ○コでイキたい
ほらお尻をこっちに向けて
お願いだからもうやめて
グイッ


あんんっ
ダメぇっ!!
うあぁっ
入った♡
本当に
ダメ…
声が
出ちゃう
ユリカに
バレたく
なかったら
我慢して
んんっ
…
ひどいわ
こんな…
エマの
オマ○コは
喜んでる
みたいだよ
こんなに
ヨダレを
垂らして
オレの
ペニスを
はなそうと
しない
あぁっ
いやっ
ほら
膣全体で
キュンキュン
締めつけて
きてる

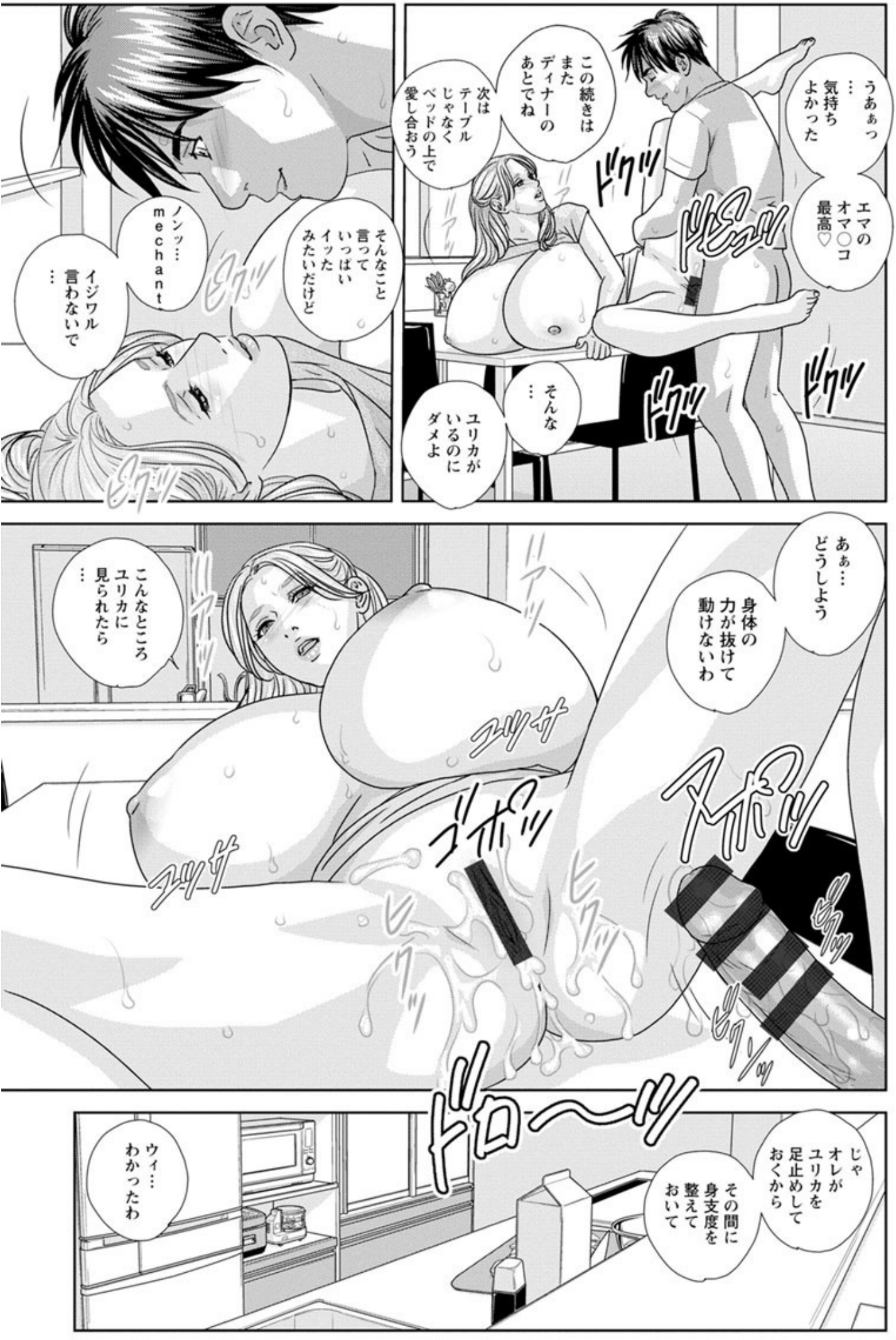
うぁんっ…
あぁっ
いやぁっ!!
激しくしないで
奥に当たると気持ちよすぎて…
声が出ちゃう
仕方ないな
それにこのままじゃ絶対ユリカに見られるわ
それならカウンターの影に隠れよう
ここなら向こうから見えない
アッ!
アンッ!!
あぁっダメっ
そんなにされたらイク…っイッちゃう!!
オレに開発されてすっかりイキやすくなったな

うぅっん…!!
くぅっ…!!
下から見上げるとすごいボリュームだ
最高の眺めだな
この感触も最高だ♡
うぁんっんんっ
本当に最高だよエマのおっぱい
あれ?
いつのまにかママンもユウもいない
どこ行ったのかしら?
んんっ…!
シーッ

…
まいいか
汗かいちゃったしシャワー浴びてこよう
もう大丈夫
ユリカは行ったよ
あぁっもう死ぬかと思った
今なら声を出してもいいよ
それともやめようか？
あんっ
つ…続けてお願い♡
よーしじゃあディナーのセッティングをする前に
ダイニングテーブルの上で突きまくってやる
はぁんっ!!
あぁ…っ！
ちなみにお腹いっぱいでセックスするより空腹の方が感じやすいらしいよ
脳の中で睡眠欲・食欲・性欲を制御している場所は同じだから
ひとつの欲求が活発になると別の欲求が抑制される

もう本当におっぱいが好きなのね
mon bebe
ベベ…赤ちゃん？
フランスの愛を込めた呼び方のひとつよ
こうしておっぱいに顔を埋めながらビストンすると最高の気分だ♡
エマの超乳はオレの宝物だよ
ねぇおっぱいだけじゃなくわたしにもキスして
あんっ嬉しいわ…
ああもちろん喜んで
ジュテームマシェリ♡
愛しい人（モンシェリ）♡
くうっ…!!
あんっすごい…っ!!
すごく気持ちいいっ♡
オレもうっ…!!
あぁっそれいいわ!
もっと…もっといっぱいして!!

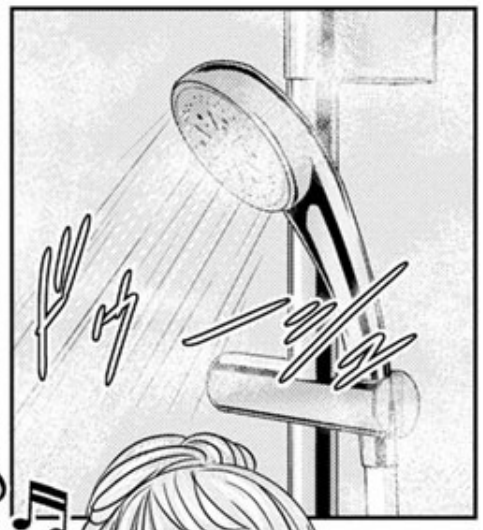
んあぁっ…あんっ！
すげぇっ…!! エマの超絶名器入り口がキュッと締まって中が吸いついてくる
これヤバいっ！もうチ○ポが爆発しそうだ!!
根元から先っちょまで全部気持ちいいっ
あんっイッちゃうっ！
ねぇいっぱいオマ○コかきまわして！
このまま子宮の中に出していいから
またイッちゃう——うっ!!
うあぁっ出るっ!!
あんっイクッ!!
あはぁんっオマ○コとけちゃうっ…!!


うぁっ…気持ちよかった
エマのオマ○コ最高♡
この続きはまたディナーのあとでね
次はテーブルじゃなくベッドの上で愛し合おう
そんな…
ユリカがいるのにダメよ
そんなこと言っていっぱいイッたみたいだけど
ノンッ…mechant
イジワル言わないで…
あぁ…どうしよう
身体の力が抜けて動けないわ
こんなところユリカに見られたら…
じゃオレがユリカを足止めしておくから
その間に身支度を整えておいて
ウィ…わかったわ

chapter.018

BLONDE in HEAT

白い乳房の女



オレもシャワー浴びたいから入るよ
ちょっと待ってもうすぐ終わるから
えっもう？
そりゃまずいな
いやせっかくだから一緒に
キャッ!!
やだもうっ入ってこないで
エマさんの残り香を消す必要があるしな
ゴメン今すぐシャワー浴びたくて
別に一緒でもかまわないだろ
ちょっとダメよこんなところママンに見られたら…
婚約してるんだし問題ないよ
一緒に住むならこういうのにも慣れてもらわないと
でも…
バレたくないなら静かにしてて
もう強引なんだから…

今すぐ愛し合いたい
ここで？
ダメだってばもうっ
ユウったらどうしてわたしをこまらせることばかりするの？
顔だけでもイケそうなくらいエロくてこの上なく美しい造型だ
めちゃくちゃヤリたくなる

ユリカを見てると無性に種付けしたい衝動に駆られる
エッチ
否定はしない
十八歳の男は十一秒に一回セックスのことを考えるらしい
そんなに？

それに明日は撮影で早いから夜はすぐに寝るって言ってたろ
そうよ朝6時半に青山集合だから…
起きるのは5時くらいでしょ
だから夜9時には寝るつもり

男性の性的衝動を司る視床下部の空間は女性の二・五倍あるんだって
んんっ…

なら今しかチャンスがない
はぁ…んっ!!

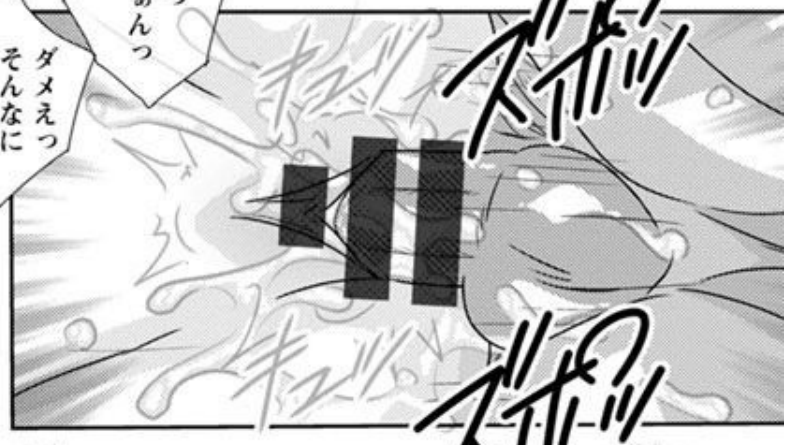
ユリカの肌ツルスベで綺麗だ
水をはじいてる
やっぱり若い肌はピチピチでハリがある
水分をしっかり含んでいることが手触りでもよくわかる
アチュッ
チュプッ
んっ…
まさにもち肌
クチュッ
クチュッ
あんん…っ!!
ダメっ…
ピクッ
ピクッ
あ――たまんねぇ
指一本でもキツいくらい
ユリカのオマ○コも締まりが抜群だ
しかも中が複雑に動いて前よりどんどん良くなってる
はぁんっ!!
早くヤリたい
さっき射精したばかりだっていうのにチ○ポがギンギンだ
アチュッ
グチュ
グチュ

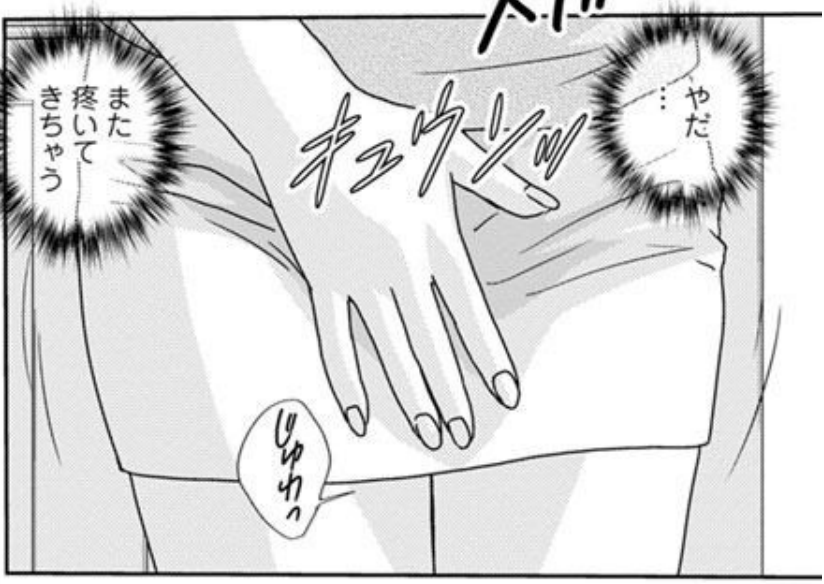
はぁ…
ユウくんのせいで下着が汚れちゃったわ
今のうちに着替えてこなきゃ
パタ
パタ
見てこんなになってる
あんっすごい
二人の声…
なにかしら？
Oh！
うふっ…んっ
んっ…
グボッ
グボッ
ユリカを足止めするってこういうこと？
すごく上手だ
うぁぁいいぞユリカ
あんっ
スポッ
スポッ
ウフフッおいしいっユウのオチ○チン♡
うぁぁったまんないよユリカのフェラ
ズポッ
ズポッ
ズルルッ
あの子ったらいつのまにあんなこと覚えたの!?
さてはユウくんに仕込まれたのかしら…

ユリカったら
すっかり
女の顔ね
我が子がセックスしてる姿を目の当たりにするのは複雑な気持ちだけど…
二人とももう立派な大人ですものね
なんだか成長を実感して感動しちゃう
フランス人にとってアムールとセックスは切り離せないものだから
愛し合ってる二人を素直に祝福したい気持ちになるわ
ユウくんにならユリカをまかせても…
はぁっ…んっ！
アッ！アンッ!!
ヘンな話だけどユウくんには母親のお墨付きをあげてもいいわ
手先が器用な日本人らしい繊細でテクニックで身体が蕩けそうに愛情に満ちたなっちゃうのはわたしの身体で実証済みだし
いつもぬくもりと安らぎと素晴らしいセックスをしてくれる
やぁんっ!!
すごい…気持ちいいっ
あっ…イクッ!!
少なくともセックスレスになる心配はなさそう
若くて精力絶倫だから今日みたいに困らせられる時もあるけど
イッちゃう——っ!!

さっきまではわたしの中をかき回していた若くて元気なペニスが
くうっ！
アッ
アッ
今は娘を喜ばせているなんて…

気持ちよさそう


あっやぁんっ
ダメえっそんなにされたらまたイッちゃう!!


やだ…
また疼いてきちゃう

罪深いことだわ…
母娘そろってひとりの男性を愛してしまうなんて…

はぁっ…
早く身を引かなきゃ…

でも…
あぁ…っ
わたしも欲しい…
はぁっ…ん
おっと☆
エマさんが覗いてる？
まぁいい機会だ
この際思いっきりユリカとの激しいファックを見せつけてやるか
そろそろラストスパートだ
うぁんっ
いやっあぁんっ激しい…っ!!
あぁっすごい締まってる…!!

ユウのオチ○チンわたしの中で大きくなってる…!!
くう…っ!!
イクぞユリカ!!
いいよイッて!
いっぱい出して!
うおぉっ出るっ!!
あ――っすごいっ熱いのがいっぱい流れ込んでくる…っ!!
んあぁっイ…イク!イッちゃう――っ!!
to be continued....

夜の帳が静かに降りて空には星が瞬いている
がしかしオレが美咲家で過ごす一日はまだ終わっていない
CHAPTER.019
THE SEXORCIST
セクソシスト

今頃はスヤスヤと寝息をたてて夢の中だろう

BONNE NUIT♡
うんおやすみ

翌日に撮影を控えているユリカは早めに眠りについた
カチャ
カチャ

ユリカのエロい身体は問答無用にオレの性欲を掻き立てる
ユリカ♡
レロ〜
レロ〜

昼間バスルームで愛し合ったあと…
身支度するユリカの姿にまたムラムラしてきた
なにじっと見てるの？
クルッ
クルッ

えっ
ちょっとまた!?
グッグッ

セックスは女性の美と健康に様々な良い影響を与える
ズプッ
あんっ
また始まった
ムギュッ
ズプッ
んあっ…!
ズプッ
ズチュッ
あぁっんんっ!!
ズプッ
セックスすると女性ホルモンの分泌が活発になる
エストロゲンが増えると女性らしい身体つきになって
しっとりした美肌や艶やかな髪になるんだ
ズンッ
ズンッ
ズンッ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
あぁっすごいっ
うぁんっ
気持ちよくなってキレイにもなれるなんて最高ね♡
ユリカの美容と健康に貢献できて嬉しいよ
アッ!
くうっ!
アンッ!!

くうぅっ
イクぞ
ユリカ!!
あぁっ
ダメ…
イクッ!!
イッちゃうぅ
――っ!!
あぁっ
まだ
出るっ!!

エマさんとは違う弾力のある爆乳でのパイズリはまた最高に気持ちいい♡
くうっ!
もう一発パイズリで…
あんっ…
すごく熱いわ
うあぁっ
イクッ!!
あんっ!!
あぁっ…
胸の中で大きくなってる!

やだぁ
もう
また
ベトベト
ゴメン
もう一回
シャワー
浴びよう

ユリカが明日
子宮に精液
タプタプの状態で
ファッション誌の
撮影に臨むのかと
思うと興奮するな、
オレのおかげで
キレイになった
ユリカの写真が
雑誌に掲載
されるのが
今から楽しみだ

日 23:45
おっと☆
もう
こんな
時間だ

エマさんを
夜這いしに
行こう♡
エマさんは
夕食の時
やけに
静かだった

ひょっとすると
昼間のユリカとの
痴態を見せつけた
せいで怒らせて
しまったのかも
しれない

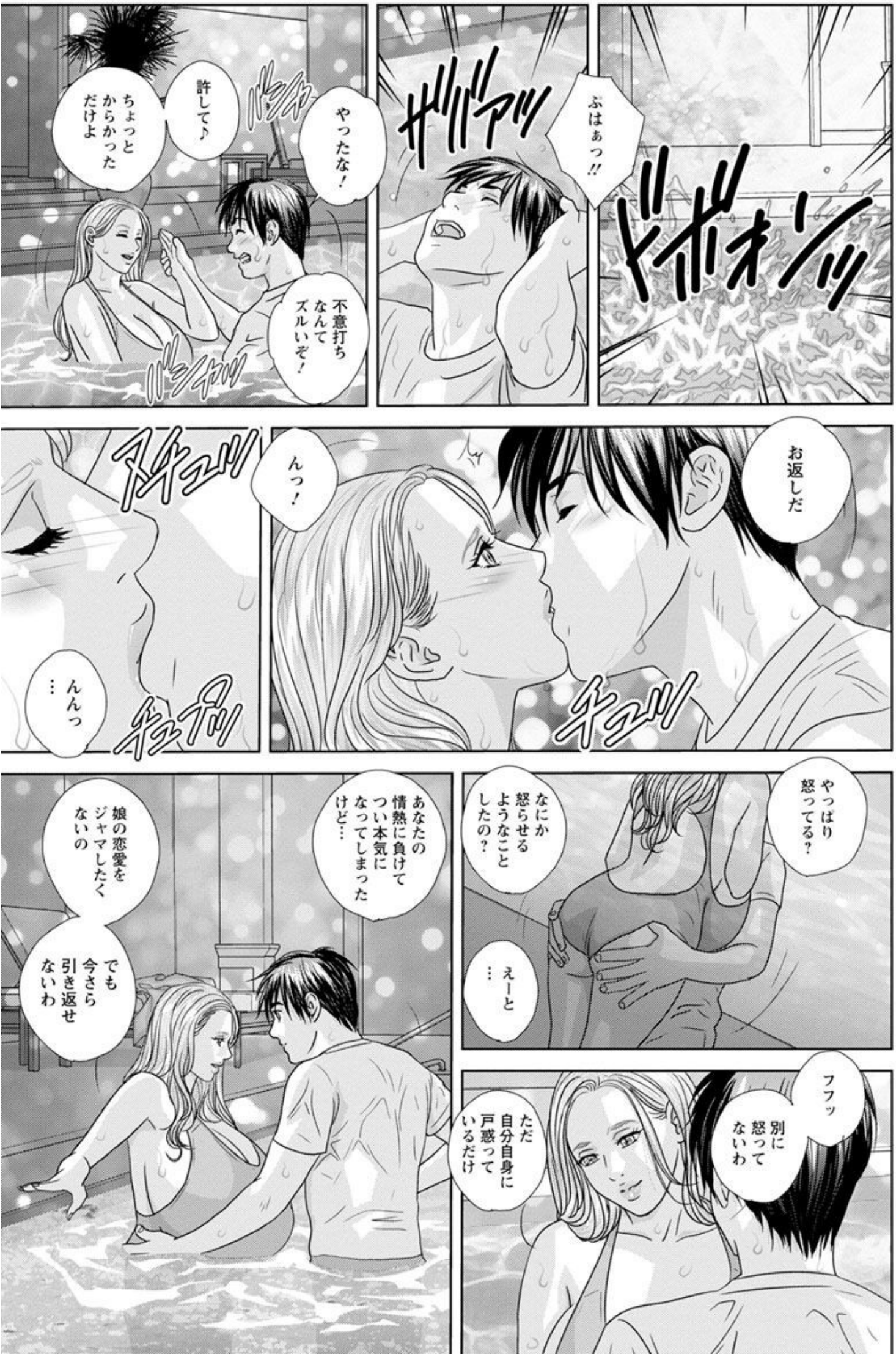
果たして
ジェラシーは
恋のスパイスに
なりうるのか？
ケンカの
あとの
セックスは
燃えるって
いうけど
…
エマさん？

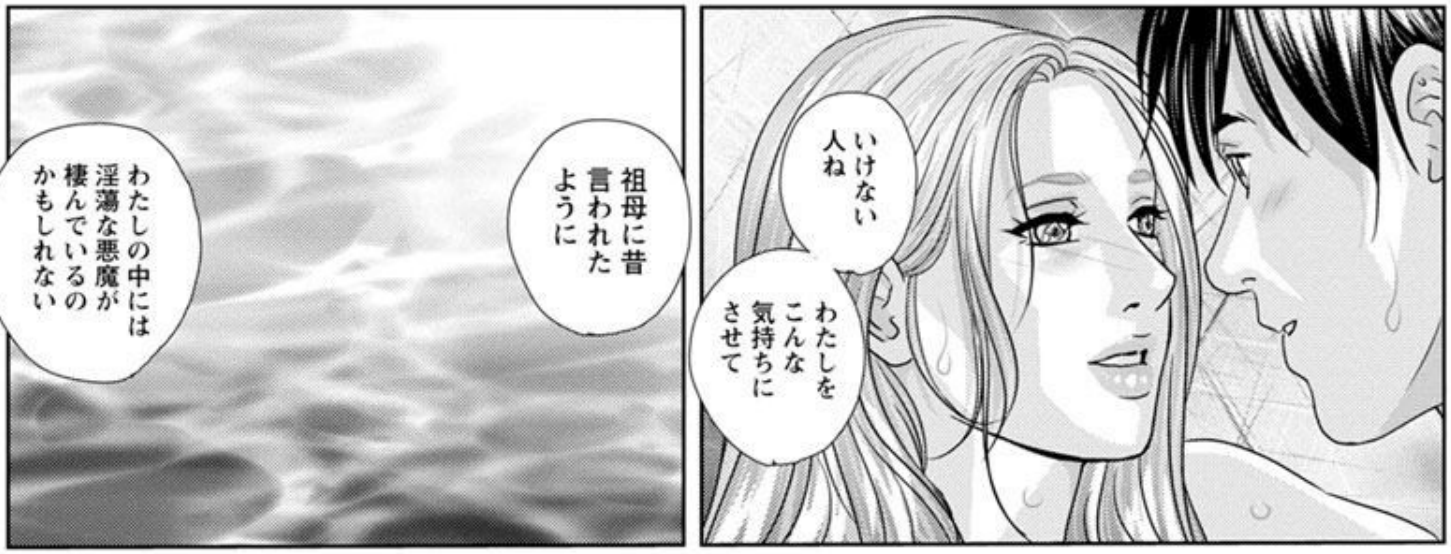
あれ？
いない…？
階下にもいない…
どこ行ったんだろう
こんな夜中に…
ん？
スーー

ザバァン
はぁっ
あらっ
すごいな
驚いた
まるで
水泳選手
みたいだ
わたし
泳ぎは
得意なの
キャプリ

水の中は
自由で
いいわ
自由？
水の中だと
胸の重さを
感じないから
ああ
なるほど
タプン
タプン

エマさんの
引き締まった
身体は水泳の
おかげだった
んですね
いや
オレは
水着も
ないし
そう
そうよ
ユウくんも
泳ぐ？
じゃ
わたしも
上がるわ
手を
貸して
はい
それっ!!
わっ!!
グイ


ドボォンッ
ザバァッ
ぷはぁっ!!
やったな!
不意打ちなんてズルいぞ!
バシャ
バシャ
許して♪
ちょっとからかっただけよ
お返しだ
んっ!
チュッ
チュッ
んんっ…
やっぱり怒ってる?
なにか怒らせるようなことしたの?
えーと…
フフッ
別に怒ってないわ
ただ自分自身に戸惑っているだけ
あなたの情熱に負けてつい本気になってしまったけど…
娘の恋愛をジャマしたくないの
でも今さら引き返せないわ


いけない人ね
わたしをこんな気持ちにさせて
祖母に昔言われたように
わたしの中には淫蕩な悪魔が棲んでいるのかもしれない

オレに心を開いてくれたエマさんはピロートークの中で色々な事を打ち明けてくれた
若くして奔放な外国人と恋に落ちた母親が未婚のまま自分を産んだこと
そしてその母が亡くなった後祖母に育てられたことなど
年頃になって胸が大きくなってくると
通りすがりの男の人たちに冷やかされるようになったわ

わたし自身とても恥ずかしかったのに
信仰深い祖母はわたしの中に男を誘う悪魔が潜んでいるのだと責めた

自分ではどうしようもないことで責められるのは理不尽だな
つらかったでしょう?
祖母は母を捨てた父のことを恨んでいたのね

だから母の二の舞にならないように必死でわたしを押さえつけようとしたの

大丈夫オレはどこにも行きません
エマさんもユリカもちゃんと守ります

こんなに魅力的なら悪魔が潜んでいても大歓迎だ
まぁっ
エマさんのおっぱいは神様からの贈り物だと思うけどな
だったら神様はイジワルね
こんなに大きくしなくてもいいのに
とんでもないこれが最高なのに♡
あんっ
このおっぱいがユウくんを惑わせるなら
やっぱり罪深いわね
おしおきするわ
そこに仰向けに寝なさい
えぇっ!?
わぶっ☆
おっぱいマニアなんでしょ
そんなに好きならたっぷり味わいなさい

おおっ
すごいっ！
脳震盪を
起こしそうな
強烈な
乳ビンタ☆
片方だけでも
一〇キロくらい
ありそうだ
あ～～～っ
ヤバい
これ最高♡
巨乳をよく
ホルスタインに
喩えることが
あるが
エマさんの
超乳は
ホルスタイン
以上の大きさだ
ずっと
エマの
おっぱいに
埋もれて
いたい♡
もうっ
おしおき
なのに
喜んじゃ
ダメでしょ
でも
本当に
エロくて
最高だよ♡
もう
ガマン
できない
エマの超乳
パイズリで
イキたい
もう
本当に
パイズリ
好きなん
だから
ねぇ
早く
やって
あんんっ
気持ち
いいっ♡

毎日パイズリしてるからだんだんコツがわかってきたわ
見てなさいすぐにイカせちゃうから♡
ユリカとは違う柔らかな超乳に勃起したペニス全体がすっぽり包まれて密着感がすごい
ズチャッ
ギュプッ
ズリュッ
ズリュッ
うわぁっすごい乳圧！
挟み込まれただけでもハンパない!!
ズチュルッ
ズチュッ
しかもこの重量感のある上下の動きに緩急をつけられると…
ギュッ
これヤバい!!
本当にすぐイキそう!!
ビクンッ
ビュクッ
うあぁっ出るっ!!
あんっ!!
すごいいっぱい出てる♡
ビュルルッ
ビュッ
ドクンッ
ドクッ
ドクッ

クイッ
次はこっちも味わって
いつになく大胆だね
ヌチャアッ
おおっ顔面騎乗っ
綺麗なワレメがどアップで興奮するな
ヌチュッ
はぁんっ
今日のわたしどうかしてるの
ビチャッ
ビチャ
わたしが今夜泳いでいたのは
身体が火照ってどうしようもなかったからなの
ヌチュッ
んぐっなるほど
それが身体に潜む悪魔の仕業なわけか
ペロッ
ペロ
ヌチュッ
んあぁっどんどんあふれてくる…
あぁっ!!
ズチュウッ
気持ちいいっ…♡
ズチュッ
ギュルッ
ギュルッ

あなたのも舐めさせて
うん
あふっ…んっ♡
あぁっ…なんて立派なの
うっとりしちゃう
おおっすごい
おいしいよエマのオマ○コ♡
あぁっもうガマンできない…
ねぇもう入れてもいい？
じゃエマが上になって
あぁっすごいカチカチに硬いわ…♡
んんっ…!!
あぁ——っ入ってくるぅ…っ!!
んあぁっ…気持ちいいっ♡
昼間からずっとこうしたいって思ってたの…
ホント？
ウィ…

今日のエマは排卵前でエストロゲンの分泌量が多いみたいだ
どういうこと？
はぁんっ
女性には生理があり一ヶ月の間にホルモンバランスが変化する
エストロゲンは性欲を高めるホルモンで
生理直後から二週間はその分泌量が増える

だからそのせいでエマは発情してるんだ
あんっ
そうだったのね
じゃあ今夜はいっぱいして♡
よーしいっぱいイカせてやる
そらそらっ！ガンガンイクぞ!!

はっ…はぁんっ!!
あぁあっイク…イッくう——っ!!

あんっ いいわ
もっと して♡
もっと イキたい
わたしが 淫乱なん じゃない のよ
今夜は ホルモンの せいで 発情してる んだから
ズッ
ズチュッ
ブルルンッ
ユッサ
たっぷり 気持ちよく なって いいんだぞ
エマの 身体の 火照りを 鎮めるため だからな
まだまだ ヤリまく ってやる
んんっ うれしいっ
ズプッ
ユッサ

んあぁっ すごいっ
いつもより 奥に グリグリ こすれてるわ
キュッ
ずんっ
女は 発情すると 精液を求めて 子宮が下りて くるからな
キュッ
エマの身体が オレの精液を 欲しがって るんだ
ズッ
ノンッ 恥ずか しいっ…
グチュッ
ムニュッ
グチュッ
スペルマを 欲しがって るなんて…
ブルンッ

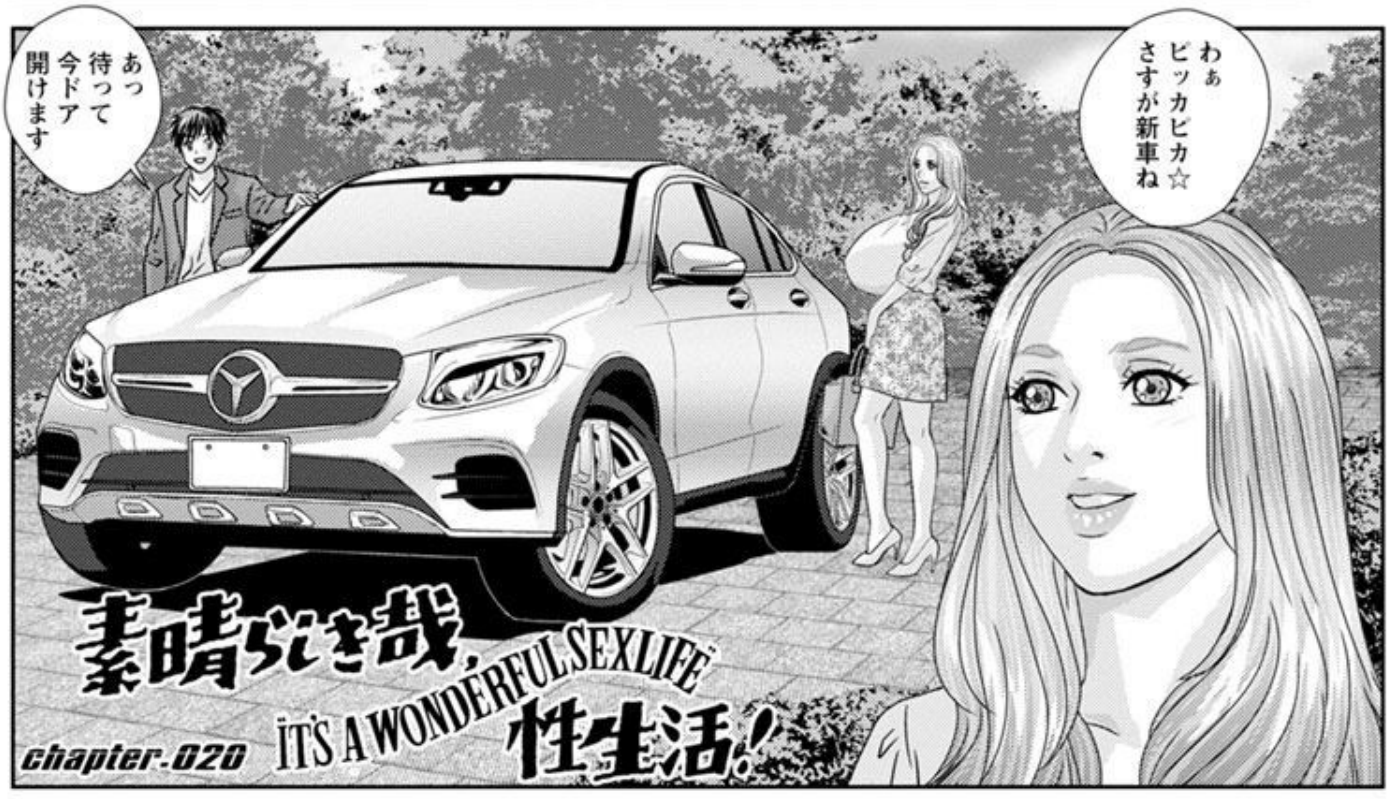
そんなに オレの スペルマが 欲しいなら いっぱい 出してやる
やぁんっ!!
ズチャッ
発情して いる時期は イキやすく なって結果 妊娠もしや すいからな
あぁっん そんなっ …ダメよ いけないわ
ブルンッ
ズチュッ
ムギュッ
タプンッ

待ってわたし今日妊娠しちゃうかもしれないわ
デキてもかまわないよ
エマを孕ませたい
そんないいの？
そんなこと言われたらわたし本気にしちゃうわよ
オレは最初からずっと本気だよ
エマを愛してるから自分の子供を産ませたいと思うのは当然だろ
あぁっうれしいっ
ユリカとエマのどっちが先に妊娠するか…
我ながら悪魔的な楽しみだな
もうどうなってもいいわ
もっといっぱい突いて!!
私の中でいっぱい気持ちよくなっていっぱい射精して♡
イクぞエマ
あぁぁっ
オレの精液を子宮に注ぎ込んでやる!!
くうっうぅっ!!
ええいいわきて!

うあぁっ
また
イクっ!!
ドピュッ
あぁ――っ
すごいっ
イク…イクっ♡
イッちゃうぅっ!!
ドピュッ
膣肉が精液を
搾り取ろうとして
キュウキュウ
締まってペニスに
絡みついてくる!!
うぅっ!!

おっぱいで挟んで搾り取って
うぁんっ
くうっ!!
あぁっんっ!!
はぁっ…
はぁっ
すごい量のスペルマ…
本当に妊娠しちゃうかも…
まるで媚薬のように妊娠するかもしれないというスリルが興奮に変わった
結局この日は深夜まで連続五回中出しセックス
でもあなたの赤ちゃんならもう一度身籠ってもいいわ♡
よかった♡
さらにユリカが早朝に出かけたあとにもヤリまくり精液が空っぽになるまで射精しまくったのだった
to be continued...

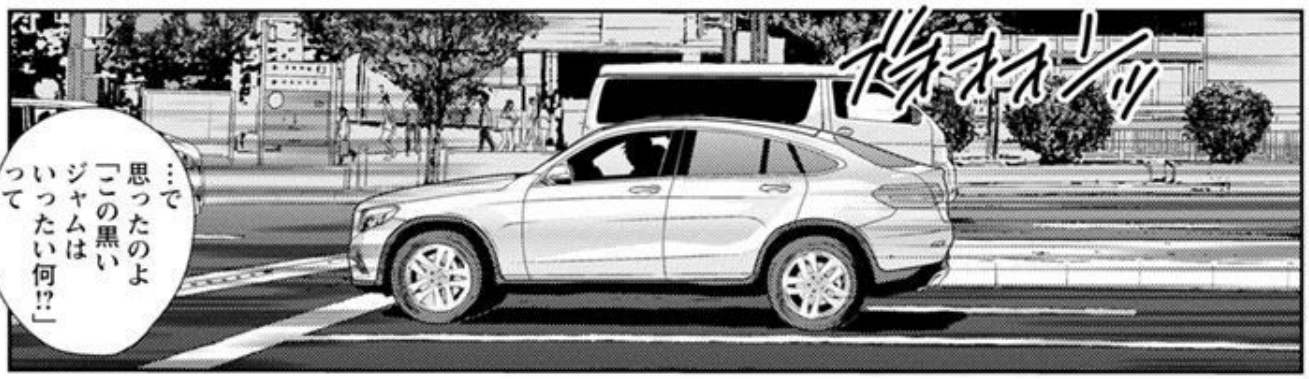
ヒョコッ
おまたせ
――っ
ブォーォーン
オオッ


わぁ
ピッカピカ☆
さすが新車ね
あっ
待って
今ドア
開けます
素晴らき哉,
性生活!
IT'S A WONDERFUL SEXLIFE
chapter-020

まぁ
紳士的な
エスコートね
お姫様に
なった
気分で
キュンと
しちゃう♡
現代の王子は
白馬ではなく
高級SUVで
登場するの
でした

でも
初めての
助手席が
ユリカ
じゃなくて
よかったの?
ユリカの
お許しは
もらって
おきました
それに
最近彼女は
仕事が充実
してるから

今日は来日した仏の有名映画監督のインタビューなんですって？
はい事前にこれを質問したら絶対感心されるっていうリストを渡しておいたんで上手くいくと思いますよ
料理番組の撮影編集やテレビやラジオの構成まで影のプロデューサー大活躍ね
それほどでも
あシートベルトを
ウィそういえば
ユリカの映画とファッションについてのコラムってユウくんがゴーストライター？
とんでもないユリカの視点は鋭くていつも驚かされますよ
ユリカにとって「ロッキー」の見所はボクシングじゃなくてエイドリアンのファッションの変化なんです
ムギュウッ
すごいパイスラッシュだ…
「女は花」なのよわかる？
1の登場シーンは雑巾みたいなグレーの服だったのに
3の時には華やかでまるで貴婦人みたいじゃない？
どんどん色使いが鮮やかになっていくの
そういえば赤い服とかベレー帽かぶってたね
愛されて自信がついて美しくなっていくんだわ♡
なるほど内面の美が外側にもあふれ出てくるわけだ
百合の花の可憐さを体現する人が言うと説得力があるね
でしょ♪



「だからわたしにたっぷり愛情を注いだらもっと綺麗になるわよ」って
あの子も言うわね
オレ最近疑ってるんです
ユリカは実はすごく知性があるのに
オレをいい気分にさせるためにわざと何も知らない振りをしてるんじゃないかって
男を立てるのがいい女の条件だって教えたからそうかもしれないわね
なるほど母親の教育が行き届いているのか…こわいなー
フフッ自慢の娘よ
ギュルルルッ
で今日はどこ行くの？
ブオンッ
う――んと着くまで内緒
ブオオオンッ
…で思ったのよ「この黒いジャムはいったい何!?」って
あとで知ったらそれは海苔の佃煮だったわけ
でもバゲットにつけて食べたら意外に美味しかったわ
へぇ――っ…
もうっちゃんと聞いてないでしょ
どうしたの？

ユウくんでも弱気になることあるのね
でも多少の事故なら平気よ
ほらわたしには自前のエアバッグがあるから

実は運転に集中して余裕がなくて…
エマさんを乗せてるのに事故っちゃいけないから緊張してる

エマさんのいつも前向きでユーモアを忘れない姿勢大好きです
一緒にいてすごく楽しい
ユウくんのおかげでわたし本来の陽気さが戻ってきたみたい

確かにすごいクッションになりそうだ
でしょ♪

女の扱い♡
そんなこと…
繊細かつ大胆なテクニックで最高の気分にさせてほしいわ

ねぇ車の運転と女の扱いは似てるって言うわよ
ユウくん得意でしょ

あぁっ…！そんなことされたら…
愛し合う時のように自信満々で強気で押したら？

ほらリラックスして元気出して
わっちょっとエマさん!?

なんだか
すごく
窮屈そうよ
外に
出して
あげる
シーッ!!
わっ!!
こっ
困ります
運転中に!
ユウくんの
あせってる顔
かわいい♡
イタズラ
しちゃおう
かな♪
ええっ
オートクルーズ
機能があるから
大丈夫でしょ
あんっ
…
大きくて
硬くて…
すごく
たくま
しいわ♡
んっ
…
うあぁっ
気持ち
いいっ…
たまん
ないや
んふっ
フフッ
ビクビク
動いて
すごく
元気が
いいわ
もっと
気持ちよく
してあげる

車の運転に集中するからイキにくいのかと思ってたけど…
ヤバいもうイキそう…!!
ズチュッ
ズチュッ

んっ…
ドライブしながらのフェラチオはソファやベッドでしてもらうのと違って興奮するな
んぐっ
ギュポッ
ギュポッ
ズチュルッ

いいのよこのままお口の中に出して♡
くうっ!
ズチュアッ
ペロ
ペロ

やっぱりどこかに止めます!
ダーウィン賞の候補になりたくないんで!!
なにそれ!?
ブォォォン

ドライブフェラ中の事故でペニスを噛まれて大ケガっていう映画のシーンを思い出したんです
まぁこわい
んふっ…!!

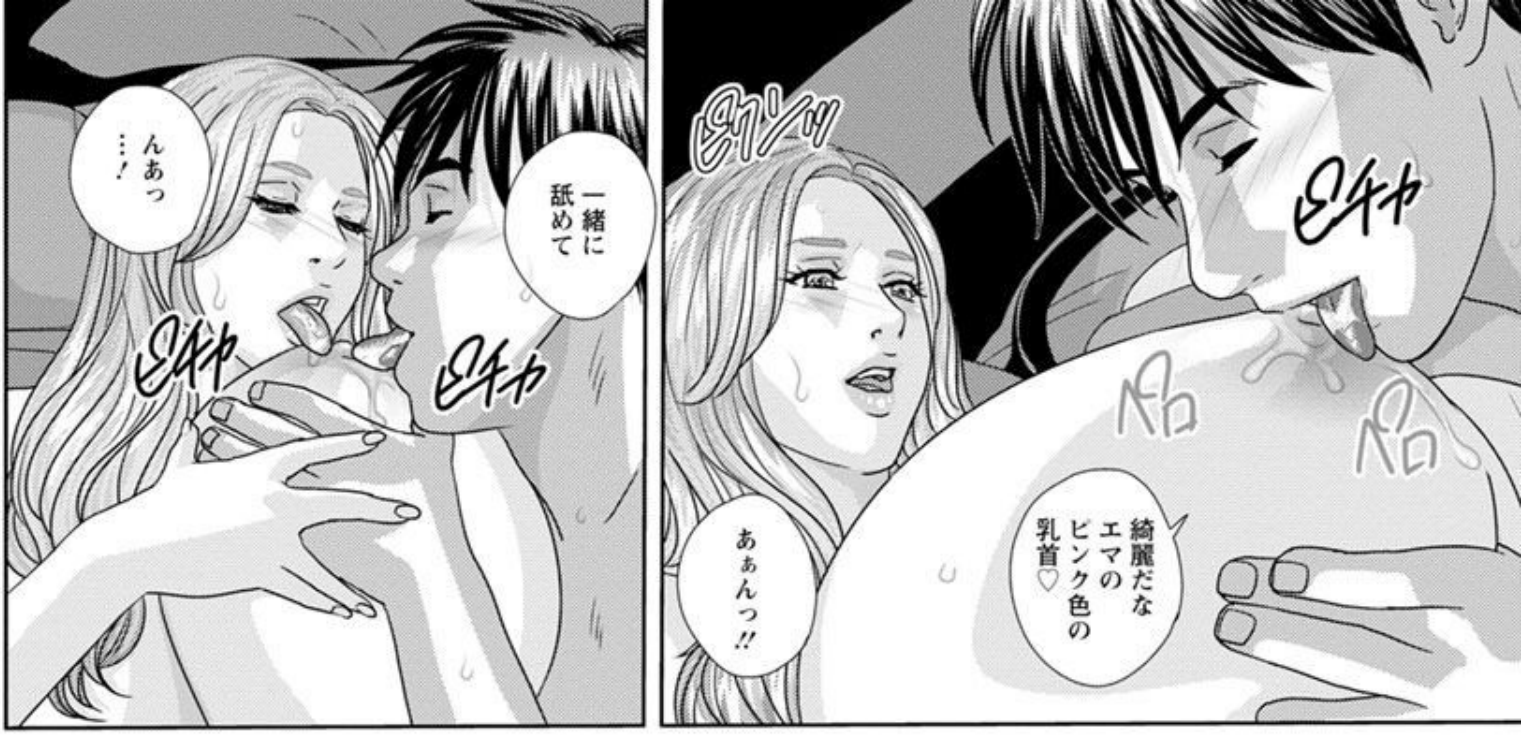
んぐっ…んっ
ここなら安心ね♡
エマさんの唾液がからみついてペニスがヌルヌルだ
そういえばフランス人が硬いバゲットを食べられるのは唾液の分泌量が多いからだと聞いた
確かにエマさんはキスの時もフェラの時も唾液が豊富だ
ズチュッ
グポッ
グポッ

んんっ
あんっ
うあぁっすごいっ!!
あぁっもうイキそうっ
エマさんもっと深くくわえて!
んんっ…!!
んぐっ!
遠慮しないで思いっきり出して♡
くうっ出るっ!!

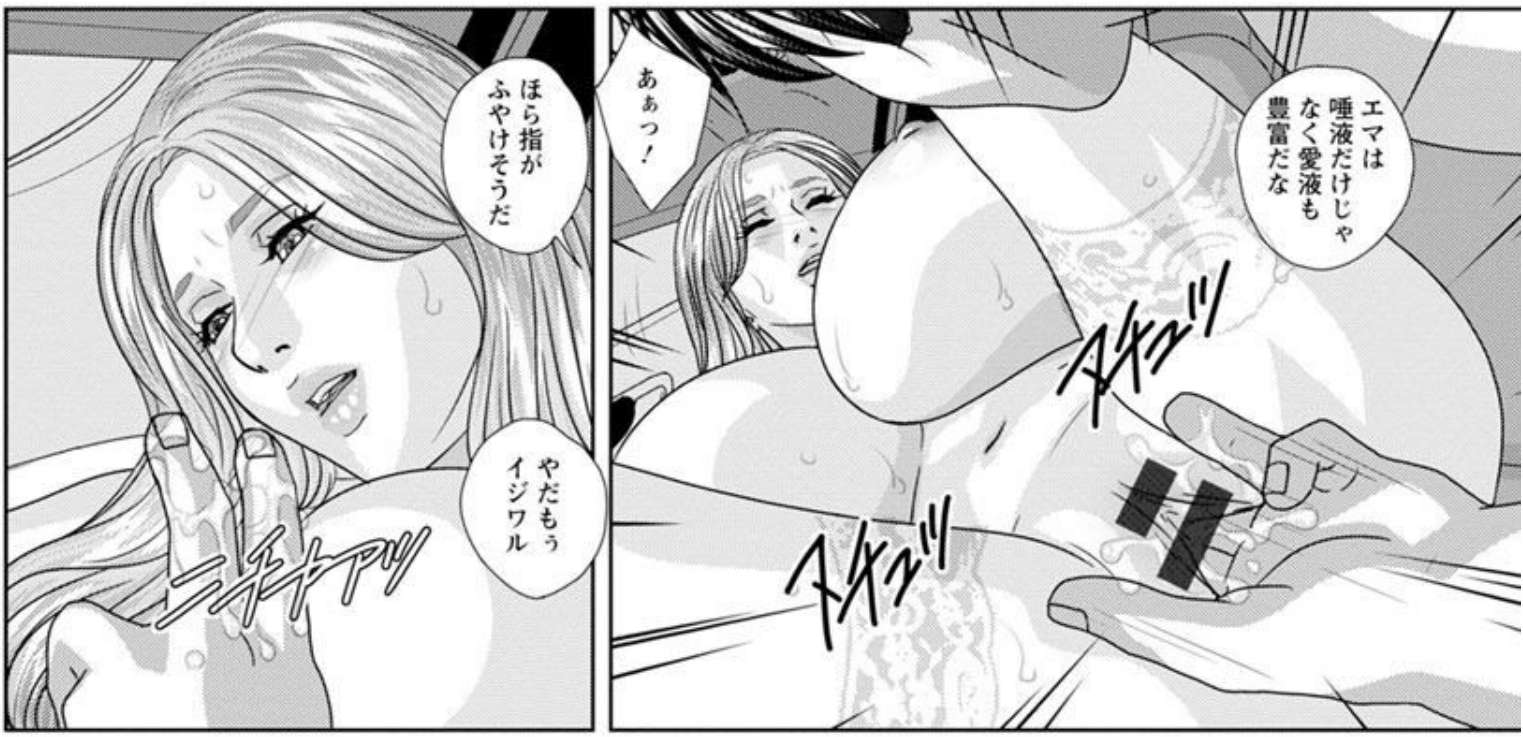
んふっ…んっ!!
うぅっ!!
うあぁ…っ!
んんっ…!

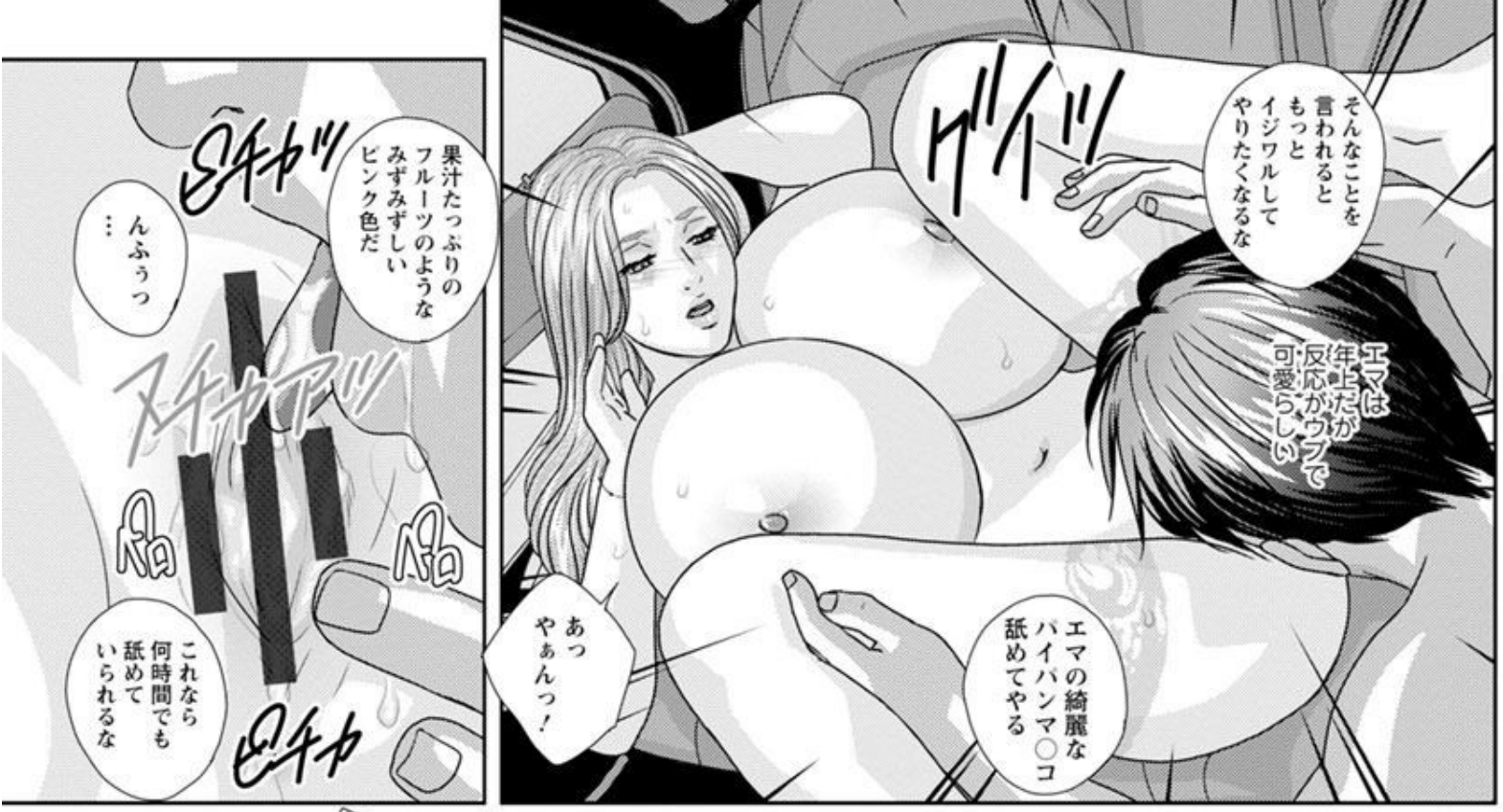
うふっ
セボン♡
ユウ君の精液
濃くて量も
たっぷりで
おいしいわ♡
エマさんの
フェラも
すごいよ
チ○ポごと
吸い取られる
かと思ったw
一発抜いた
くらいじゃ
全然おさま
らないな
後部座席で
このまま
続きをしよう
記念すべき
初めての
カーセックスだ
ワクワク
する☆
わたしも
初めてよ
ドキドキ
しちゃう
二人でする
初めての
体験がまだ
あるなんて
最高だよね
でも
こんな所で
して大丈夫？
うん
心配ないよ
安心して
周りには
誰もいないし
誰か来ても
問題ない
フロントはもちろん
サイドのガラスも
サンシェード機能で
目隠しできるし
あと
タオルや
ティッシュも
あるから
大丈夫
まぁっ
用意周到ね
白状
しなさい
最初から
こうする
つもりだった
んでしょ？
仕事でも
恋愛でも
デキる男は
なんでも
段取り上手
なんだって

何度見ても感動的だよこの超乳♡
一日中でもセックスしまくっていたい
ウフフッ
遠慮しないでモンシェリ
あなたの好きにしていいのよ♡
オレはエマさんに本能的に強く惹かれ求めずにいられない
どうやらエマさんも同じらしい
ムニュッ
ムニュッ
じゃお言葉に甘えて
やわらかくてとろけそうだ
あ〜〜〜ったまんないなこの触り心地♡
あぁっん気持ちいいっ…
グニィッ
グニィッ
ムギュッ
赤ちゃんが産まれてもこのおっぱいはオレが独占していたいな
まぁいけないわそんなの
赤ちゃんにもわけてあげなきゃ
仕方ないその時は片方ずつ分け合うよ
フフッそれまではあなただけのものよ
グルンッ
グルンッ
ムニィッ


一緒に舐めて
んあっ…！
綺麗だなエマのピンク色の乳首♡
あぁんっ!!

あっ！
こっちもすっかり熱くなってきたな
クロッチが湿ってるぞ
すっかりヌルヌルだ
やだ…
恥ずかしいわ言わないで


エマは唾液だけじゃなく愛液も豊富だな
あぁっ！
ほら指がふやけそうだ
やだもうイジワル


そんなことを言われるともっとイジワルしてやりたくなるな
エマは年上だが反応がウブで可愛らしい
エマの綺麗なパイパンマ○コ舐めてやる
あっやぁんっ！
果汁たっぷりのフルーツのようなみずみずしいピンク色だ
んふぅっ…
これなら何時間でも舐めていられるな

うん美味しい
エマのオマ○コは絶品だな
色形味匂い全て最高だ♡
はぁっんダメえっ!!
そんなにされたらイッちゃうっ

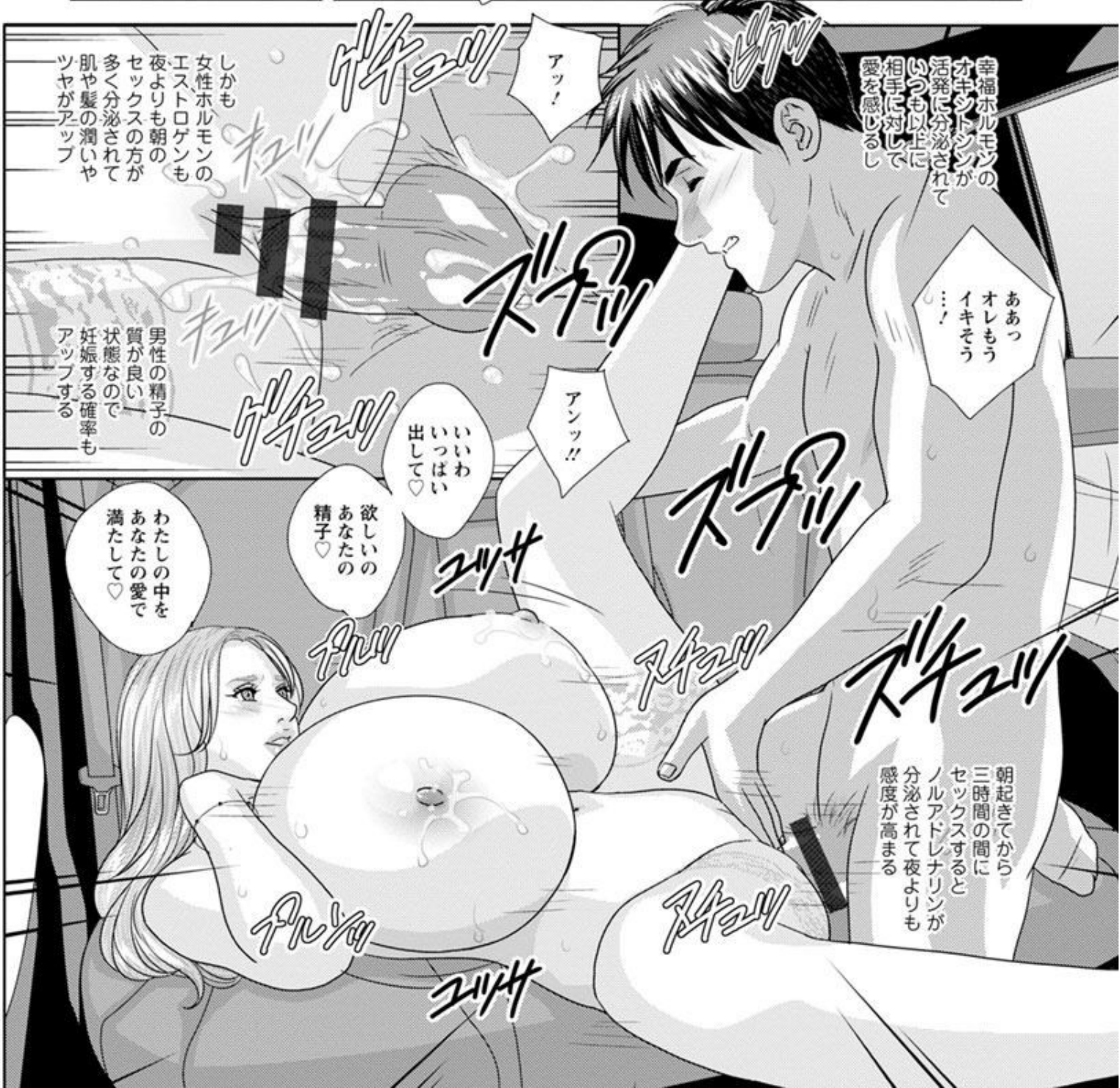
オレも早くひとつになりたい
あんっきて早く♡
TYO 500
W ・777

お願いもう入れて♡
欲しいの…

あぁっ
すごい
…っ!!
奥まで
届いてる!
入れられた
だけで
イッちゃい
そう…!!
最高の
ハメ心地だ
ユリカ同様に
締りがいい
敏感な
亀頭部分に
肉襞が
まとわりついて
キュンキュンと
締め付けてくる
アッ!
アンッ!!
すごく
気持ち
いいっ♡
中を
自由に
動かせ
るの?
ノンッ
気持ちいいと
勝手にそう
なっちゃうの

あぁんっ
いいわ
ユウくん♡
もっと
激しく
突き上げて!!
思いっきり
ズンズン
して
わたしの
アソコ
いっぱい
突いてぇっ!!
また
感度が
あがった
みたいだな
メチャクチャ
気持ちいいぞ
エマのオマ○コ
んあぁっ
うれしいっ!!
わたしもう…
あなたとの
セックスなしじゃ
生きていけないわ
オレとの
セックスは
そんなに
いいか?
眠る前に
セックス
すると
ぐっすり
眠れるし
夜ふと
目が覚めた時に
あなたが
そばにいると
安心できるわ
それに朝立ちした
硬いペニスが
ヒップに当たると
子宮が疼いて
朝のセックスも
したくなっちゃう

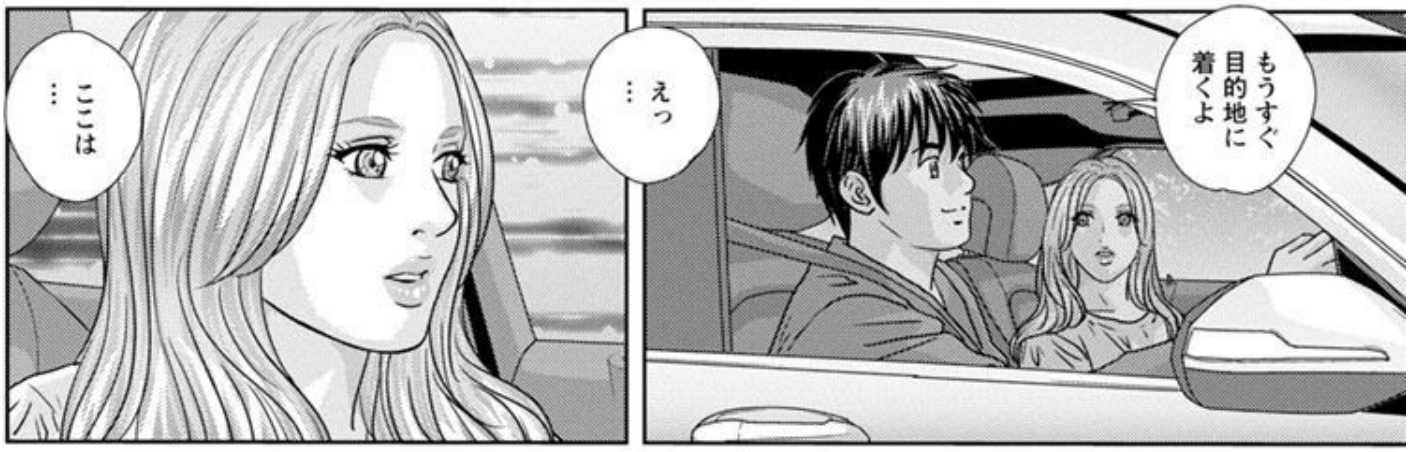
セックスで
オーガズムを
感じると脳は
プロラクチン
という物質を
放出する
んふぅっ
…
これによって
身体が落ち着き
リラックスして
ぐっすり眠れる
だが夜よりも
朝のセックスの
方が夫婦円満の
秘訣と言われる
くらいメリット
がある
んあっ！


幸福ホルモンの
オキシトシンが
活発に分泌されて
いつも以上に
相手に対して
愛を感じるし
ああっ
オレもう
イキそう
…！
アッ！
しかも
女性ホルモンの
エストロゲンも
夜よりも朝の
セックスの方が
多く分泌されて
肌や髪の潤いや
ツヤがアップ
男性の精子の
質が良い
状態なので
妊娠する確率も
アップする
アンッ!!
いいわ
いっぱい
出して♡
欲しいの
あなたの
精子♡
わたしの中を
あなたの愛で
満たして♡
朝起きてから
三時間の間に
セックスすると
ノルアドレナリンが
分泌されて夜よりも
感度が高まる

くうっ…！
はぁっ
イクよエマ…！
あっあっあっんっ
ああっ出るっ!!
はぁあっ!!すごいっイク…イクわ！
うおぉっ!!
あぁ——っイッちゃう——っ!!

うあぁっ…
気持ちよすぎて射精がとまらない
はぁっ
はぁ…
すごい中でドクドクいってる
ビュクン!!
ドクッ
ドクッ
初めて自転車に乗った時にはどこまでも遠くに行けるような気がした
このままもう一回いい？
ウィ♡
ハァ…
ハァ…

ブオオオン!!
そして今のオレはあの時よりもっと自由な気分だ
自分が本気でやろうと思えばなんでも出来る気がする


もうすぐ目的地に着くよ
えっ…
ここは…

亡くなったご主人にちゃんと挨拶しておこうと思って
ユウくん…

自分の腕の長さではひとりをしっかりと抱きしめるのが精一杯かと思っていたけど

がんばれば両方の腕で一度に二人を抱きしめることが出来ると思えるようになった

エマさんもユリカも二人とも絶対に幸せにします

…って許してくれるかな？

わたしもずいぶん思い悩んだけど…

いつも自分の感情に素直になればいいって言ってくれていたし

フランスのリベラルな思想を愛した人だったからきっと許してくれるわ

わたしはそう信じてる

もう迷わないわ

わかってくれるわねあなた

ユウくんのおかげでまたひとりの女に戻ることができたの

彼と一緒にいるとても幸せよ

オレも最高に幸せです

ありがとうここにつれてきてくれて

うれしかったわあなたの気持ち

そんな…

過去も含めてエマさんの全てを愛してるから

to be continued...

あとがき＆おまけのページ

このたびは「SUPER BOOBS　超乳」を
お買い上げいただきありがとうございます。
あなたの応援にいつも感謝しています。<(_ _)>

このコミックスは雑誌「アクションピザッツ」に掲載された
「W乳れ〜しょん(ダブルチチレーション)」の11〜20話までを収録したもので
前作「TEEN・XXX」の続きです。

内容としてはヒロイン・ユリカの母親・超乳未亡人のエマが登場し、
主人公・ユウが金髪爆乳母娘ハーレムを画策する、というもの。
(「BLUE EYES」のヒロイン母娘のエピソードのリブート版です。)

今でこそマンガの世界に巨乳キャラは
普通に存在するようになりましたが、
ここまでの超巨乳にすると好みが
分かれる気がします。
ガ、あえて自分の趣味に走って
超乳にしました。
超乳マニアの方のニーズには
応えてると思いますが、そうでない
読者の方の反応がこわいですね。
でもそうでない人は
このコミックスを買ってないか。:

16話冒頭4ページの
エマとの入浴シーン
は、15話の途中の「一緒に
シャワー浴びようか」
からの続きです。
変則的ですが:

母娘にフランスの血が流れているという設定は
話が進むにつれてとても重要になってきました。
当初はあくまで記号的なイメージでしたが、
今ではそれが必然だったように感じます。

描いてない、もしくは捨ててるエピソードや
小ネタもけっこうありますね。そういえば。

ユウとユリカが小学生の時に一緒に歯の矯正を
した話とか、中学高校時代の話とか。

ユウの成功物語もストーリーの縦軸として
描きたいという気持ちがあったんですが、
どうしてもHシーン中心になるのでカット
することが多いです。

この巻ではストーカー事件が持ち上がって
ユウが美咲家に同居することになります。
当初はちゃんと犯人？が登場する予定でしたが、
その展開に割くページがないので、これも
なかったことになりそう。

Yurika

ユリカのビジュアルは
ユーリア・ノーバよりも
英国出身グラビアアイドル
のジェマに近いですね。
ジェマは巨乳ではないですが
白肌と細いウエストから
張り出した骨盤の広がりが
素晴らしいです。

PROFILE

名前：美咲 百合花 (ユリカ)
年令：18歳
血液型：O型
身長：165cm
スリーサイズ：B126 W56 H88

職業：学生(フェアリー女学院大学一年)
　　モデル・グラビアアイドル
出身：東京都
趣味：SNS　ショッピング　美容/エクササイズ
特技：日本語・英語・仏語のトリリンガル　新体操
好きな食べ物：フルーツ・オーガニック野菜・自然食
性感帯：全身♥
好きな体位：ギュって密着できる 正常位と対面座位
得意プレイ：軟体セックス♥　パイズリフェラ♥♥
将来の夢：ユウのお嫁さん♥　料理研究家

カーセックスの回で
エマとユリカをクルマで
例えたかったんです。
エマはロールスロイス、
ユリカはフェラーリ
みたいなイメージで。
でもフランス車でそれに当たるもの
がなくて結局やめました。

エマは日本のアニメが好きで若い頃には
コスプレをしてた、という設定ですが
作品中には出てません。

登場時のネーム段階では描いていたんですが
会話が長くなるのでカットしました。

夫と死別後も日本に留まっていたのは
新作アニメをいち早くチェックするため？

描かれていないところでは
「今期の作品ではあれが良かった」
などとユウと会話してるはずです。

祖母との確執や現実からの逃避で
アニメを観ていたわけですが、
そのうちコスプレHするとかで
アニメ好き設定が活かせると
いいですね。(^^)

Emma

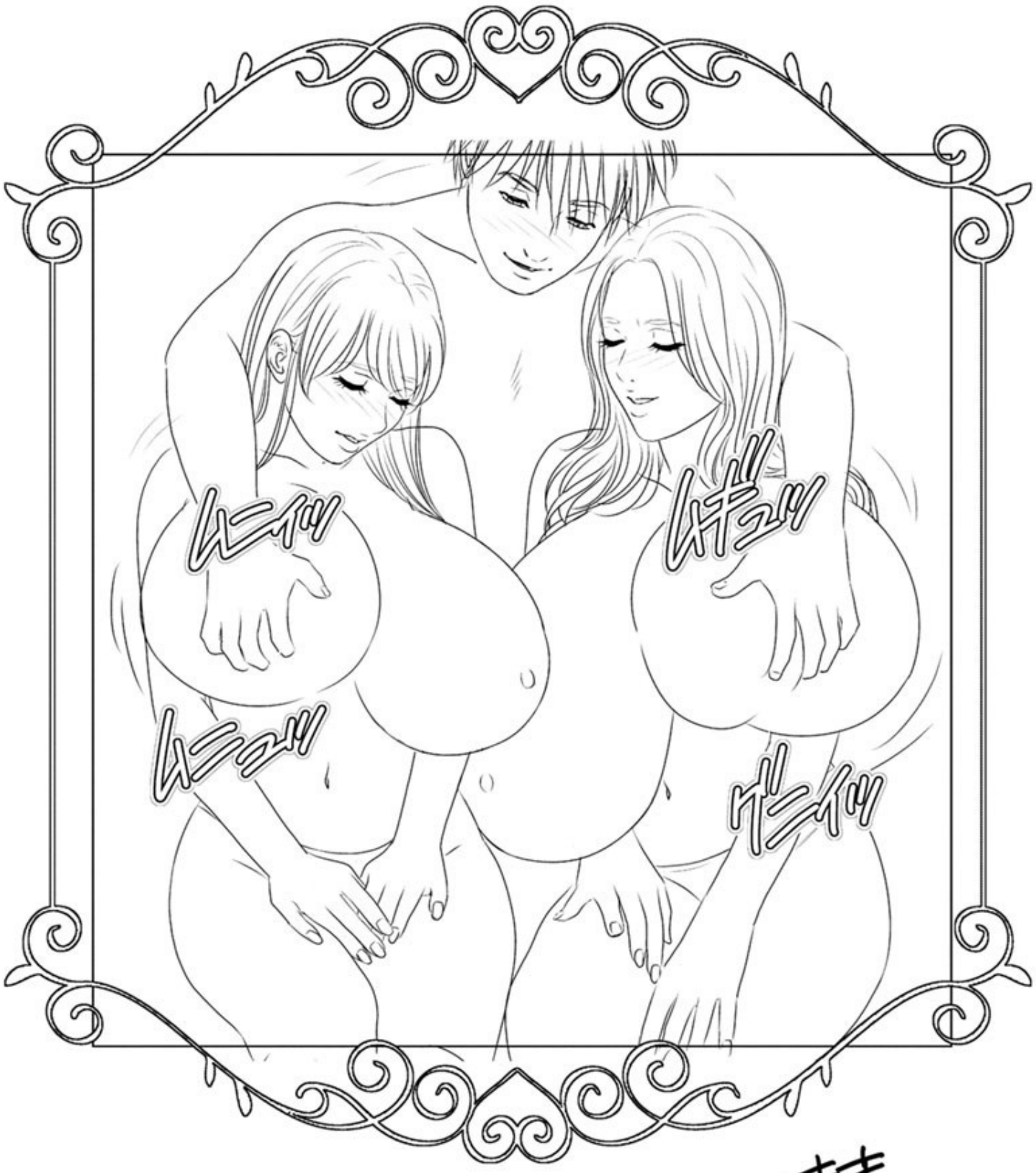
エマのビジュアルは
「天使とデート」の頃の
エマニュエル・ベアールと
髪型はアマンダ・セイフライド
をイメージしてます。

PROFILE

名前：エマニュエル・マリエール・美咲

年令：36歳
身長：166cm
スリーサイズ：B 214　W 58　H 92

出身：フランス
職業：翻訳家・エッセイスト
趣味：文学・アート　アニメ・マンガ
特技：バレエ　水泳
好きな食べ物：ガトー(ショコラ/ フロマージュ)
性感帯：耳　首筋　腰　背中　おっぱい
好きな体位：深くつながれる後背位と騎乗位❤❤
得意プレイ：愛情たっぷりフェラ❤　超乳パイズリ❤❤



現在執筆中のピザッツ本誌（および次のコミックス）では
いよいよハーレム3Pに突入します。

どうぞお楽しみに。(^^)/

それではまた次の作品で

にしまきとおる

2018.02.06

SUPER超乳BOOBS

初出

アクションピザッツ 2016年8月号 ～ 2018年2月号

エンジェルコミックス

SUPER BOOBS ―超乳(チョウニュウ)―

平成30年3月17日　第1刷発行

著者©◉にしまきとおる
発行者◉梓沢雅治
印刷所◉凸版印刷株式会社
発行所◉株式会社エンジェル出版
〒162-0813　東京都新宿区東五軒町3-28
[営業]03-5261-4860
[編集]03-5261-4846

装幀◉RPG カンパニー2
装画◉にしまきとおる

落丁・乱丁の場合は本社にてお取り替えいたします。
●定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

©NishimakiToru 2016 Printed in Japan.

ISBN978-4-87306-801-5 C9979

◆この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。